
第五次北本市総合振興計画 策定基礎調査報告書

平成 27 年 3 月

政策推進課

目次

I. 市民意識調査	1
1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 北本市の住みよさ【問8】	3
4. 北本市の定住意識【問9】	7
5. 北本市の今後の人口動向【問10】	11
6. 北本市の今後の人口動向への対応【問11】	13
7. 38施策の満足度及び重要度【問22】	15
8. まちづくりの姿（都市像）を考えるとときに思い浮かぶ単語やキーワードの傾向【問12】	21
9. 市政に対しての関心【問1】	22
10. 市民活動への参加状況【問3】	24
11. 市政の情報入手方法【問5】	26
12. 情報機器利用状況【問6】	28
13. ソーシャルメディア利用状況【問7】	29
14. 市政やまちづくりの意見・要望	30
II. 近隣市比較調査（強み・弱み）	31
1. 調査目的	31
2. 比較対象都市	31
3. 比較対象指標と分野	31
4. レーダーチャートの見方	32
5. 分野別調査結果	33
6. 調査結果まとめ	43
III. 人口動態	45
1. 調査目的	45
2. 人口・世帯数の推移	45
3. 社会増減・自然増減の推移	46
4. 年齢階層別人口の推移	47
5. 転出入の動向	48
6. 人口推計	49
IV. 現総合振興計画の進捗状況	51
1. 調査（報告）目的	51
2. 56目標指標による評価（指標による客観評価）	52
3. 施策内の主要施策単位での進捗状況（事業課による主観評価）	57
V. 市民ワークショップからの課題	60
1. 目的	60
2. 開催概要	60
3. 市民ワークショップ結果	61
【参考資料1】 施策別満足度重要度一覧	67
【参考資料2】 年齢、地域別の施策別満足度重要度分布図	73
【参考資料3】 市民意識調査調査票	85
【参考資料4】 市民意識調査本文中に記載のない設問の単純集計結果	101

I. 市民意識調査

1. 調査目的

平成 28 年度からの「第五次北本市総合振興計画」の策定を進めるにあたり、「北本市自治基本条例」に基づき、多くの市民の意見を反映させるべく、市の現状に対する市民の皆様の満足度や、将来のまちづくりに対する考え方等を把握するために実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査対象

平成 26 年 9 月現在、北本市の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の方 (3,000 人)

(2) 対象者抽出方法

無作為抽出

(3) 主な調査項目 (本報告記載部分)

- ①住み良さ (問 8)
- ②定住意識 (問 9)
- ③北本市の今後の人口動向 (問 10、問 11)
- ④北本市の今後のまちづくりのキーワード (問 12)
- ⑤施策別の満足度重要度 (問 22)
- ⑥参加と協働のまちづくり (問 1)

(4) 調査方法

郵送法 (郵送配布・郵送回収)

(5) 調査実施期間

平成 26 年 9 月 25 日～10 月 23 日

(6) 回収状況

配布数	3,000 件
回収数	1,508 件
回収率	50.3%

(7) 留意点

- ①図表における構成比は、原則として小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。
- ②複数回答の設問については、合計値が、100.0%となりません。
- ③報告の順序は、報告のわかりやすさの観点から、調査票の設問順と異なっています。
- ④10 代については、標本数 (回収数) が、11 件と少ないため、データの信頼性から、分析結果に留意が必要となります。

(8) 回答者属性

		有効回答数	有効回答率			有効回答数	有効回答率
性別	全体	1,508	50.3%	職業	自営業	89	5.9%
	男性	646	42.8%		会社員	385	25.5%
	女性	811	53.8%		公務員・団体等職員	54	3.6%
	無回答	51	3.4%		アルバイト、パートタイム	242	16.0%
年齢	18～19歳	11	0.7%		専業主婦(主夫)	291	19.3%
	20～29歳	94	6.2%		学生	30	2.0%
	30～39歳	161	10.7%		無職	366	24.3%
	40～49歳	220	14.6%		その他	27	1.8%
	50～59歳	268	17.8%		無回答	24	1.6%
	60～64歳	184	12.2%		就学先・勤務先	北本市内	250
	65～69歳	193	12.8%	さいたま市内		103	6.8%
	70～74歳	195	12.9%	桶川市内		53	3.5%
	75歳以上	164	10.9%	鴻巣市内		45	3.0%
	無回答	18	1.2%	その他の埼玉県内		177	11.7%
居住年数	生まれてからずっと	138	9.2%	東京都内		167	11.1%
	5年未満	103	6.8%	埼玉県・東京都以外		23	1.5%
	5～10年未満	98	6.5%	就学・勤務していない	482	32.0%	
	10～20年未満	253	16.8%	無回答	208	13.8%	
	20年以上	898	59.5%	(同居家族構成)	ひとり暮らし	138	9.2%
	無回答	18	1.2%		夫婦のみ	448	29.7%
(コミュニケーション地域)	中丸地域	146	9.7%		親と子(2世代世帯)	672	44.6%
	中央地域	276	18.3%		親と子と孫(3世代世帯)	120	8.0%
	東地域	174	11.5%		その他	110	7.3%
	東間深井地域	199	13.2%	無回答	20	1.3%	
	南部地域	181	12.0%				
	本町西高尾地域	206	13.7%				
	西部地域	158	10.5%				
	公団地域	85	5.6%				
	無回答	83	5.5%				

3. 北本市の住みよさ【問8】

- ・北本市の住みよさ（「住みよい」及び「まあ住みよい」の合計）は、65.7%となっています。
- ・北本市の住みにくさ（「やや住みにくい」及び「住みにくい」の合計）は、13.7%となっています。
- ・約10年前（平成17年調査）との比較では、住みよさは、4.2%減少しています。

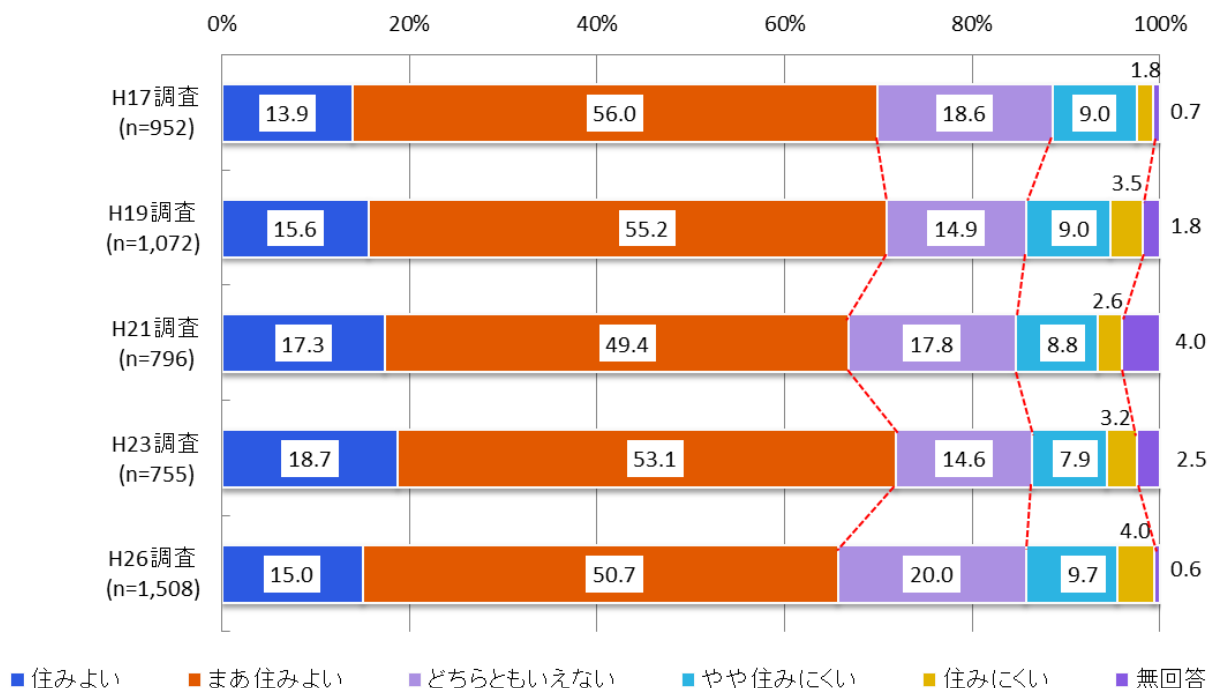
【性別、年齢、地域別の特徴】

- ・10代の「住みよい」「まあ住みよい」の回答が高くなっています（ただし、10代の回答者は、11名であり統計的信頼性から留意が必要です）。
- ・40代、50代の住みよさが、やや低くなっています（5%程度）。
- ・南部地域の住みよさは、全体より11.1%低くなっています。
- ・中丸地域、東地域の住みよさが、やや低くなっています（5%程度）。

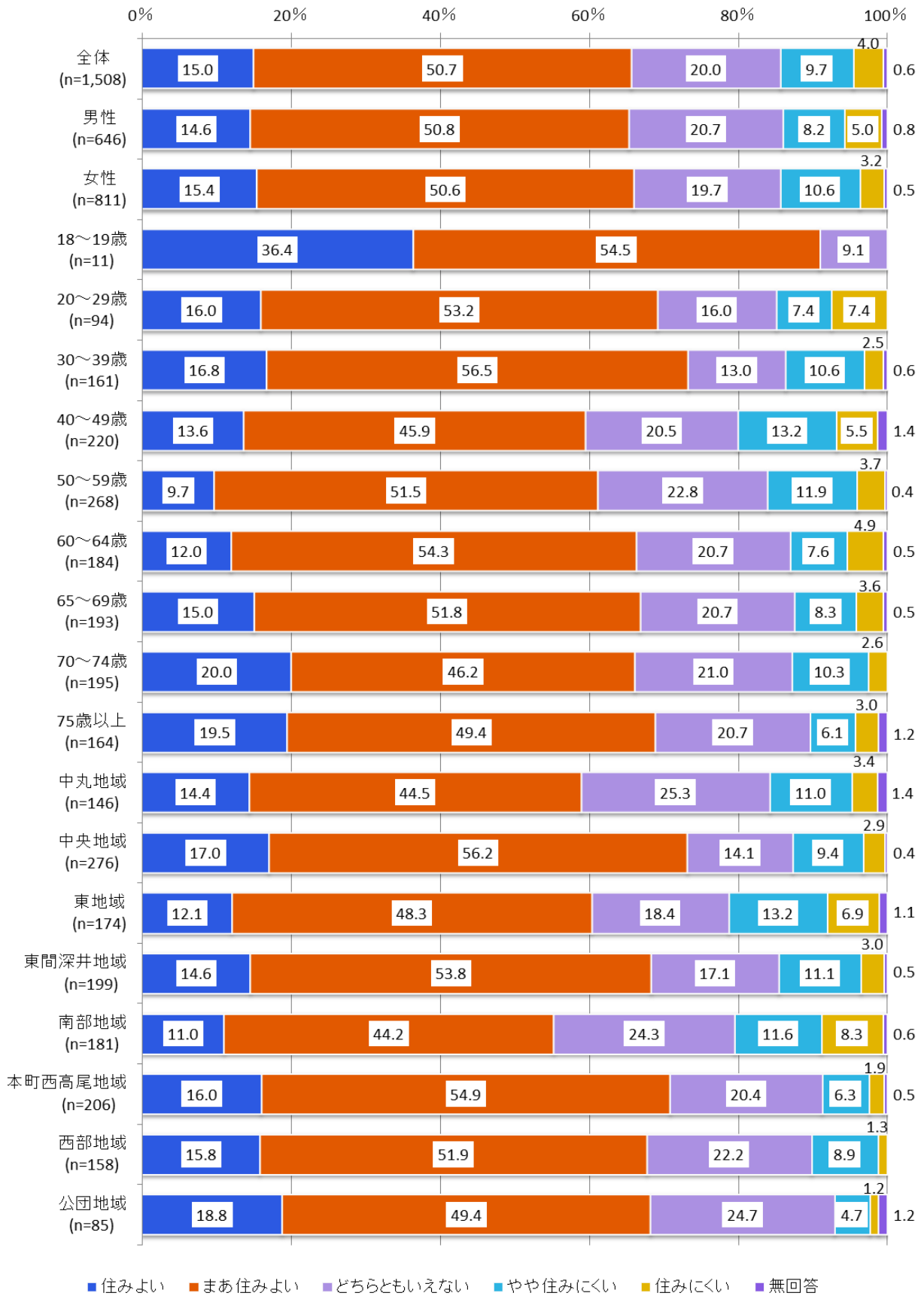
【居住年数別の特徴】

- ・住み始めて5年未満、10年以上20年未満の方の住みよさが、やや低くなっています（5%程度）。

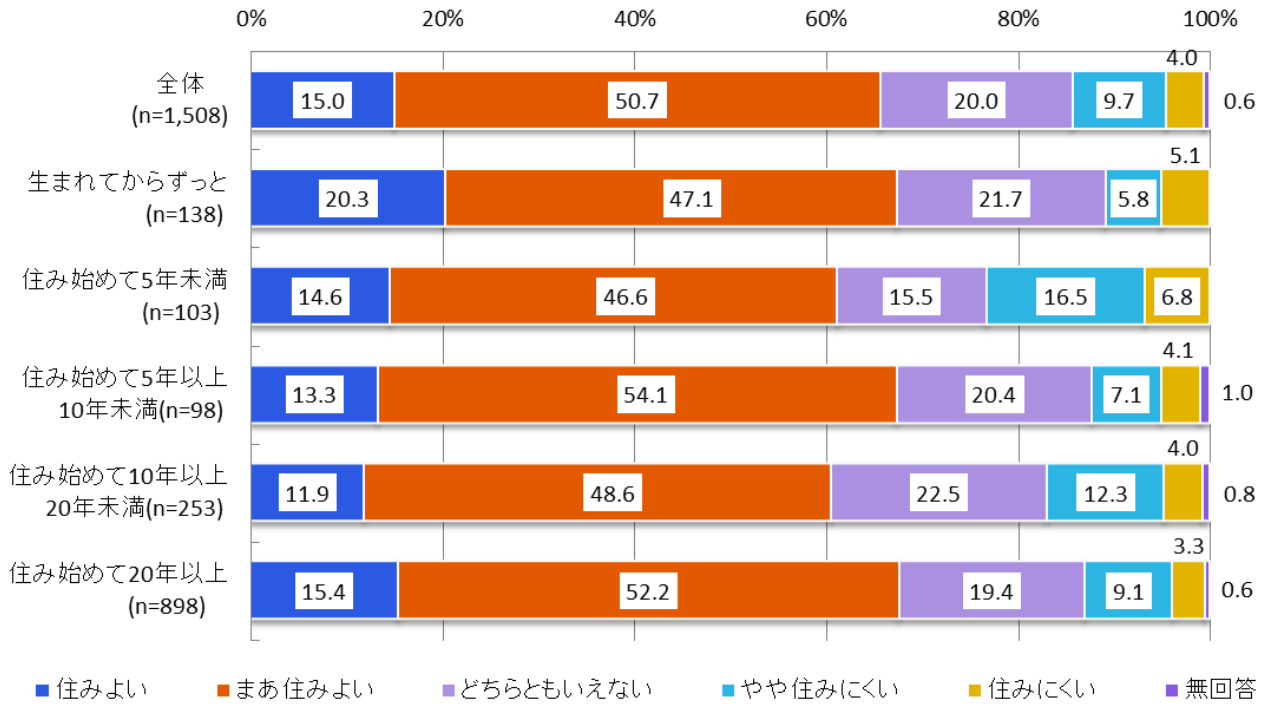
北本市の住みよさ



北本市の住みよさ（性別、年齢、地域別）



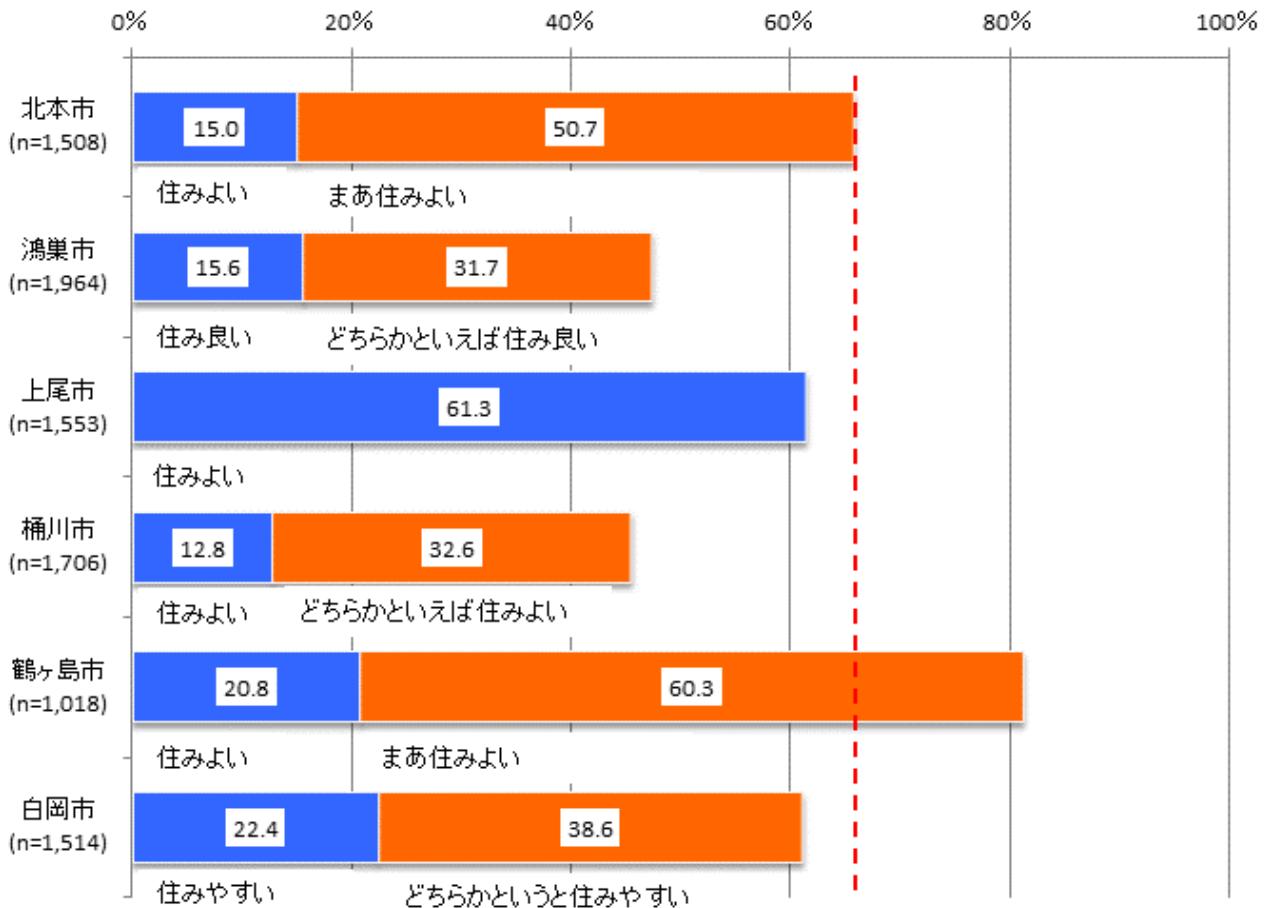
北本市の住みよさ（居住年数別）



【参考】

- ・近隣6市における住みよさの肯定的な回答を比較した場合、北本市は2番目となっています。
- ・隣接の鴻巣市、桶川市より、肯定的な回答をした人の割合が15%以上高くなっています。

北本市の住みよさ（他市との比較）



- ◆各市の住みよさに関する質問への肯定的な選択肢の回答数値をもとに作成しています（無回答含む）。
- ◆同様の設問がないため、蓮田市との比較は行っていません。
- ◆各市のデータ取得年次は次のとおり。
 鴻巣市（平成26年度）、上尾市（平成25年度）、桶川市（平成24年度）、
 鶴ヶ島市（平成21年度）、白岡市（平成25年度）

出典：北本市市民意識調査 平成26年9月
 鴻巣市まちづくり市民アンケート報告書 平成26年6月
 平成25年度上尾市市民意識調査結果報告書 平成26年3月
 桶川市第五次総合振興計画 市民アンケート報告書 平成25年1月
 広報つるがしま 平成22年5月号
 白岡市シティプロモーション戦略策定に係る市民意識調査／市外住民意識調査 結果報告書 平成26年3月

4. 北本市の定住意識【問9】

- ・北本市の定住意識は、61.7%となっています。
- ・約10年前（平成17年調査）との比較では、3.6%向上しています。

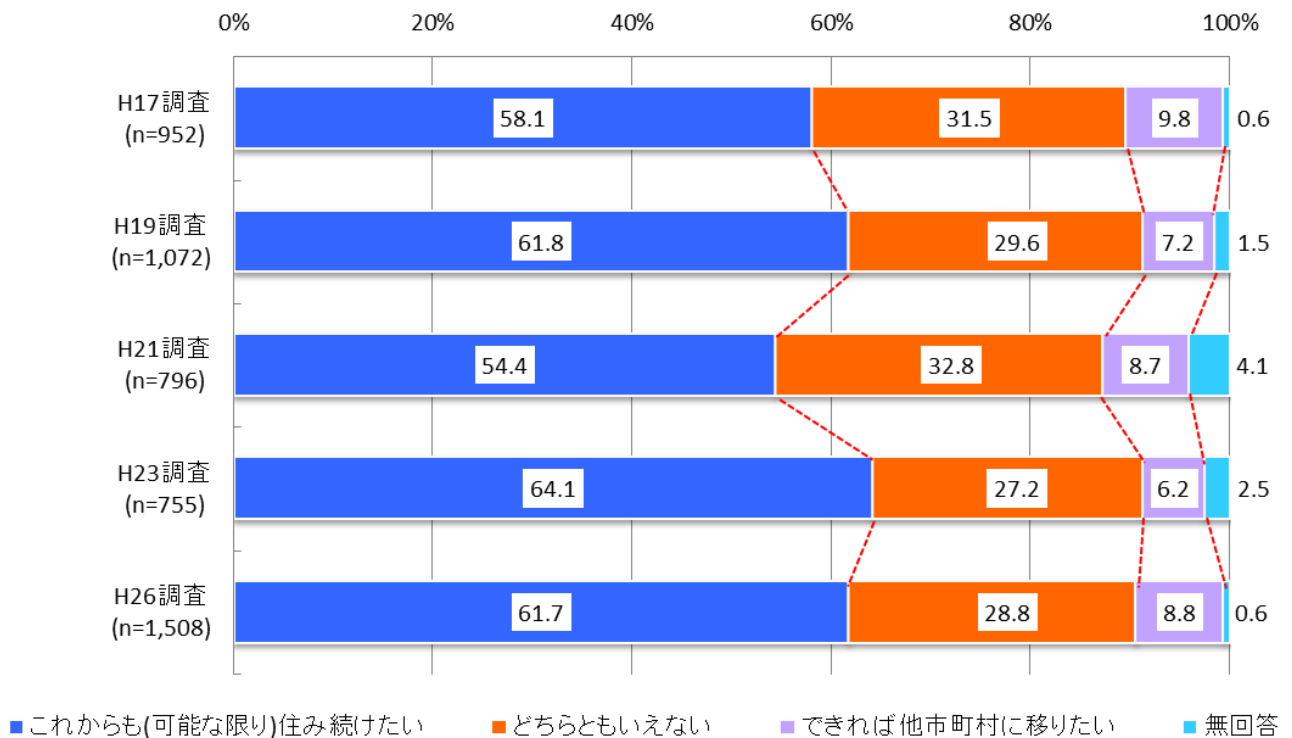
【性別、年齢、地域別の特徴】

- ・10代、20代の定住意識が低くなっています。20代の「できれば他市町村に移りたい」の回答が、23.4%と全体より14.6%高くなっています。
- ・30歳から74歳までは、年齢が上がるにつれ、定住意識が高くなる傾向が見られます。
- ・東地域、南部地域、公団地域の定住意識が、やや低くなっています。

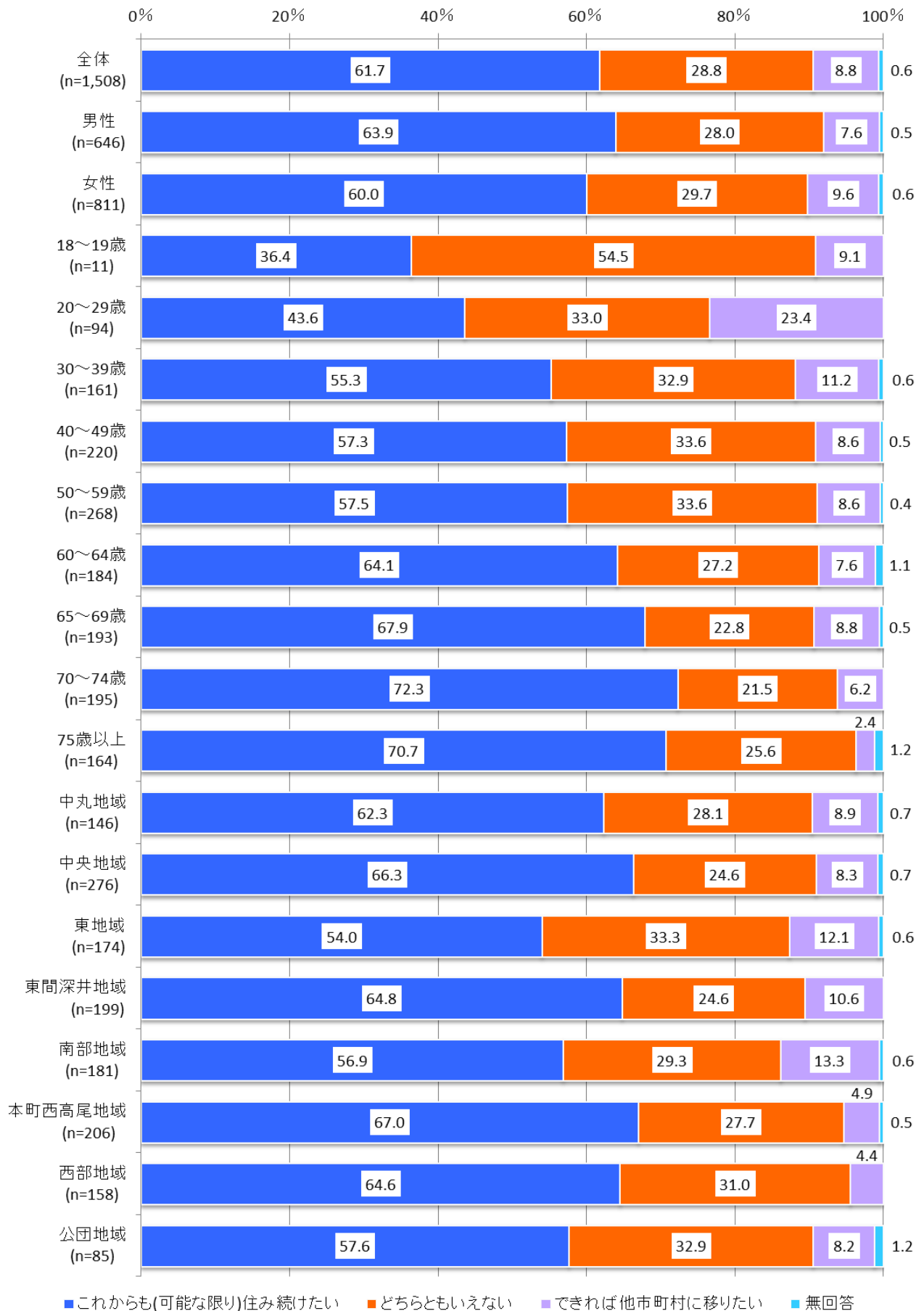
【居住年数別】

- ・住み始めて5年未満から20年未満の方の定住意識が低くなっています。
 - ◆住み始めて5年未満・・・・・・・・・・ 11.2%低い
 - ◆住み始めて5年以上10年未満・・・・ 4.6%低い
 - ◆住み始めて10年以上20年未満・・・・ 17.0%低い

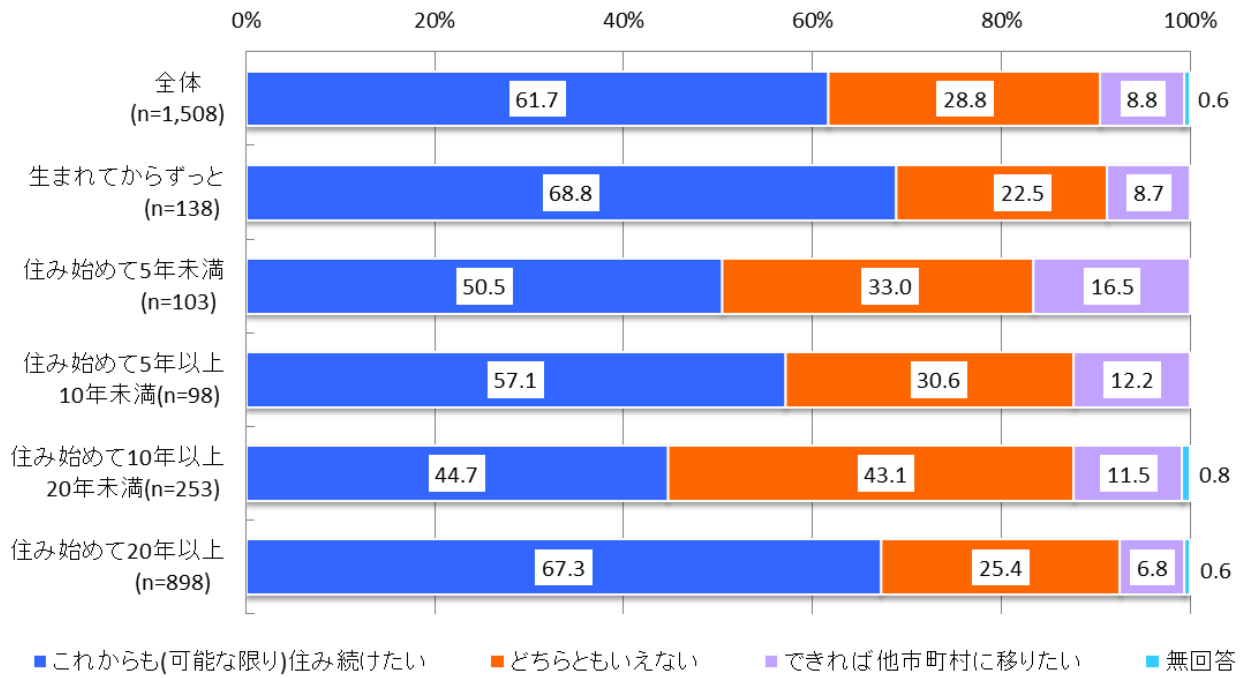
北本市の定住意識



北本市の定住意識（性別、年齢、地域別）



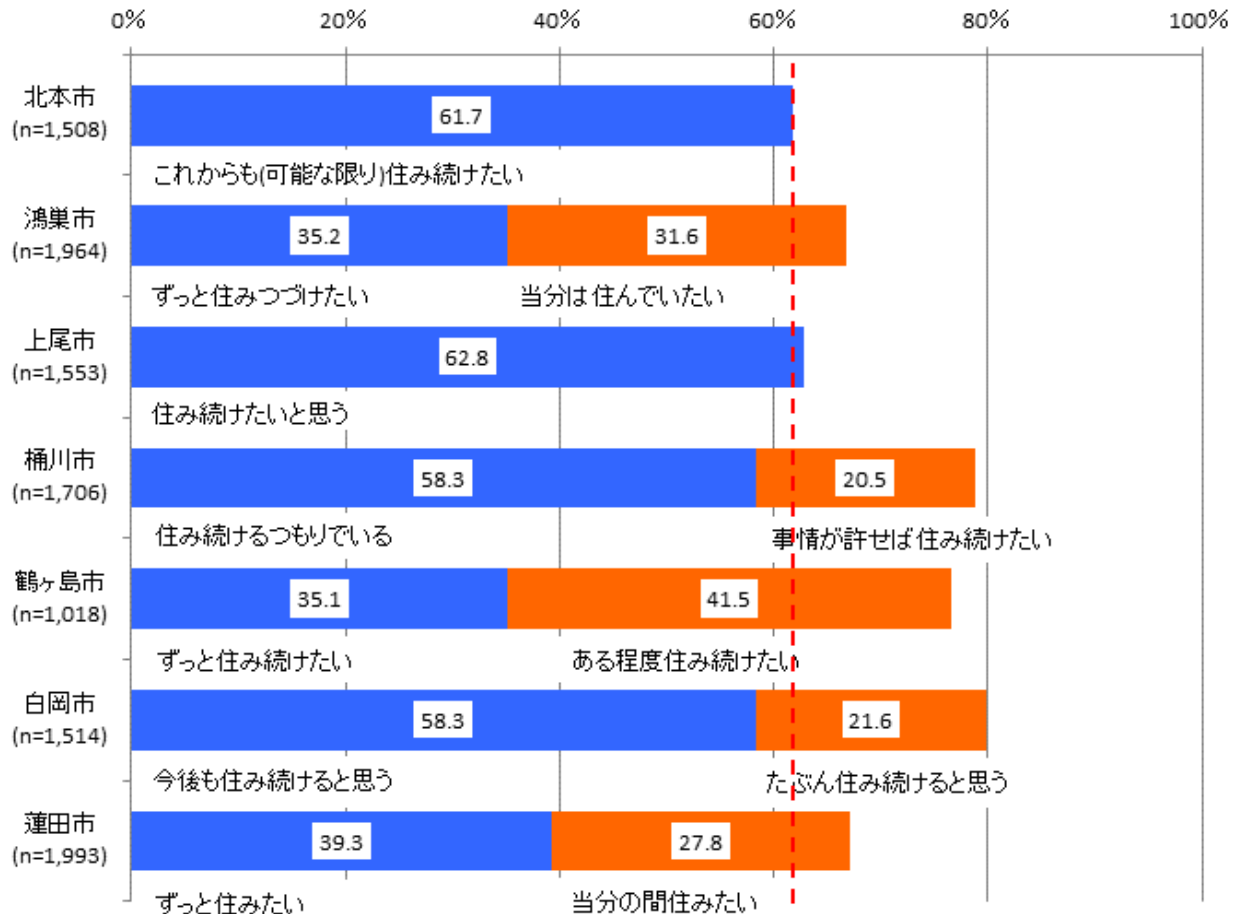
北本市の定住意識（居住年数別）



【参考】

- ・近隣7市の定住意識を比較した場合、北本市は7番目で、最も低くなっています。
- ・桶川市、鶴ヶ島市、白岡市が、8割程度の高い定住意識となっています。

北本市の定住意識（他市との比較）



◆各市の定住意識に関する質問への肯定的選択肢の回答数値をもとに作成しています。（無回答含む）

◆各市のデータ取得年次は次のとおり。

鴻巣市（平成26年度）、上尾市（平成25年度）、桶川市（平成24年度）

鶴ヶ島市（平成21年度）、白岡市（平成25年度）、蓮田市（平成17年度）

出典：北本市市民意識調査 平成26年9月

鴻巣市まちづくり市民アンケート報告書 平成26年6月

平成25年度上尾市市民意識調査結果報告書 平成26年3月

桶川市第五次総合振興計画 市民アンケート報告書 平成25年1月

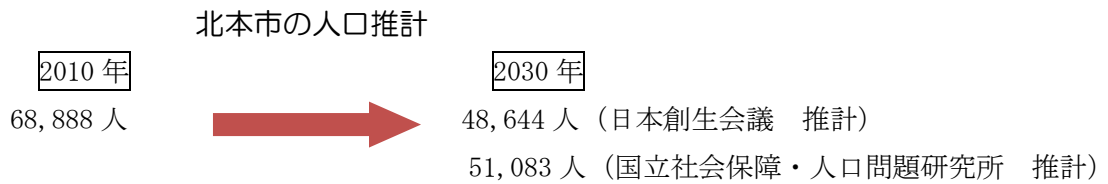
広報つるがしま 平成22年5月号

白岡市シティプロモーション戦略策定に係る市民意識調査／市外住民意識調査 結果報告書 平成26年3月

蓮田市市民意識調査報告書 平成17年9月

5. 北本市の今後の人口動向【問 10】

2030年の北本市の人口推計を、調査票内で市民に示し、今後の人口動向についての意識を回答いただいた結果についての分析となります。

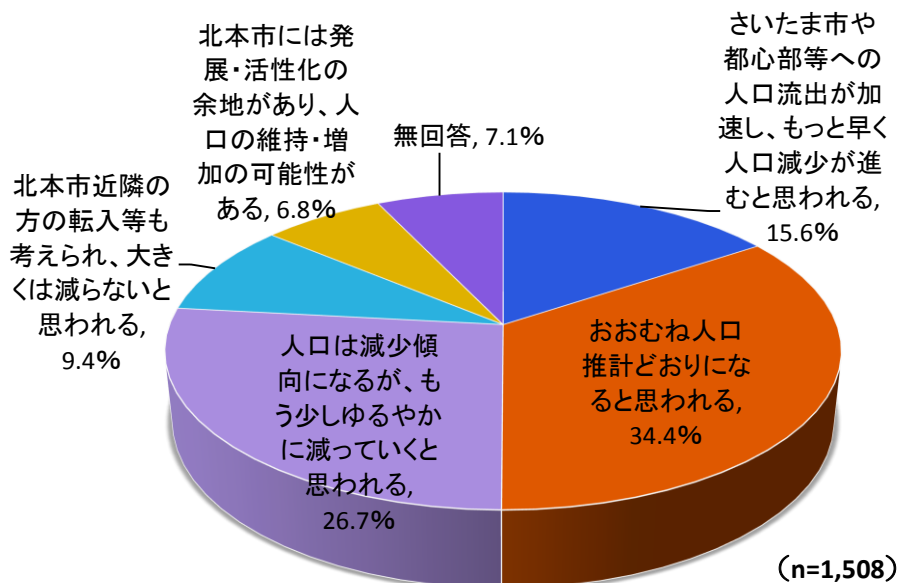


- ・人口減少が、推計どおりまたは早く減少すると考える市民は、50.0%となっています。
 - ◆人口推計よりも早く減少する・・・15.6%
 - ◆人口推計どおりに推移する・・・34.4%
- ・人口減少が、緩やかな減少になると考える市民は、36.1%となっています。
 - ◆人口推計よりも緩やかに減少する・・・26.7%
 - ◆近隣からの転入等で大きく減少しない・・・9.4%
- ・人口が維持・増加すると考える市民は、6.8%となっています。

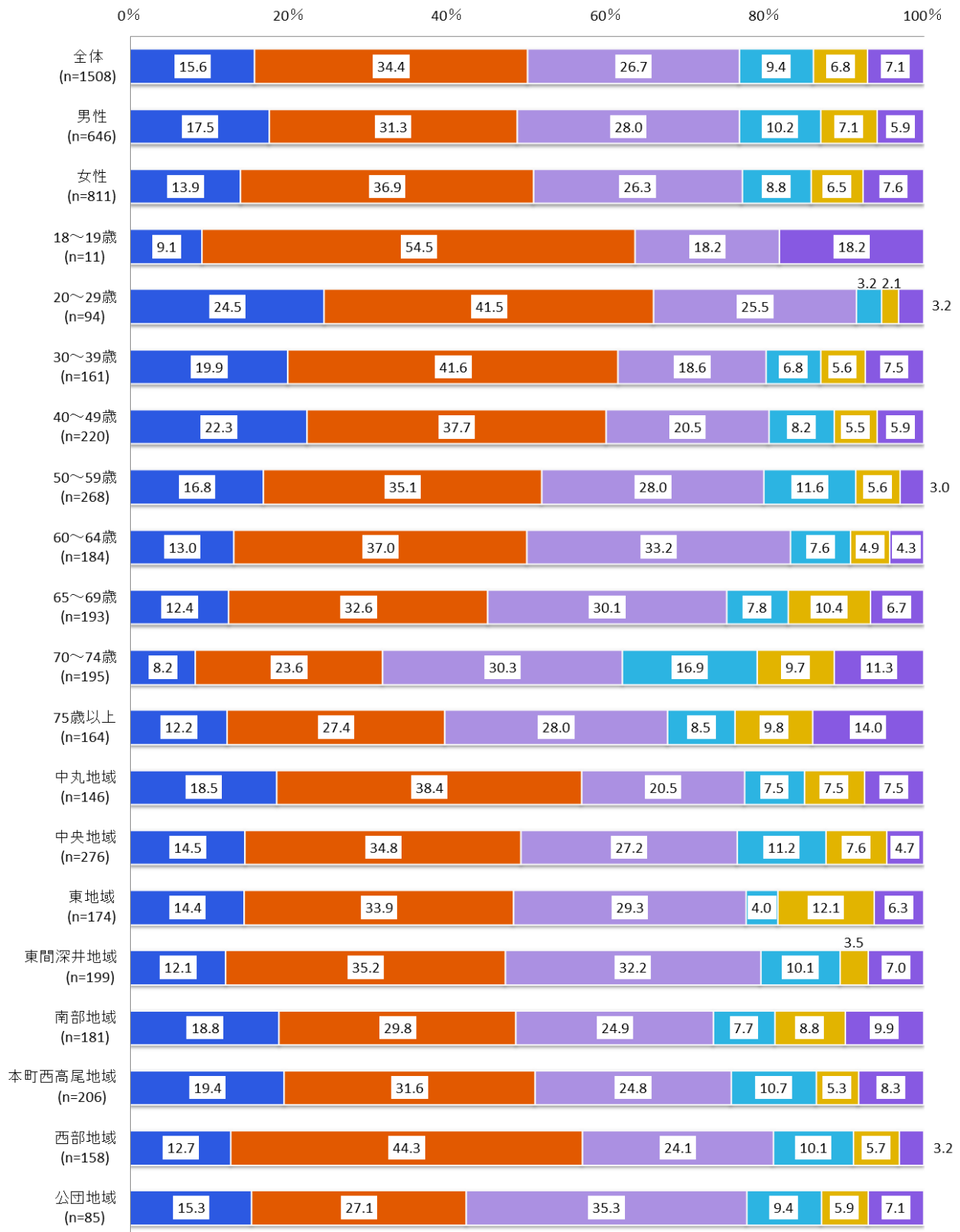
【性別、年齢、地域別の特徴】

- ・20歳から49歳まで、人口減少が早く進むと考える市民が、やや多い傾向が見られます。
- ・20歳から74歳までは、年齢が上がるにつれ、人口減少は緩やかになると考える傾向が見られます。
- ・公団地域では、他地域に比較して、人口減少が緩やかに進むと考える方が多くなっています。

北本市の今後の人口動向



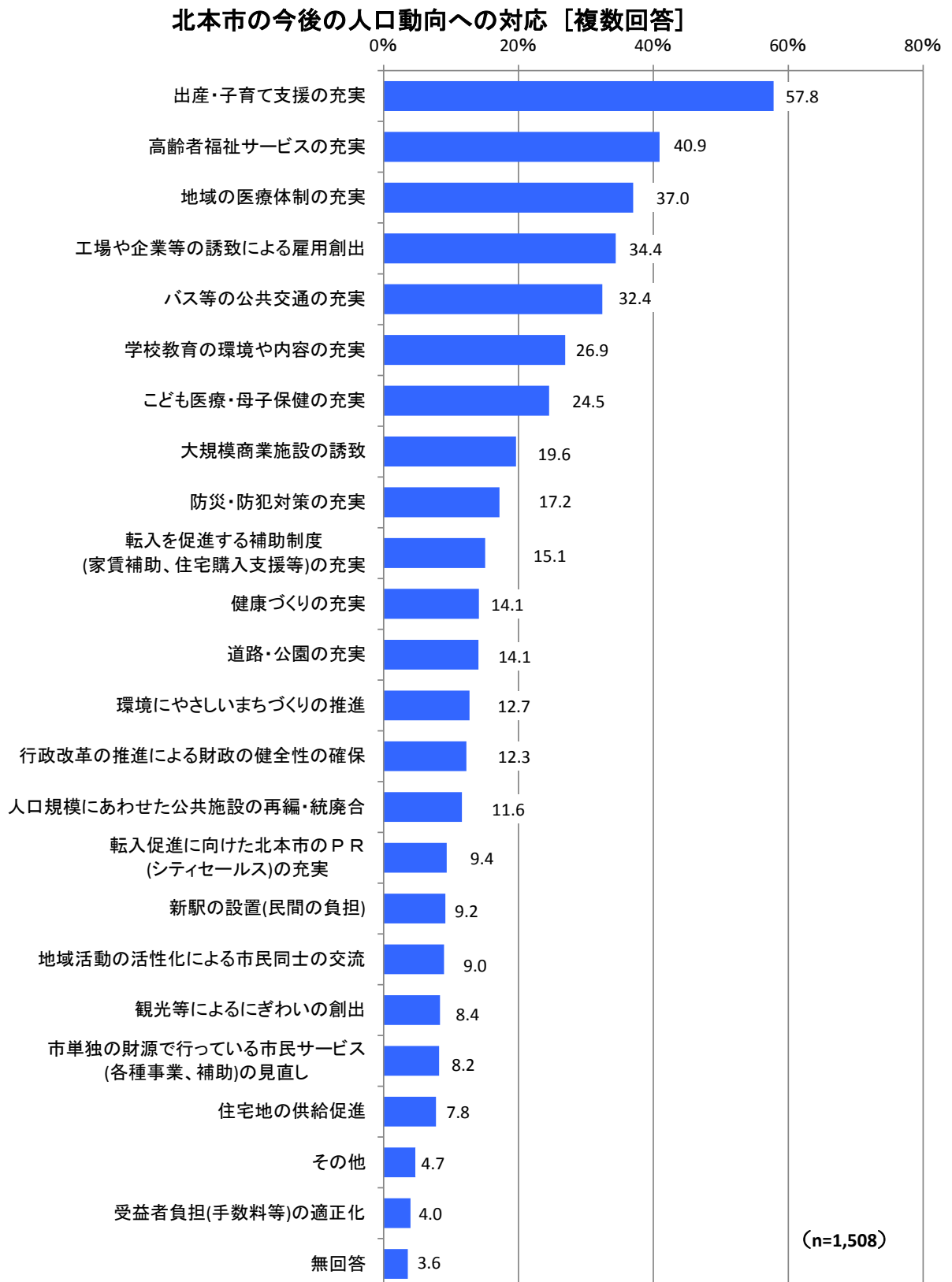
北本市の今後の人口動向（性別、年齢、地域別）



- さいたま市や都心部等への人口流出が加速し、もっと早く人口減少が進むと思われる
- おおむね人口推計どおりになるとと思われる
- 人口は減少傾向になるが、もう少しゆるやかに減っていくと思われる
- 北本市近隣の方の転入等も考えられ、大きくは減らないと思われる
- 北本市には発展・活性化の余地があり、人口の維持・増加の可能性はある
- 無回答

6. 北本市の今後の人口動向への対応【問 11】

- 1位は、「出産・子育て支援の充実」で57.2%となっています。また、性別、年齢、地域それぞれにおいても1位となっています。
- 2位は、「高齢者福祉サービスの充実」で40.9%となっています。
- 3位は、「地域医療体制の充実」で、37.0%となっています。



■北本市の今後の人口動向への対応重要度 [上位5位]

(単位：%)

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		1. 出産・子育て支援の充実 57.8	3. 高齢者福祉サービスの充実 40.9	4. 地域の医療体制の充実 37.0	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 34.4	12. バス等の公共交通の充実 32.4
性別	男性	1. 出産・子育て支援の充実 61.1	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 38.1	3. 高齢者福祉サービスの充実 37.0	4. 地域の医療体制の充実 33.0	12. バス等の公共交通の充実 27.7
	女性	1. 出産・子育て支援の充実 55.5	3. 高齢者福祉サービスの充実 44.8	4. 地域の医療体制の充実 40.2	12. バス等の公共交通の充実 36.0	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 31.9
年齢	18～19歳	1. 出産・子育て支援の充実 63.6	3. 高齢者福祉サービスの充実/12. バス等の公共交通の充実/16. 大規模商業施設の誘致 36.4			2. 学校教育の環境や内容の充実/11. 道路・公園の充実 27.3
	20～29歳	1. 出産・子育て支援の充実 68.1	2. 学校教育の環境や内容の充実/6. こども医療・母子保健の充実 37.2		12. バス等の公共交通の充実 36.2	4. 地域の医療体制の充実 27.7
	30～39歳	1. 出産・子育て支援の充実 68.3	2. 学校教育の環境や内容の充実 46.0	4. 地域の医療体制の充実/6. こども医療・母子保健の充実 36.0		12. バス等の公共交通の充実 32.3
	40～49歳	1. 出産・子育て支援の充実 55.5	4. 地域の医療体制の充実 38.6	2. 学校教育の環境や内容の充実 38.2	3. 高齢者福祉サービスの充実 34.1	12. バス等の公共交通の充実 33.6
	50～59歳	1. 出産・子育て支援の充実 55.2	3. 高齢者福祉サービスの充実 41.8	4. 地域の医療体制の充実 36.9	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 35.8	12. バス等の公共交通の充実 28.0
	60～64歳	1. 出産・子育て支援の充実 53.8	3. 高齢者福祉サービスの充実 48.4	4. 地域の医療体制の充実 37.0	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 35.9	12. バス等の公共交通の充実 34.8
	65～69歳	1. 出産・子育て支援の充実 54.4	3. 高齢者福祉サービスの充実/12. バス等の公共交通の充実/16. 大規模商業施設の誘致 40.9		4. 地域の医療体制の充実 37.8	12. バス等の公共交通の充実 34.2
	70～74歳	1. 出産・子育て支援の充実 60.5	3. 高齢者福祉サービスの充実 48.7	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 42.6	4. 地域の医療体制の充実 42.1	12. バス等の公共交通の充実 31.3
	75歳以上	1. 出産・子育て支援の充実 56.1	3. 高齢者福祉サービスの充実 49.4	4. 地域の医療体制の充実 35.4	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 34.8	12. バス等の公共交通の充実 31.1
居住地域	中丸地域	1. 出産・子育て支援の充実 63.0	3. 高齢者福祉サービスの充実/12. バス等の公共交通の充実 49.3		4. 地域の医療体制の充実 36.3	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 34.9
	中央地域	1. 出産・子育て支援の充実 60.5	3. 高齢者福祉サービスの充実 40.2	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 38.8	4. 地域の医療体制の充実 37.3	2. 学校教育の環境や内容の充実 28.3
	東地域	1. 出産・子育て支援の充実 61.5	3. 高齢者福祉サービスの充実 39.7	4. 地域の医療体制の充実 35.6	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 33.3	2. 学校教育の環境や内容の充実/12. バス等の公共交通の充実 31.0
	東間深井地域	1. 出産・子育て支援の充実 60.8	3. 高齢者福祉サービスの充実 45.7	4. 地域の医療体制の充実 39.7	12. バス等の公共交通の充実 37.2	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 30.7
	南部地域	1. 出産・子育て支援の充実 51.4	14. 新駅の設定(民間の負担) 47.5	12. バス等の公共交通の充実 39.2	3. 高齢者福祉サービスの充実 38.1	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 35.4
	本町西高尾地域	1. 出産・子育て支援の充実 59.7	4. 地域の医療体制の充実 44.2	3. 高齢者福祉サービスの充実 35.0	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 32.0	6. こども医療・母子保健の充実 29.6
	西部地域	1. 出産・子育て支援の充実 54.4	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 39.9	3. 高齢者福祉サービスの充実 36.7	4. 地域の医療体制の充実 33.5	12. バス等の公共交通の充実 32.9
	公団地域	1. 出産・子育て支援の充実 52.9	3. 高齢者福祉サービスの充実 38.8	15. 工場や企業等の誘致による雇用創出 37.6	4. 地域の医療体制の充実 30.6	12. バス等の公共交通の充実 29.4

7. 38 施策の満足度及び重要度【問 22】

(1) 施策別の満足度及び重要度の分析の考え方

- ・ 施策の満足度及び重要度のそれぞれの5つの選択肢について、5点満点で点数化した値を用いて、分析を実施しています。

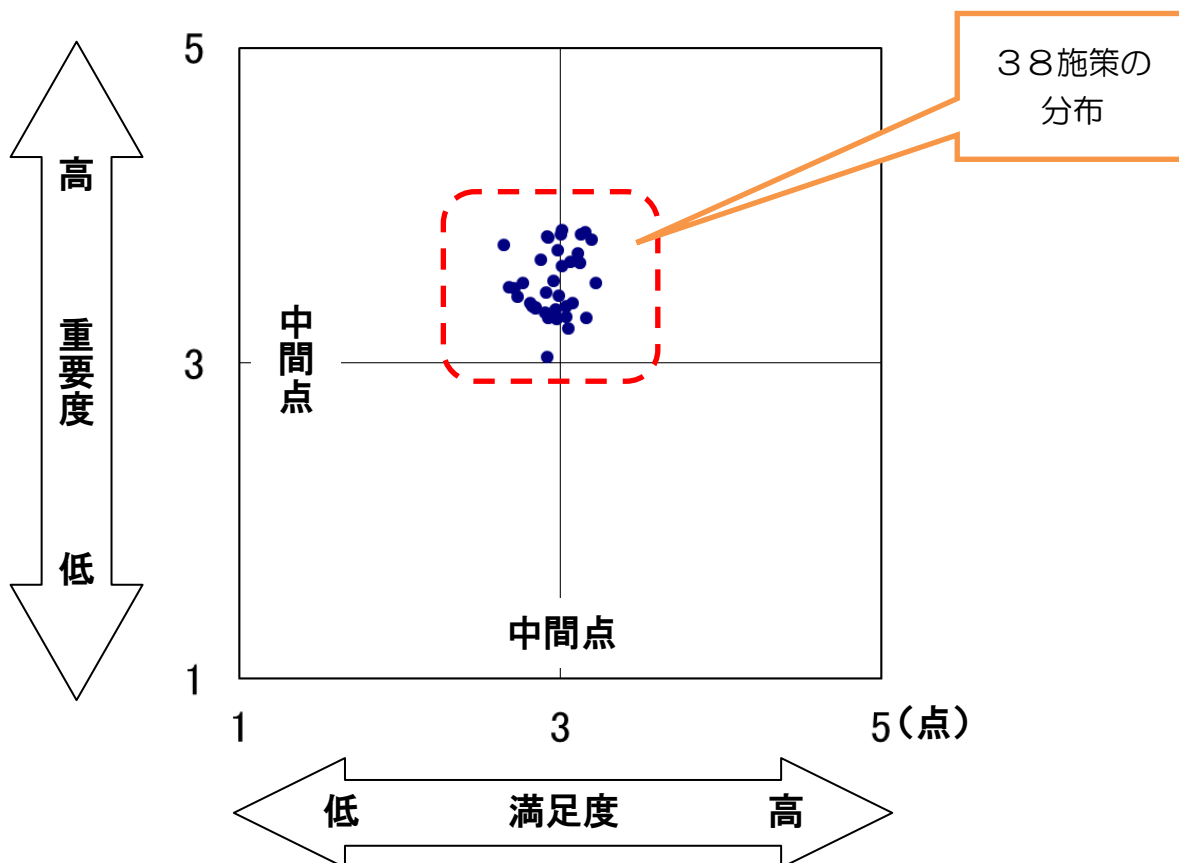
満足度	
1 満足している	5点
2 やや満足している	4点
3 どちらともいえない	3点
4 やや不満である	2点
5 不満である	1点
無回答(不明)	除外

重要度	
1 重視している	5点
2 やや重視している	4点
3 どちらともいえない	3点
4 あまり重視していない	2点
5 重視していない	1点
無回答(不明)	除外

最高点：5点
中間点：3点
最低点：1点

(2) 施策別の満足度及び重要度の全体傾向

- ・ 施策の満足度の平均点は、2.96点とほぼ3点（中間点）周辺に集まっています。
- ・ 施策の満足度は、最高3.22点、最低2.65点で、ばらつきは0.57点です。
- ・ 中間点の3.00点以上の分野は、38分野中15分野で、39.5%が、中間（ふつう）以上の回答となっています。
- ・ 施策の重要度は、最高3.84点、最低3.04点で、ばらつきは0.76点です。
- ・ 重要度は、他市においても中間値3.00点を下回る状態は、ほぼ見られないため、重要度が高いという傾向にはないと推察できます。

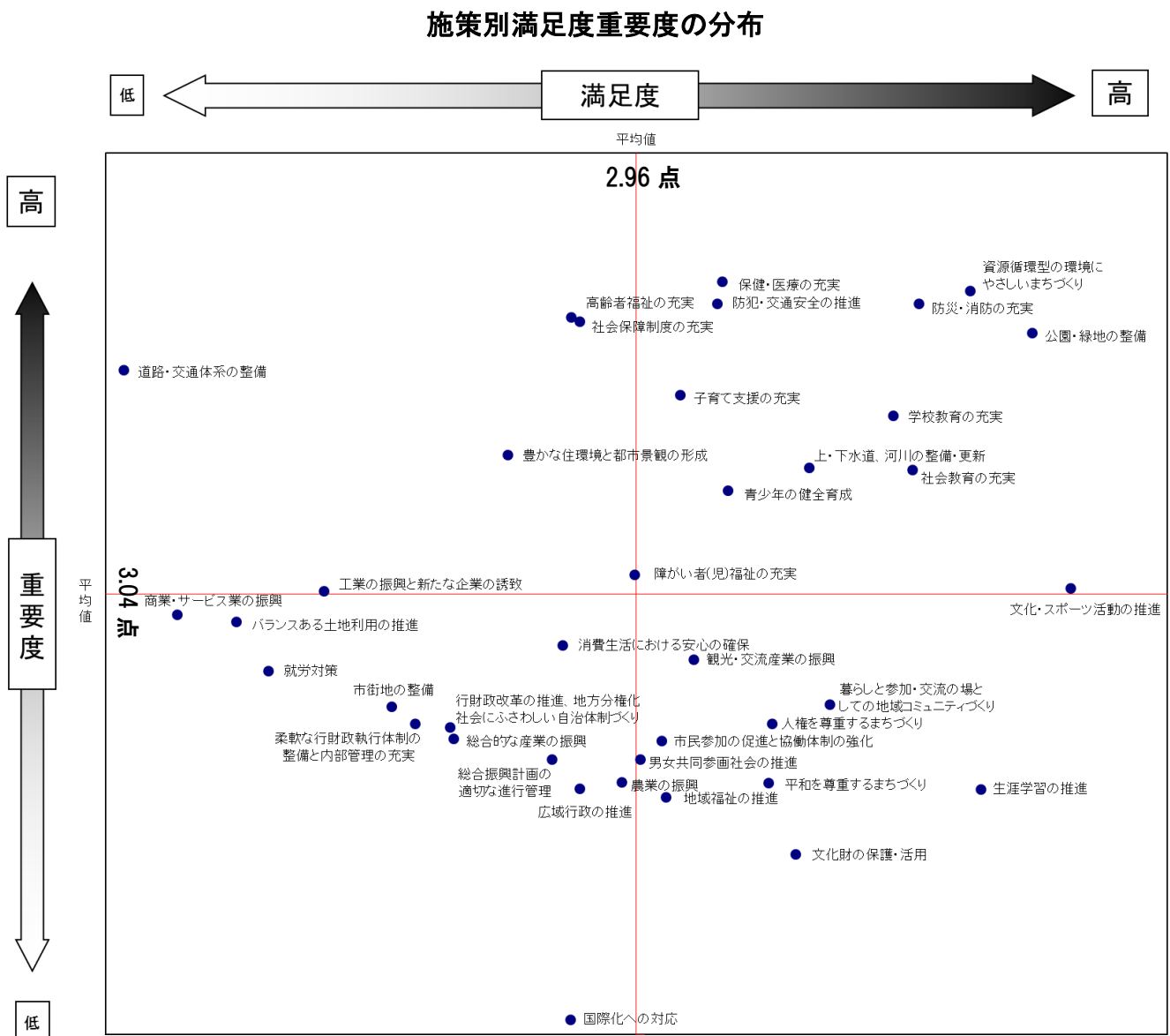


(2) 施策別満足度重要度の分布

北本市の施策別満足度及び重要度の平均点を基準に作成した分布図は、下記のとおり

- ・満足度が低く重要度が高い施策群には、4 施策が該当しています。
 - ◆「道路・公共交通体系の整備」（満足度：最下位 重要度：9位）
 - ◆「豊かな住環境と都市景観の形成」（満足度：29位 重要度：11位）
 - ◆「高齢者福祉の充実」（満足度：25位 重要度：5位）
 - ◆「社会保障制度の充実」（満足度：24位 重要度：6位）

■年齢別、地域別の分布図…【参考資料2】年齢、地域別の施策別満足度重要度分布図に記載



(3) 施策別満足度の状況及び推移

【施策別満足度の状況】

・平成26年時点の施策別満足度の上位及び下位5項目は、下記のとおり。

<上位5項目>

- 1位：「文化・スポーツ活動の充実」
- 2位：「公園・緑地の整備」
- 3位：「生涯学習の推進」
- 4位：「資源環境型の環境にやさしいまちづくり」
- 5位：「防災・消防の充実」

<下位5項目>

- 34位：「工業の振興と新たな企業の誘致」
- 35位：「就労対策」
- 36位：「バランスある土地利用の推進」
- 37位：「商業・サービス業の振興」
- 38位：「道路・交通体系の整備」

【施策別満足度の推移】

- ・施策別満足度の上位5項目は、おおむね固定的に推移しています。平成26年調査では、「防災・消防の充実」が5位となり、「社会教育」が6位となりました。
- ・施策別満足度の下位5項目は、おおむね固定的に推移しています。平成23年調査のみ「広域行政の推進」が下位5項目に位置付けられました。

■全施策順位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【参考資料1】施策別満足度重要度一覧に記載

■性別、年齢別、地域別の上位5項目一覧・・・【参考資料1】施策別満足度重要度一覧に記載

■性別、年齢別、地域別の下位5項目一覧・・・【参考資料1】施策別満足度重要度一覧に記載

施策別満足度の上位及び下位5項目の推移

上位5項目(高い)5項目【H21】			上位5項目(高い)5項目【H23】			上位5項目(高い)5項目【H26】		
1位	公園・緑地の整備	3.30点	1位	公園・緑地の整備	3.31点	1位	文化・スポーツ活動の推進	3.22点
2位	資源循環型の環境にやさしいまちづくり	3.27点	2位	資源循環型の環境にやさしいまちづくり	3.18点	2位	公園・緑地の整備	3.20点
3位	文化・スポーツ活動の推進	3.25点	3位	文化・スポーツ活動の推進	3.15点	3位	生涯学習の推進	3.17点
4位	生涯学習の推進	3.21点	4位	生涯学習の推進	3.14点	4位	資源循環型の環境にやさしいまちづくり	3.16点
4位	社会教育の充実	3.21点	5位	社会教育の充実	3.13点	5位	防災・消防の充実	3.13点
施策満足度平均点 3.01点			施策満足度平均点 2.98点			施策満足度平均点 2.96点		

下位5項目(低い)5項目【H21】			下位5項目(低い)5項目【H23】			下位5項目(低い)5項目【H26】		
34位	工業の振興と新たな企業の誘致	2.86点	34位	広域行政の推進	2.83点	34位	工業の振興と新たな企業の誘致	2.77点
35位	バランスある土地利用の推進	2.85点	35位	バランスある土地利用の推進	2.77点	35位	就労対策	2.74点
36位	道路・交通体系の整備	2.82点	36位	就労対策	2.75点	36位	バランスある土地利用の推進	2.72点
37位	商業・サービス業の振興	2.75点	37位	商業・サービス業の振興	2.74点	37位	商業・サービス業の振興	2.68点
38位	就労対策	2.70点	38位	道路・交通体系の整備	2.73点	38位	道路・交通体系の整備	2.65点

(4) 施策別重要度の状況及び推移

【施策別重要度の状況】

・平成26年時点の施策別重要度の上位及び下位5項目は、下記のとおり。

＜上位5項目＞

- 1位：「保健・医療の充実」
- 2位：「資源環境型の環境にやさしいまちづくり」
- 3位：「防災・消防の充実」
- 4位：「防犯・交通安全の推進」
- 5位：「高齢者福祉の充実」

＜下位5項目＞

- 34位：「広域行政の推進」
- 35位：「生涯学習の推進」
- 36位：「地域福祉の推進」
- 37位：「文化財の保護・活用」
- 38位：「国際化への対応」

【施策別重要度の推移】

- ・施策別重要度の上位5項目は、おおむね固定的に推移しています。平成23年に「防災・消防の充実」が上位項目に入り、平成26年調査では3位と重要度が高くなっています。
- ・施策別満足度の下位5項目は、おおむね固定的に推移しています。平成26年調査では、「生涯学習の推進」「地域福祉の推進」が下位5項目に位置付けられました。

■全施策順位……………【参考資料1】施策別満足度重要度一覧に記載

■性別、年齢別、地域別の上位5項目一覧…【参考資料1】施策別満足度重要度一覧に記載

■性別、年齢別、地域別の下位5項目一覧…【参考資料1】施策別満足度重要度一覧に記載

施策別重要度の上位及び下位5項目の推移

上位5項目(高い)5項目【H21】			上位5項目(高い)5項目【H23】			上位5項目(高い)5項目【H26】		
1位	高齢者福祉の充実	3.98点	1位	保健・医療の充実	3.97点	1位	保健・医療の充実	3.84点
2位	社会保障制度の充実	3.98点	2位	高齢者福祉の充実	3.92点	2位	資源循環型の環境にやさしいまちづくり	3.83点
3位	保健・医療の充実	3.97点	3位	資源循環型の環境にやさしいまちづくり	3.91点	3位	防災・消防の充実	3.82点
4位	防犯・交通安全の推進	3.97点	4位	防犯・交通安全の推進	3.90点	4位	防犯・交通安全の推進	3.82点
5位	資源循環型の環境にやさしいまちづくり	3.95点	5位	防災・消防の充実	3.90点	5位	高齢者福祉の充実	3.80点
施策重要度平均点 3.60点			施策重要度平均点 3.57点			施策重要度平均点 3.50点		

下位5項目(低い)5項目【H21】			下位5項目(低い)5項目【H23】			下位5項目(低い)5項目【H26】		
34位	総合的な産業の振興	3.39点	34位	農業の振興	3.34点	34位	広域行政の推進	3.29点
35位	農業の振興	3.38点	35位	総合振興計画の適切な進行管理	3.31点	35位	生涯学習の推進	3.29点
36位	総合振興計画の適切な進行管理	3.36点	36位	文化財の保護・活用	3.30点	36位	地域福祉の推進	3.28点
37位	広域行政の推進	3.24点	37位	広域行政の推進	3.21点	37位	文化財の保護・活用	3.22点
38位	国際化への対応	3.12点	38位	国際化への対応	3.07点	38位	国際化への対応	3.04点

(5) 施策別満足度及び重要度の変化度

・施策別での平成21年調査と平成26年調査の2点間比較で、変化度の分析結果は下記のとおり。

◆満足度低下、重要度向上の施策（まちの課題となる施策）

- 「道路・交通体系の整備」
- 「商業・サービス業の振興」
- 「工業の振興と新たな企業の誘致」

◆満足度向上、重要度向上の施策（より強みにしていくことが求められる施策）

- 「観光・交流産業の振興」

◆満足度向上、重要度低下の施策（一定の成果が発現したと推察できる施策）

- 「子育て支援の充実」
- 「高齢者福祉の充実」
- 「障がい者（児）福祉の充実」
- 「社会福祉制度の充実」
- 「就労対策」
- 「広域行政の推進」

施策別満足度及び重要度の変化度

H26-H21の変化度

		満足度	
		低下	向上
重要度	向上	道路・交通体系の整備 (△0.17, 0.06) 商業・サービス業の振興 (△0.07, 0.01) 工業の振興と新たな企業の誘致 (△0.09, 0.03)	観光・交流産業の振興 (0.1, 0.02)
	低下	28施策	子育て支援の充実 (0.07, △0.05) 高齢者福祉の充実 (0.03, △0.18) 障がい者(児)福祉の充実 (0.02, △0.22) 社会保障制度の充実 (0.01, △0.18) 就労対策 (0.04, △0.18) 広域行政の推進 (0.04, 0.05)

()内の数値 右：平成26年度の満足度と平成21年度の満足度の差異
 左：平成26年度の重要度と平成21年度の重要度の差異

(6) 住みよさと施策別満足度及び重要度との関係

- ・住みよさの設問で、「やや住みにくい」及び「住みにくい」と回答した方の施策別満足度及び重要度の回答のうち、全体の施策別満足度及び重要度と比較して 20%以上の差がみられる施策は、下記のとおり。

		満足度（不満である）	重要度（重視している）
問 8 住 み よ さ	やや住みにくい (147人)	18. 道路・交通体系の整備	
	住みにくい (60人)	2. 学校教育の充実 4. 社会教育の充実 10. 高齢者福祉の充実 11. 障がい者（児）福祉の充実 13. バランスある土地利用の推進 14. 豊かな住環境と都市景観の形成 16. 公園・緑地の整備 17. 市街地の整備 18. 道路・交通体系の整備 19. 上・下水道、河川の整備・更新 20. 防犯・交通安全の推進 22. 総合的な産業の振興 24. 商業・サービス業の振興 25. 工業の振興と新たな企業の誘致 27. 就労対策 36. 柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実 38. 総合振興計画の適切な進行管理 市の行政施策に対する総合評価	18. 道路・交通体系の整備

(7) 定住意識と施策別満足度及び重要度との関係

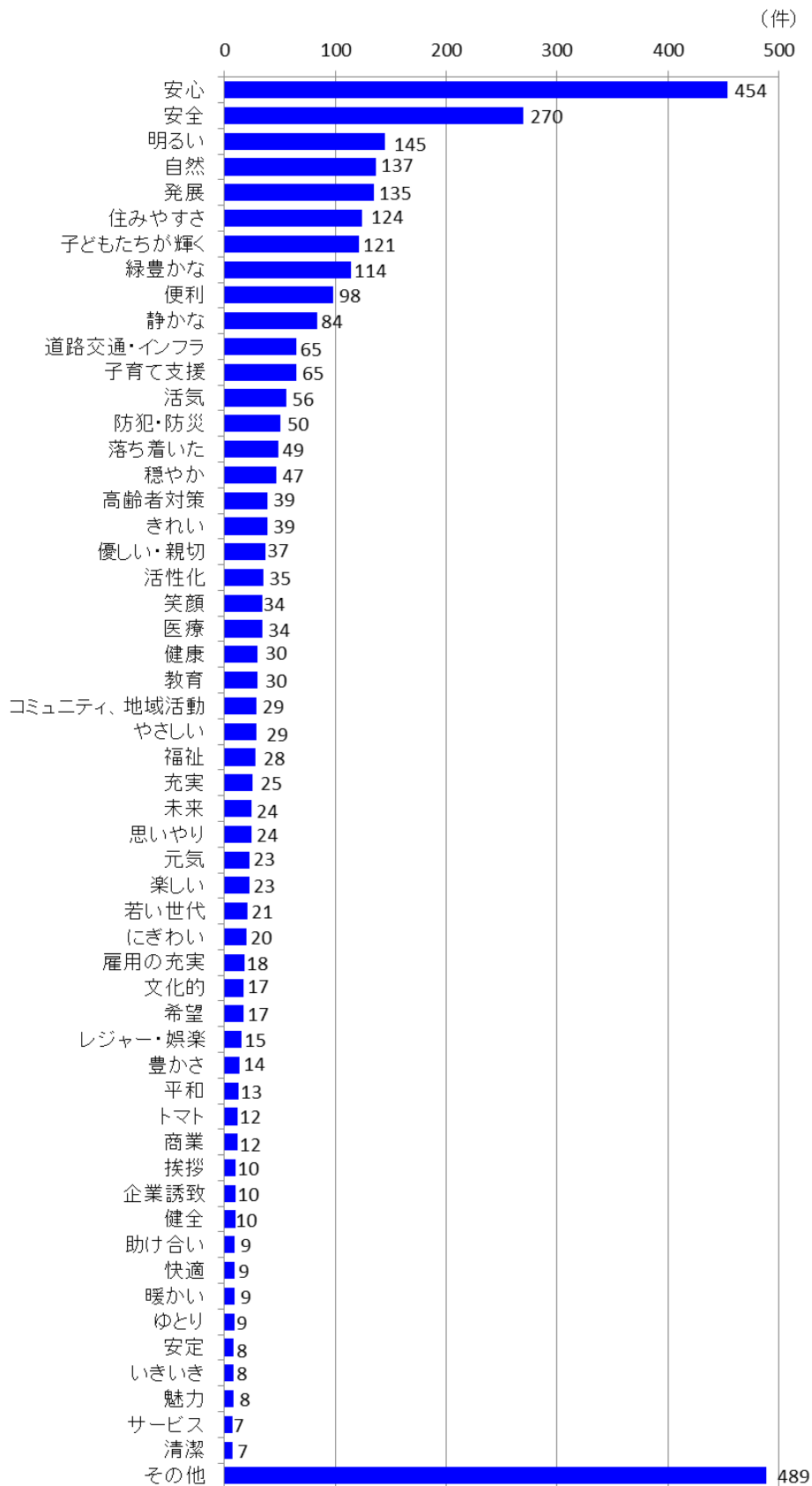
- ・できれば他市町村に移りたいと回答した方の施策別満足度及び重要度の回答で、全体の施策別満足度及び重要度と比較して 10%以上の差がみられる施策は、下記のとおり。

		満足度（不満である）	重要度（重視している）
問 9 定 住 意 識	できれば他市町村 に移りたい (133人)	4. 社会教育の充実 12. 社会保障制度の充実 13. バランスある土地利用の推進 14. 豊かな住環境と都市景観の形成 16. 公園・緑地の整備 17. 市街地の整備 18. 道路・交通体系の整備 22. 総合的な産業の振興 24. 商業・サービス業の振興 25. 工業の振興と新たな企業の誘致 市の行政施策に対する総合評価	18. 道路・交通体系の整備

8. まちづくりの姿（都市像）を考えるとときに思い浮かぶ単語やキーワードの傾向【問12】

・「安心」が454件、「安全」が270件で上位となっています。

まちづくりの姿キーワード【複数回答】

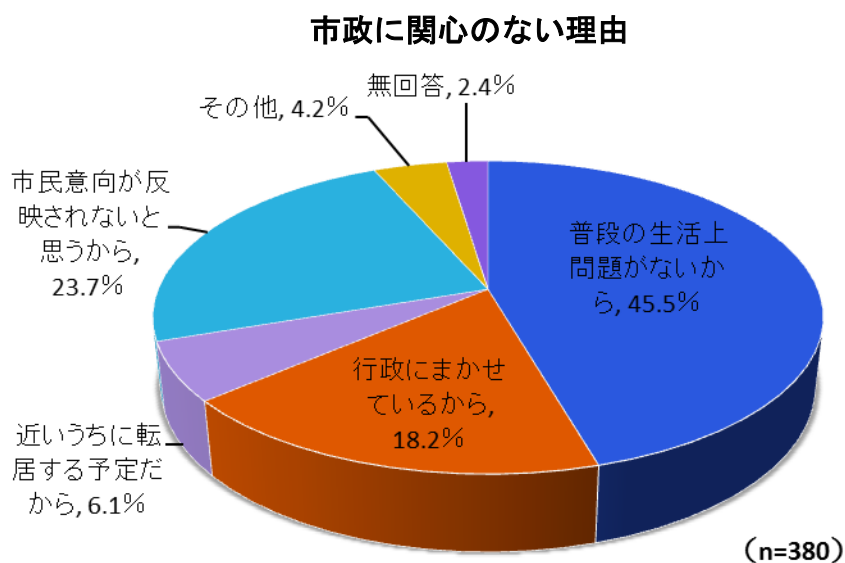
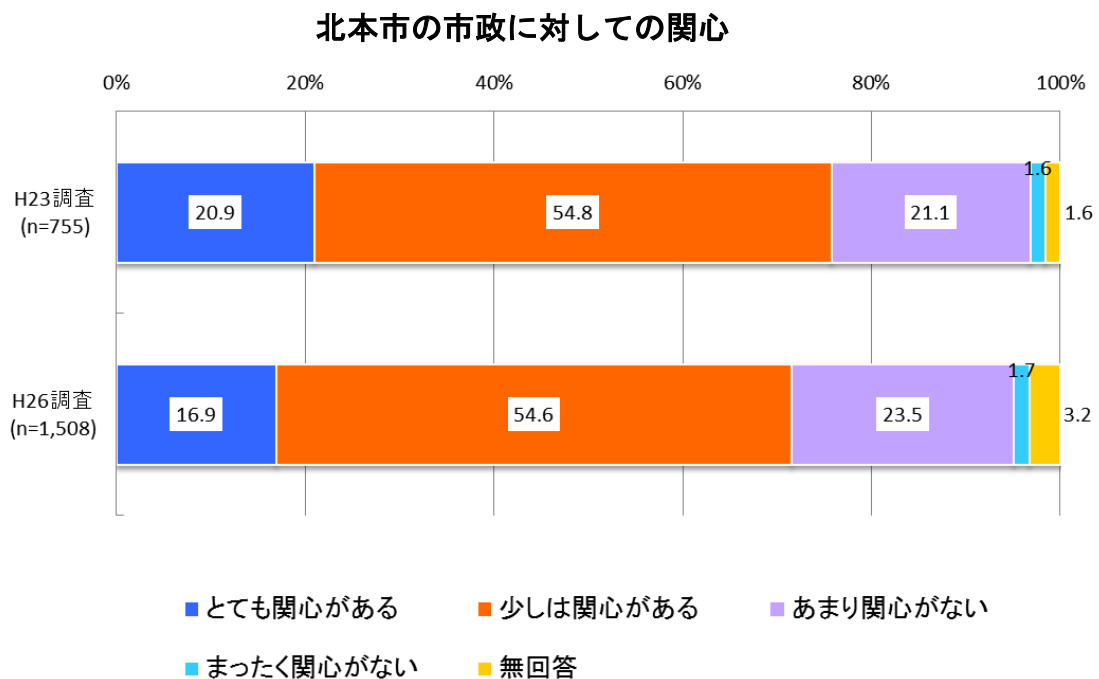


9. 市政に対するの関心【問1】

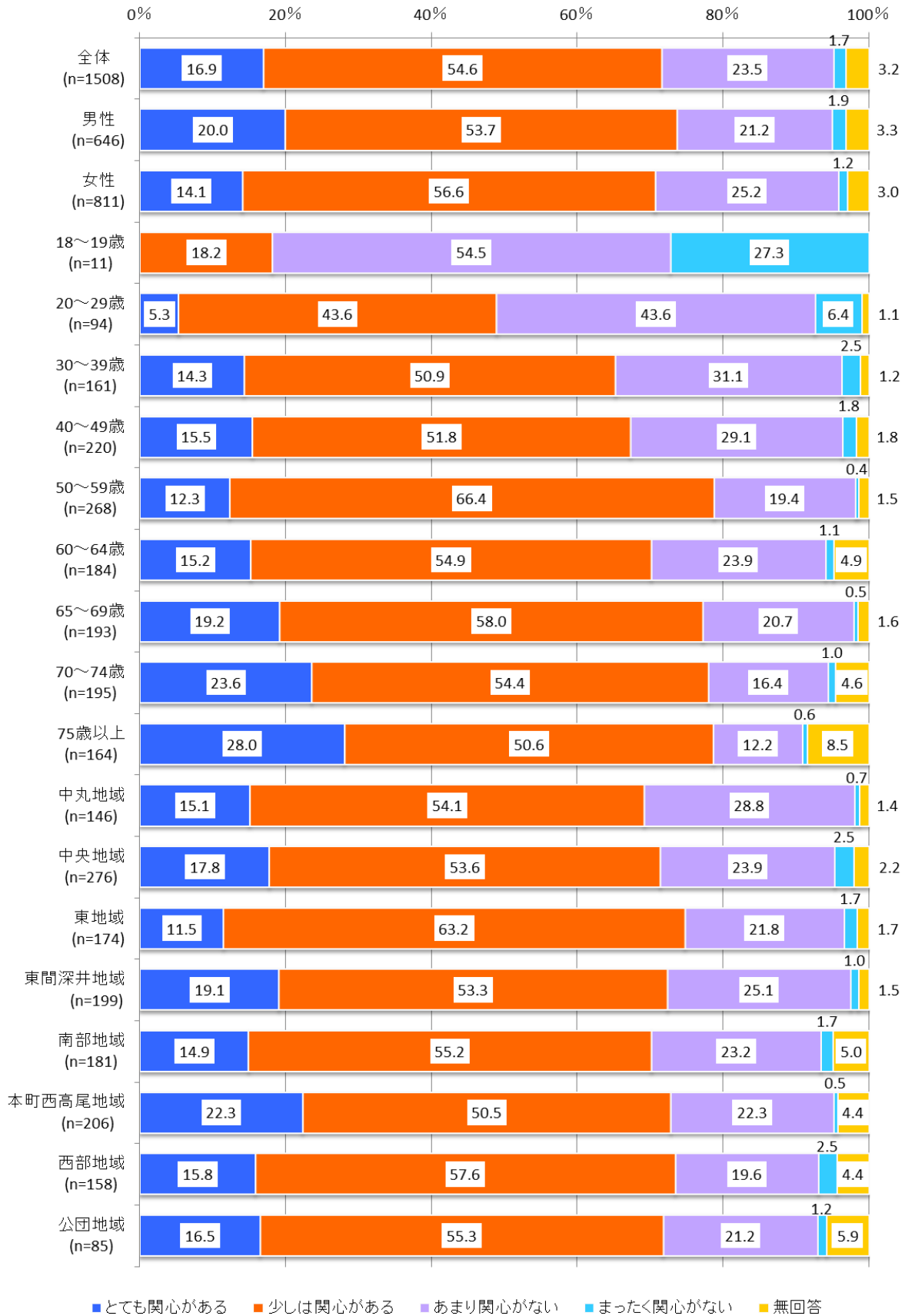
- ・ 市政に対するの関心のある方は、71.5%となっています（「とても関心がある」16.9%、「少しは関心がある」54.6%）。
- ・ 3年前（平成23年調査）との比較では、4.2%減少しています。
- ・ 市政に関心のない理由は、「普段の生活上問題がないから」が45.5%、次いで「市民意向が反映されないと思うから」が23.7%、「行政に任せているから」が18.2%となっています。

【性別、年齢、地域別の特徴】

- ・ 10代の市政に対するの関心は、非常に低く18.2%にとどまっています。
- ・ 20歳以上は、年齢が上がるにつれ、市政への関心が高くなる傾向が見られます。



北本市の市政に対する関心（性別、年齢、地域別）



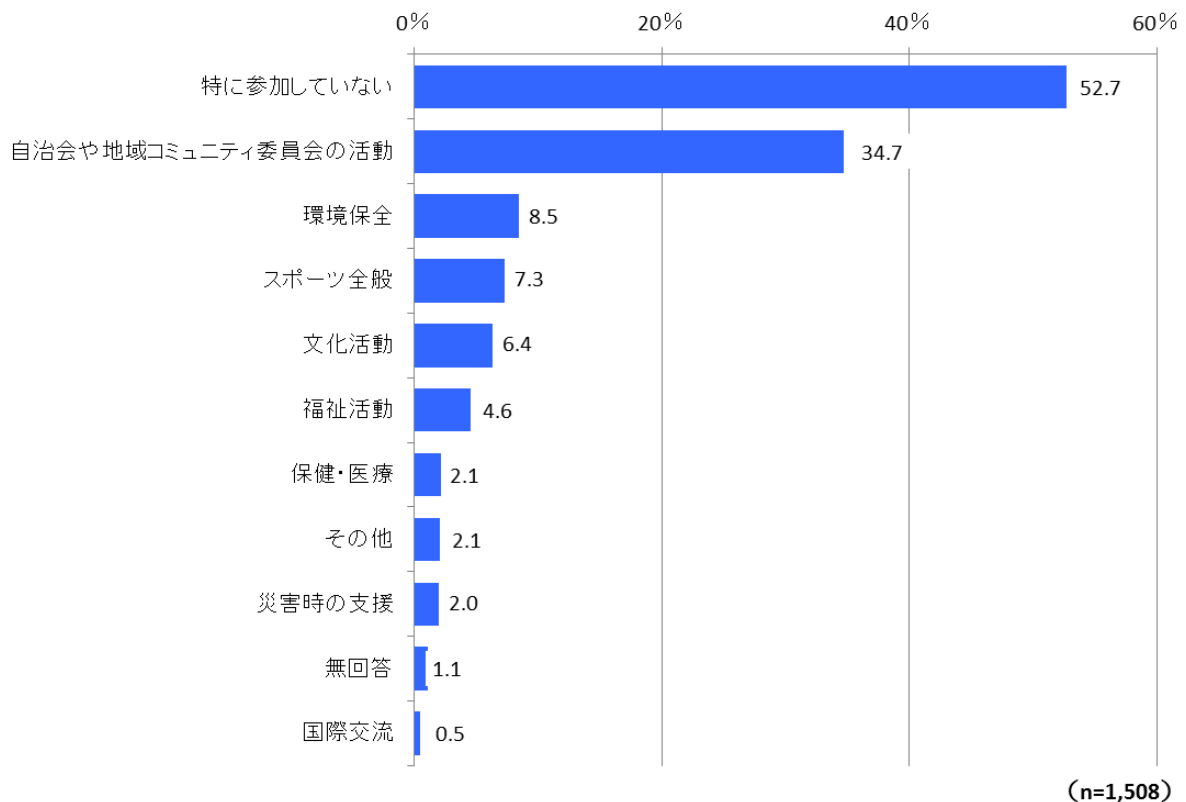
10. 市民活動への参加状況【問3】

- ・市民活動に参加していない市民が、52.7%となっており、2人に1人が市民活動に関わっていないことになります。
- ・参加している市民活動では、「自治会や地域コミュニティ活動」が34.7%で最も多くなっています。
- ・市民活動に参加しない理由としては、「時間的余裕がないため」が47.3%と多くを占めています。

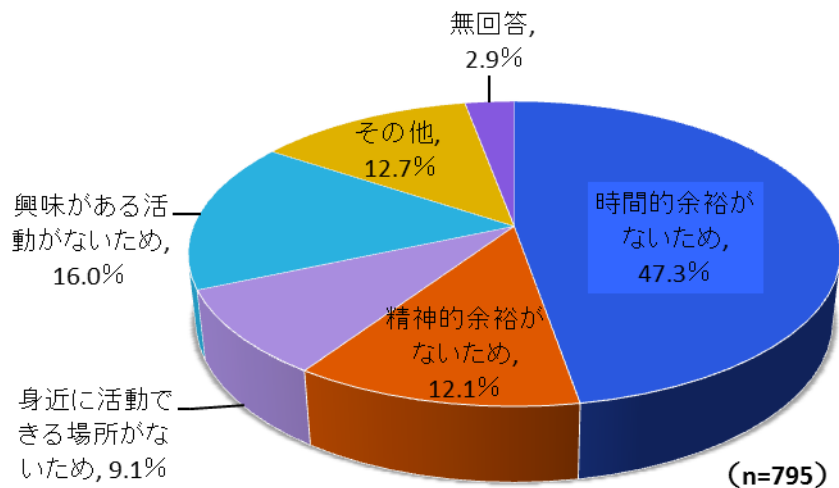
【性別、年齢、地域別の特徴】

- ・18歳から39歳では、市民活動に参加していない市民が多くなっています。

市民活動への参加状況[複数回答]



市民活動に参加しない理由



市民活動への参加状況（性別、年齢別、地域別）

		1. 自治会や 地域コ ミュニ ティ委員 会の活動	2. 福祉活動 (高齢者・ 障がい者 支援、子 育ての支 援など)	3. 保健・医 療(食生 活、健康 増進、病 院ボラン ティアな ど)	4. 環境保全 (公害、エ ネル ギー、リ サイクル など)	5. 災害時の 支援(被災 者支援、 救援物資 の供給な ど)	6. 文化活動 (書道・絵 画・音 楽・手芸 などの指 導など)	7. スポーツ 全般(各種 スポーツ の指導な ども含む)	8. 国際交流 (留学生と の交流・ 支援、通 訳など)	9. その他	10. 特に参加 していな い	11. 無回答
全体 (n=1508)		34.7%	4.6%	2.1%	8.5%	2.0%	6.4%	7.3%	0.5%	2.1%	52.7%	1.1%
性別	男性 (n=646)	35.4%	4.8%	2.9%	9.1%	2.3%	4.3%	9.0%	0.8%	2.3%	52.5%	0.9%
	女性 (n=811)	34.3%	4.6%	1.6%	8.1%	1.6%	8.3%	6.2%	0.2%	1.8%	52.2%	1.1%
年齢	18～19歳 (n=11)	9.1%	-	-	-	-	-	-	-	9.1%	81.8%	-
	20～29歳 (n=94)	5.3%	2.1%	1.1%	5.3%	-	-	1.1%	-	-	87.2%	2.1%
	30～39歳 (n=161)	25.5%	3.7%	-	5.6%	-	-	1.9%	0.6%	1.2%	67.7%	-
	40～49歳 (n=220)	42.3%	1.8%	0.9%	8.2%	1.4%	3.2%	5.9%	0.5%	1.8%	50.9%	-
	50～59歳 (n=268)	42.5%	4.5%	2.6%	9.3%	1.9%	3.7%	12.3%	0.7%	1.9%	44.4%	0.4%
	60～64歳 (n=184)	39.7%	4.9%	3.3%	7.1%	1.6%	12.0%	7.6%	0.5%	1.6%	44.6%	1.1%
	65～69歳 (n=193)	33.7%	7.3%	2.1%	8.3%	2.6%	9.3%	4.1%	-	1.0%	51.8%	0.5%
	70～74歳 (n=195)	40.0%	6.7%	4.6%	11.8%	3.1%	9.2%	11.3%	0.5%	2.6%	45.1%	2.1%
75歳以上 (n=164)	29.3%	5.5%	1.8%	11.0%	4.3%	12.8%	9.1%	0.6%	4.9%	50.6%	3.0%	
居住地	中丸地域 (n=146)	35.6%	3.4%	-	7.5%	1.4%	8.2%	6.8%	0.7%	2.1%	54.1%	0.7%
	中央地域 (n=276)	37.3%	5.1%	1.8%	10.5%	2.2%	6.9%	6.5%	-	2.2%	48.9%	1.1%
	東地域 (n=174)	33.9%	1.1%	3.4%	9.2%	0.6%	5.7%	6.9%	0.6%	0.6%	56.9%	0.6%
	東間深井地域 (n=199)	33.2%	5.5%	1.5%	4.5%	1.5%	6.5%	6.5%	-	2.0%	55.3%	-
	南部地域 (n=181)	34.3%	2.8%	2.2%	6.6%	2.2%	6.6%	11.6%	1.7%	2.2%	53.6%	1.1%
	本町西高尾地域 (n=206)	37.9%	5.3%	1.9%	10.7%	3.4%	4.9%	8.3%	-	1.5%	51.0%	1.0%
	西部地域 (n=158)	41.8%	7.0%	2.5%	10.1%	3.8%	7.0%	8.9%	0.6%	2.5%	46.2%	0.6%
	公園地域 (n=85)	25.9%	8.2%	3.5%	7.1%	-	4.7%	1.2%	-	4.7%	55.3%	2.4%

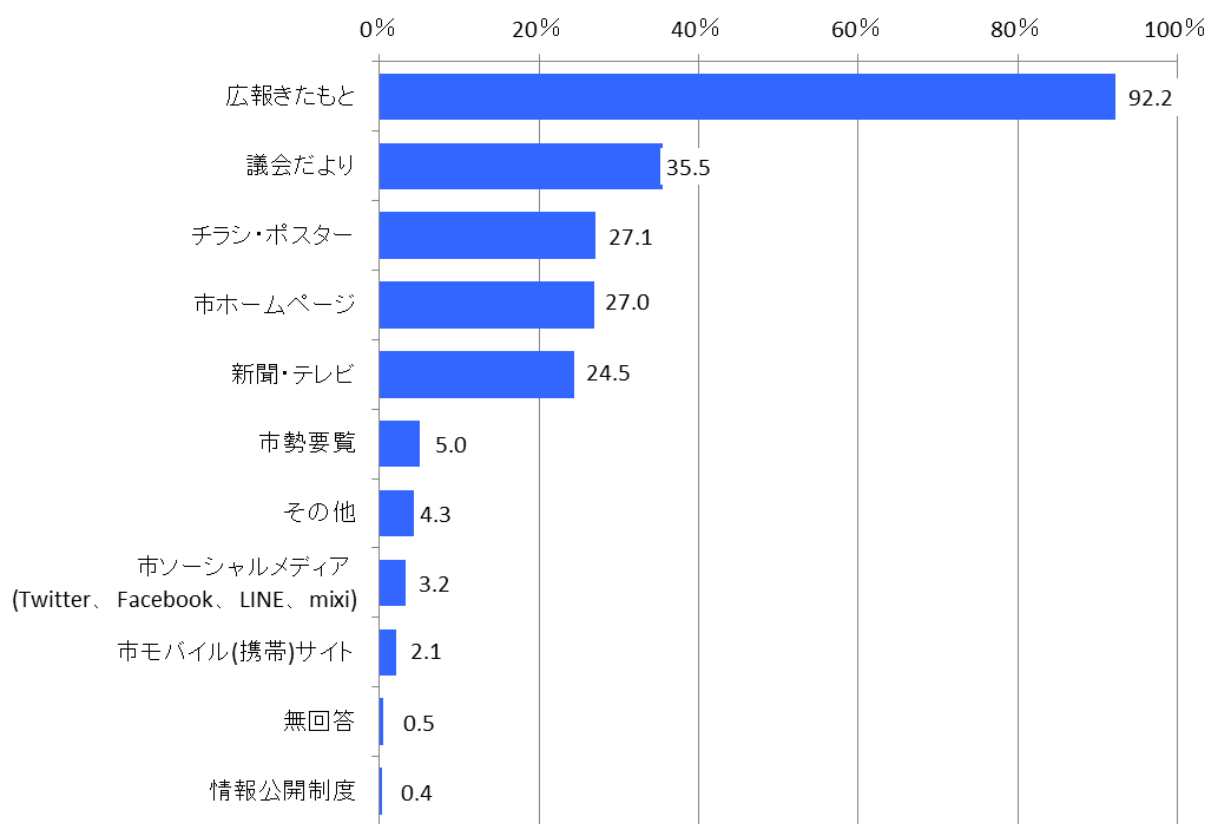
11. 市政の情報入手方法【問5】

- ・市政の情報入手方法は、「広報きたもと」が92.2%となっており、9割以上の市民が利用する媒体となっています。

【性別、年齢、地域別の特徴】

- ・「議会だより」は、50代以上の方の利用が全体より高くなっています。
- ・「市ホームページ」は、20歳から49歳の利用が全体より高くなっています。
- ・「市ソーシャルメディア」は、20代の方の利用が全体より高くなっています。

市政の情報入手方法[複数回答]



(n=1,508)

市政の情報入手方法（性別、年齢別、地域別）〔複数回答〕

	1. 広報きたもと	2. 市勢要覧	3. 議会だより	4. チラシ・ポスター	5. 新聞・テレビ	6. 市ホームページ	7. 市モバイル(携帯)サイト	8. 市ソーシャルメディア (Twitter、Facebook、LINE、mixi)	9. 情報公開制度	10. その他	11. 無回答	
全体 (n=1508)	92.2%	5.0%	35.5%	27.1%	24.5%	27.0%	2.1%	3.2%	0.4%	4.3%	0.5%	
性別	男性 (n=646)	89.8%	6.3%	38.2%	24.1%	27.6%	32.8%	2.2%	3.7%	0.5%	4.8%	0.5%
	女性 (n=811)	94.3%	4.1%	33.9%	30.0%	22.4%	22.2%	1.8%	2.6%	0.2%	3.6%	0.5%
年齢	18～19歳 (n=11)	45.5%	-	-	36.4%	9.1%	9.1%	-	-	-	9.1%	-
	20～29歳 (n=94)	71.3%	2.1%	3.2%	20.2%	12.8%	34.0%	4.3%	16.0%	-	13.8%	-
	30～39歳 (n=161)	83.2%	2.5%	11.8%	25.5%	13.7%	47.2%	5.6%	9.9%	-	6.2%	0.6%
	40～49歳 (n=220)	91.4%	1.4%	25.9%	21.8%	17.7%	39.5%	2.3%	3.6%	-	5.0%	-
	50～59歳 (n=268)	96.3%	4.1%	36.6%	24.3%	23.5%	34.0%	2.6%	1.5%	0.4%	3.0%	-
	60～64歳 (n=184)	95.1%	4.9%	40.8%	33.7%	27.2%	24.5%	0.5%	2.2%	-	3.8%	1.1%
	65～69歳 (n=193)	98.4%	4.7%	47.2%	32.6%	33.7%	18.7%	1.6%	0.5%	-	1.6%	-
	70～74歳 (n=195)	96.4%	9.2%	55.4%	33.3%	30.3%	12.3%	0.5%	-	0.5%	1.0%	1.0%
75歳以上 (n=164)	94.5%	11.0%	46.3%	23.2%	32.3%	7.3%	0.6%	-	2.4%	5.5%	1.8%	
居住地域	中丸地域 (n=146)	95.9%	6.2%	35.6%	22.6%	21.9%	24.0%	1.4%	0.7%	-	1.4%	-
	中央地域 (n=276)	88.0%	6.5%	33.0%	28.6%	27.5%	34.4%	2.2%	5.1%	0.4%	4.3%	0.7%
	東地域 (n=174)	95.4%	4.0%	33.3%	24.7%	17.8%	29.9%	1.1%	1.1%	0.6%	2.9%	0.6%
	東間深井地域 (n=199)	93.5%	2.0%	36.2%	28.6%	20.1%	27.1%	3.5%	4.5%	-	4.0%	0.5%
	南部地域 (n=181)	93.9%	5.5%	40.9%	23.2%	28.2%	30.4%	2.8%	3.9%	0.6%	4.4%	-
	本町西高尾地域 (n=206)	90.3%	6.8%	37.4%	29.6%	26.2%	22.8%	2.9%	2.4%	1.0%	4.4%	0.5%
	西部地域 (n=158)	96.2%	5.1%	44.9%	31.0%	32.9%	24.7%	1.9%	1.9%	-	1.9%	-
公園地域 (n=85)	84.7%	3.5%	23.5%	29.4%	23.5%	16.5%	-	4.7%	1.2%	9.4%	1.2%	

12. 情報機器利用状況【問6】

- ・携帯電話の利用率は 60.7%、パソコンの利用率は 54.7%となっており、2人に1人は情報機器を活用した情報入手が可能な状況となっています。

※利用率（ほぼ毎日＋週に1回以上＋月に数回）

情報機器の利用状況【複数回答】

	A ほぼ毎日	B 週に1回以上	C 月に数回	D ほとんど使わない	E 機器を持っていない	F 無回答	利用率 (A＋B＋Cの合計)	
1. パソコン	32.6%	11.8%	10.3%	15.0%	23.9%	6.4%	54.7%	2位
2. タブレット端末（携帯型パソコン）	9.6%	2.9%	2.7%	6.6%	67.5%	10.7%	15.1%	4位
3. スマートフォン（多機能携帯電話）	35.7%	0.9%	0.6%	2.3%	51.5%	8.9%	37.3%	3位
4. 携帯電話	47.3%	8.7%	4.7%	4.9%	28.7%	5.7%	60.7%	1位

13. ソーシャルメディア利用状況【問7】

・LINE の利用率は 28.0%、次いで Facebook が 13.5%、Twitter が 11.2% となっています。それ以外については、10%以下の利用率となっています。

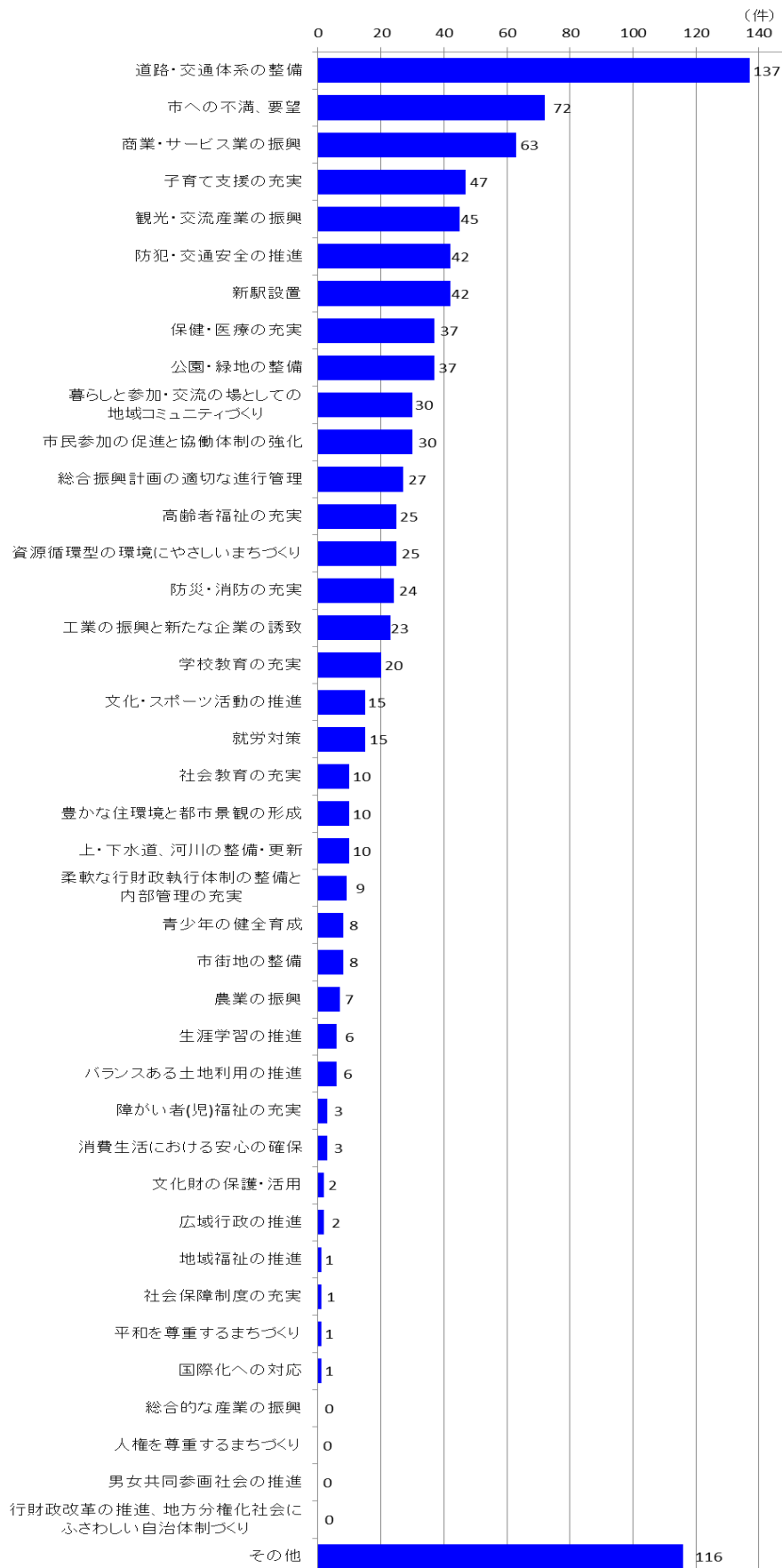
※利用率（ほぼ毎日＋週に1回以上＋月に数回）

ソーシャルメディアの利用状況【複数回答】

	A ほぼ毎日	B 週に1回以上	C 月に数回	D 月に1回以下	E 使わない	F 無回答	利用率 (A＋Dの合計)	
1. Twitter	5.8%	2.7%	1.3%	1.4%	80.2%	8.6%	11.2%	3位
2. Facebook	6.1%	3.5%	2.1%	1.8%	77.9%	8.7%	13.5%	2位
3. LINE	21.6%	3.6%	1.7%	1.0%	64.2%	7.8%	28.0%	1位
4. mixi	1.1%	0.9%	1.0%	1.7%	85.7%	9.6%	4.6%	4位
5. その他	1.8%	0.1%	0.2%	0.2%	36.3%	61.4%	2.3%	5位

14. 市政やまちづくりの意見・要望

- ・市民の自由意見を施策別に分類した結果、「道路・交通体系の整備」が137件で最も多くなっています。



II. 近隣市比較調査（強み・弱み）

1. 調査目的

平成 28 年度からの「第五次北本市総合振興計画」の策定を進めるにあたり、埼玉県内の近隣周辺市と比較し、北本市がどのような水準にあるのかを各種統計データ（社会指標）から明らかにするものです。

2. 比較対象都市

■鴻巣市、上尾市、桶川市、蓮田市、鶴ヶ島市、白岡市の 6 自治体

■ 6 自治体及び北本市の基礎データは下記のとおり

項目	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市
住民基本台帳人口 (26.1.1)	人	68,933	119,746	228,155	75,266	63,077	70,218	51,267
面積	km ²	19.84	67.49	45.55	25.26	27.27	17.73	24.88

3. 比較対象指標と分野

次の 10 分野の 69 指標で比較を実施しました。なお各自治体の人口数が異なり、数値の大小だけでは単純に判断できない数値も多く、比率（市民 1 人あたり、人口 1 万人あたり等）を用いて、自治体規模が異なっても比較できるようにしています。

※独自に比率を算定する場合の人口、世帯については、国勢調査の実施年は国勢調査による人口、世帯数を活用し、それ以外については、住民基本台帳の人口、世帯を活用しています。ただし同一統計表内に人口が記載されている場合は、その数値を活用しています。

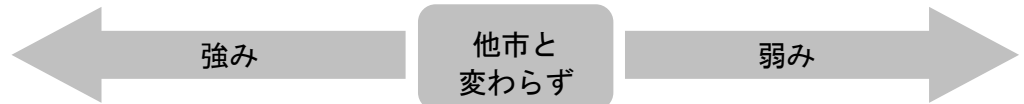
各都市の人口数値については、資料編に記載しています。

◇人口・世帯構成	◇人口動態分野	◇都市形成分野
◇経済基盤分野	◇にぎわい・交流分野	◇生活基盤分野（地価含む）
◇安全分野	◇健康・医療・福祉分野	◇教育分野
◇行財政運営分野		

4. レーダーチャートの見方

- 各統計データを偏差値化して、比較都市全体のデータを偏差値 50 とした場合の北本市の状況を掲載しています。また、指標が『強み』となっているのか、『弱み』となっているのかをわかりやすく見ていただけるように、偏差値 50 を、「3」とした5段階評価で、グラフ化（レーダーチャート）しています。

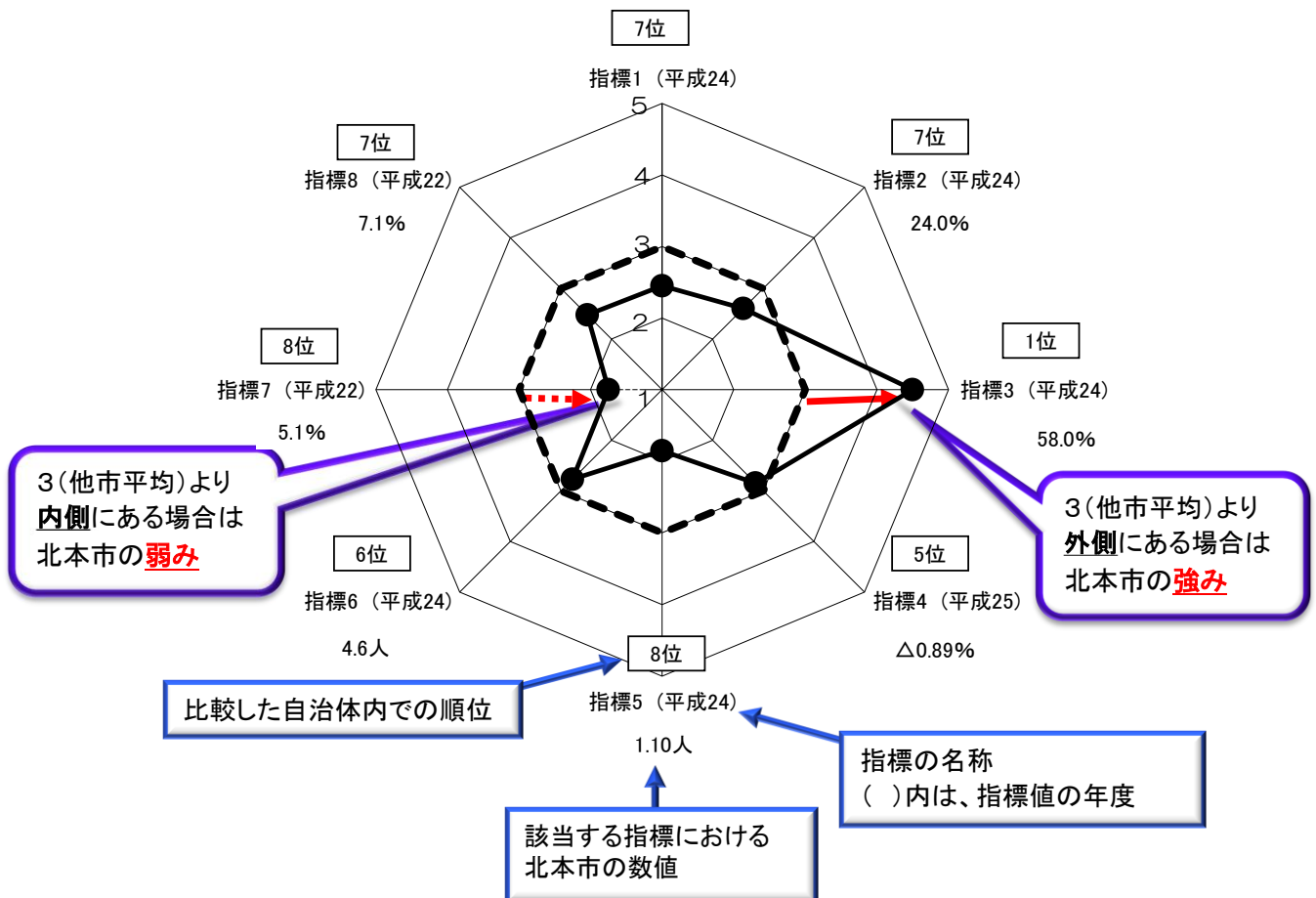
5段階評価	5	4	3	2	1
偏差値	90	70	50	30	20



- 「3」（偏差値 50）より、外側にある項目は北本市の強みを示し、内側にある項目は北本市の弱みを示しています。

※比率や数値が低い・小さいほうが望ましいと思われる項目（例：生活保護率）については、低い・小さいものを、点数（偏差値）が高くなるように設定しています。

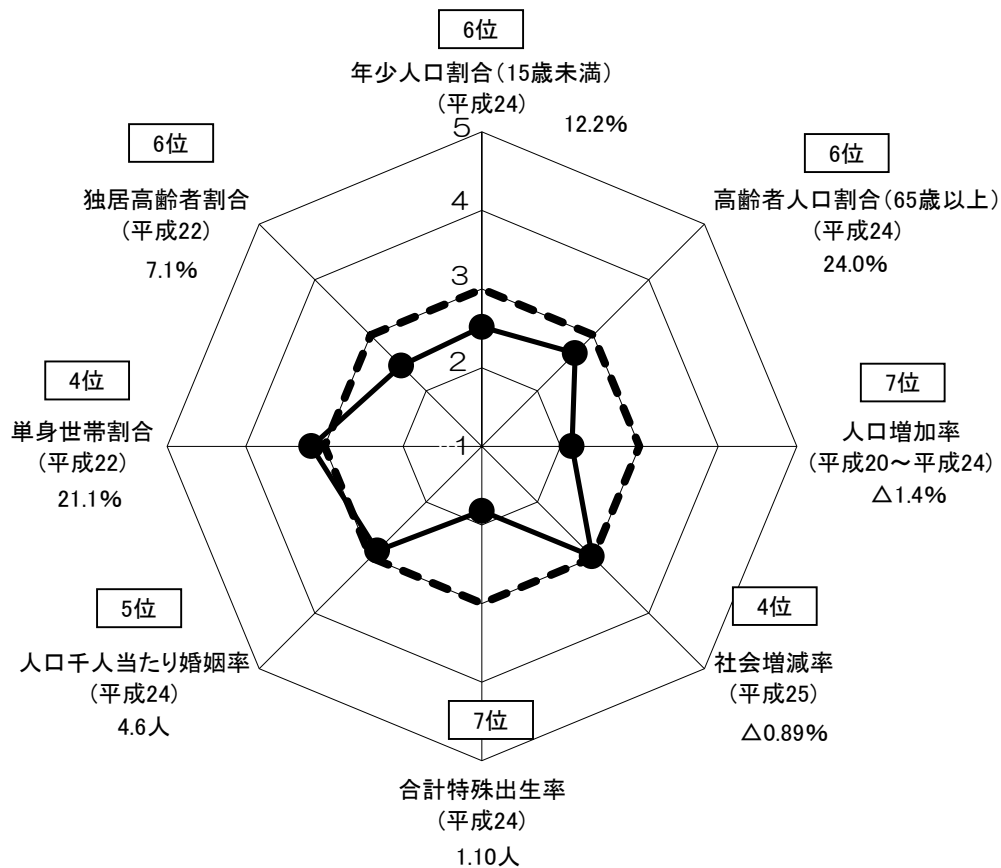
- 社会指標名は、出典調査の名称を基本としていますが、一部については、短縮表記やわかりやすいように言い換えている指標があります。
- 順位は、7自治体全体における北本市の順位を示します（上位が強み、下位が弱み）。
- 各社会指標にある数値は、北本市の数値です。
- 各自治体の指標値及びデータの調査（取得）年数は、一覧表に記載しています。



5. 分野別調査結果

(1) 人口・世帯分野

- ・ 合計特殊出生率が 1.10 人で、近隣 7 市の中で最も低くなっています。
- ・ 年少人口割合が 12.2% で、子どもが少ない傾向が見られます。
- ・ 独居高齢者割合が 7.1% で、一人暮らし高齢者がやや多い傾向が見られます。

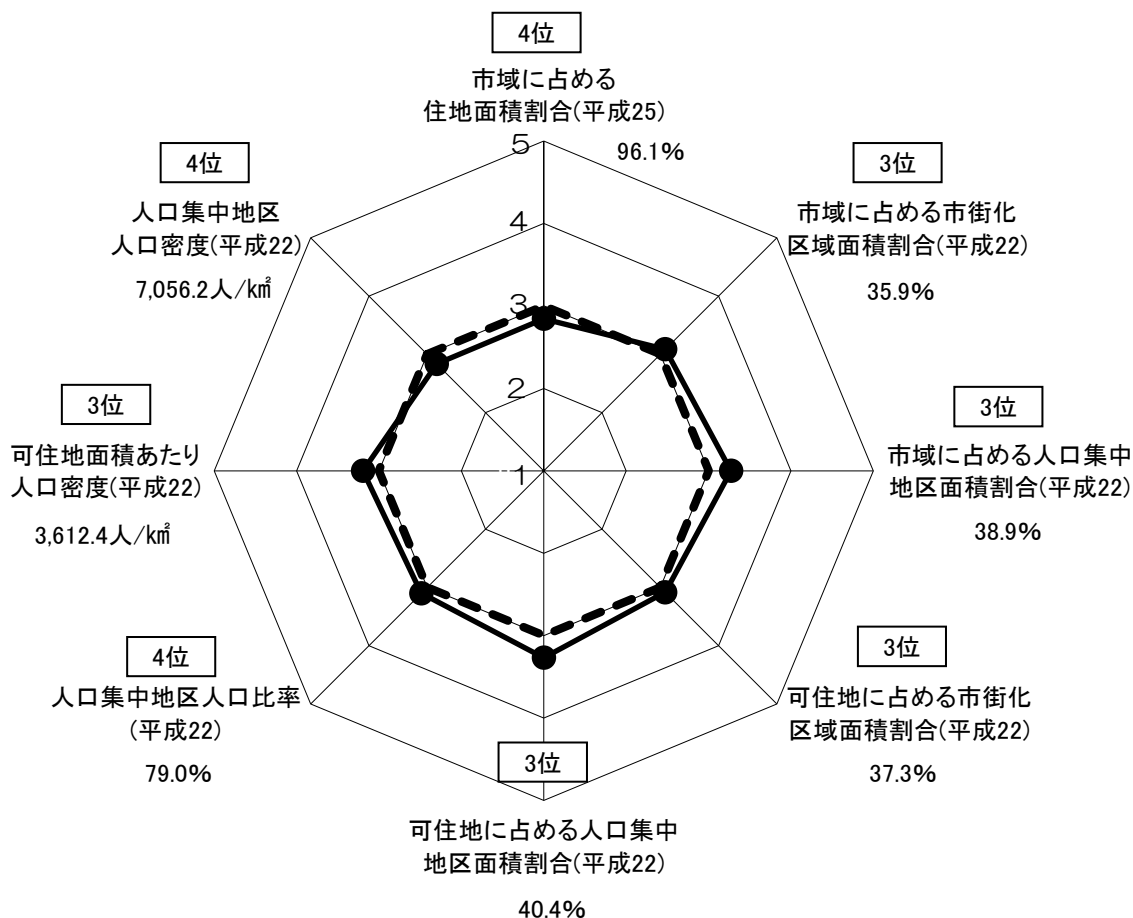


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
年少人口割合 (15歳未満)	平成24	%	12.2	12.4	13.4	12.7	12.0	13.7	13.0	数値が大きいとよい指標
高年齢人口割合 (65歳以上)	平成24	%	24.0	22.5	22.5	23.9	25.5	20.6	22.4	数値が小さいとよい指標
人口増加率	平成20～平成24	%	-1.4	1.0	1.8	0.5	-0.6	1.5	2.4	数値が大きいとよい指標
社会増減率	平成25	%	-0.89	-1.85	3.04	-4.32	-5.26	-0.65	4.67	数値が大きいとよい指標
合計特殊出生率	平成24	人	1.10	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.22	数値が大きいとよい指標
人口千人当たり婚姻率	平成24	婚姻率 (人口千対)	4.6	4.0	5.0	4.6	4.7	5.1	4.5	数値が大きいとよい指標
単身世帯割合	平成22	%	21.1	20.2	24.6	21.7	21.0	26.9	18.6	数値が小さいとよい指標
独居高齢者割合	平成22	%	7.1	6.5	7.2	7.0	6.3	5.8	5.9	数値が小さいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(2) 都市形成分野

- 人口集中地区面積の割合が、近隣6市に比較して、若干高い傾向にあります。

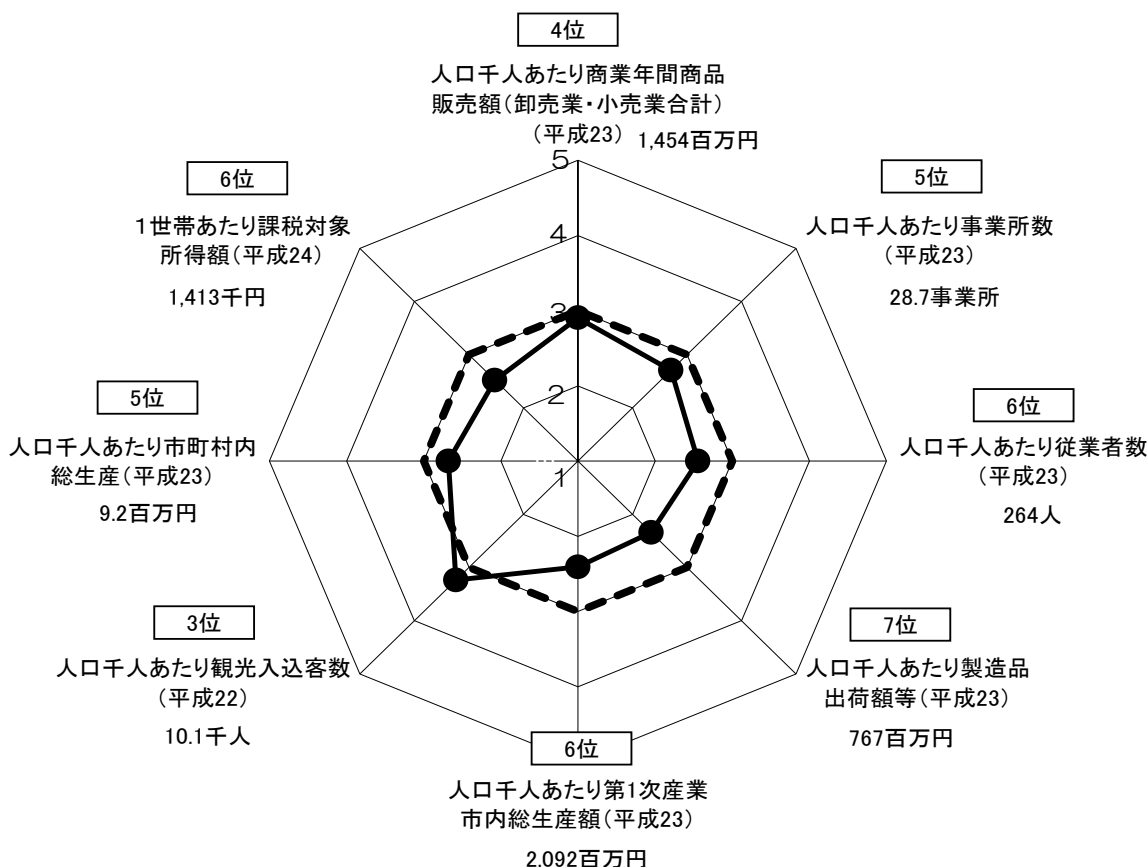


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
市域に占める可住地面積割合	平成25	%	96.1	99.6	95.3	96.7	95.3	94.9	98.6	数値が大きいとよい指標
市域に占める市街化区域面積割合	平成22	%	35.9	22.7	55.3	32.4	23.2	45.5	21.9	数値が大きいとよい指標
市域に占める人口集中地区面積割合	平成22	%	38.9	19.5	54.9	30.7	22.3	39.0	21.5	数値が大きいとよい指標
可住地に占める市街化区域面積割合	平成22	%	37.3	22.8	58.1	33.5	24.4	48.0	22.2	数値が大きいとよい指標
可住地に占める人口集中地区面積割合	平成22	%	40.4	19.6	57.6	31.7	23.4	41.1	21.8	数値が大きいとよい指標
人口集中地区人口比率	平成22	%	79.0	73.3	88.8	81.1	64.4	86.9	66.8	数値が大きいとよい指標
可住地面積あたり人口密度	平成22	人/km ²	3,612.4	1,780.1	5,159.6	3,059.4	2,435.9	4,158.6	2,050.2	数値が大きいとよい指標
人口集中地区人口密度	平成22	人/km ²	7,056.2	6,677.4	7,949.5	7,816.8	6,708.4	8,804.9	6,285.8	数値が大きいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(3) 経済基盤分野

- ・ 1世帯あたり課税対象所得が少なく、近隣7市の中で6位となっています。
- ・ 第1次産業（農業等）、第2次産業（製造業）の産業は、近隣7市での比較では弱みとなっています。
 - ◇人口千人あたり第1次産業市内総生産額（6位）
 - ◇人口千人あたり製造品出荷額等（7位）
 - ◇人口千人あたり市町村内総生産（5位）
- ・ 市内の従業者数、事業所数も近隣7市の中では少ない状況です。

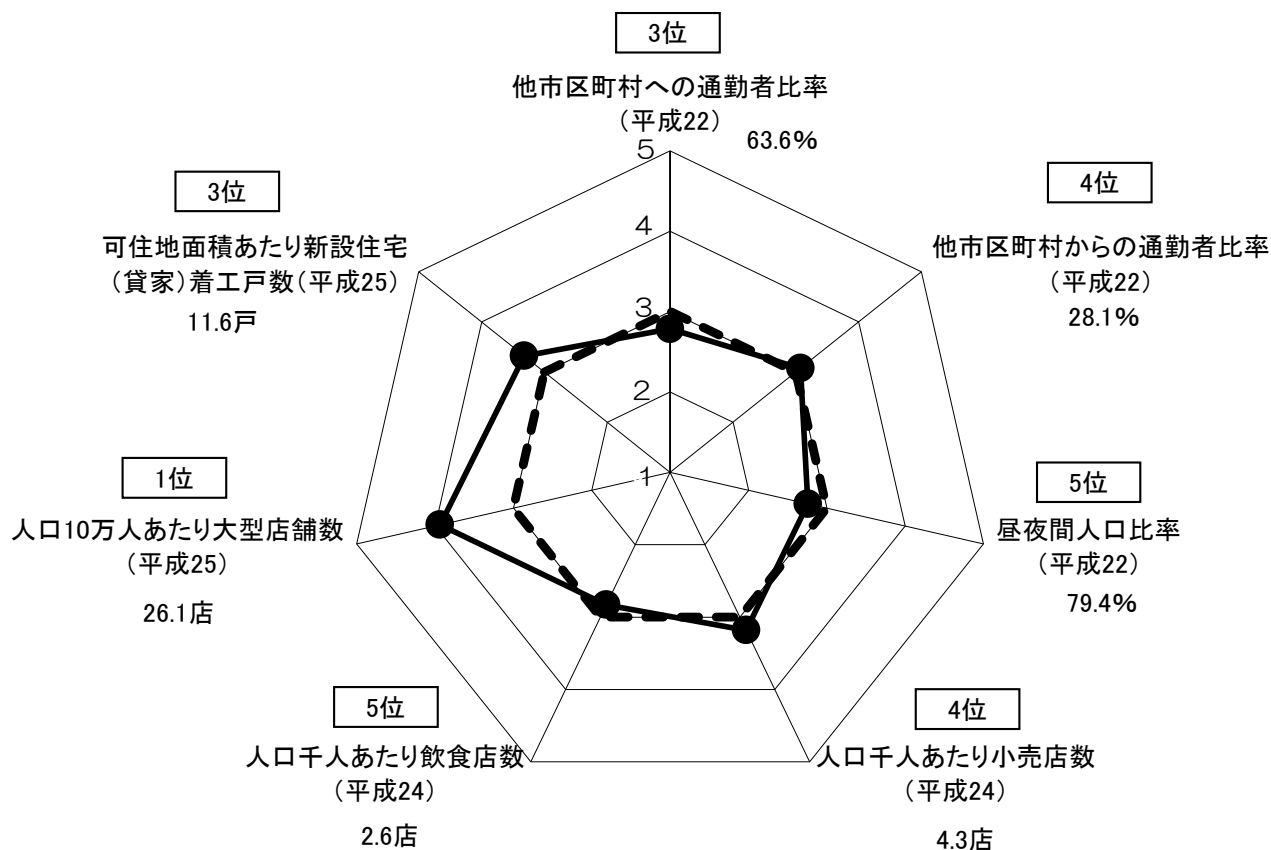


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり商業年間商品販売額(卸売業・小売業合計)	平成23	百万円	1,454	1,356	2,012	2,023	950	1,789	1,117	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり事業所数	平成23	事業所	28.7	31.8	29.1	32.4	27.0	32.6	28.1	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり従業者数	平成23	人	264.0	270.3	295.8	323.6	270.5	320.5	258.9	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり製造品出荷額等	平成23	百万円	767.0	1,369.2	1,703.5	1,166.8	2,009.6	1,179.8	899.8	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり第1次産業市内総生産額	平成23	百万円	2,092.0	2,207.1	2,448.9	2,444.1	2,444.3	2,558.5	2,028.0	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり観光入込客数	平成22	千人	10.1	15.0	8.9	14.4	1.7	1.5	0.7	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり市町村内総生産	平成23	百万円	9.2	31.3	7.4	11.7	50.1	4.9	17.8	数値が大きいとよい指標
1世帯あたり課税対象所得額	平成24	千円	1,413	1,409	1,453	1,428	1,483	1,427	1,509	数値が大きいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(4) にぎわい・交流分野

- ・ 人口10万人あたり大型店舗数は、近隣7市の中で、1位となっています。
- ・ 昼夜間人口比率は、79.4%で、夜よりも2割少ないベッドタウン的な状況であり、平日の昼間のにぎわいは少なくなっています（他市も同様）。
- ・ 可住地面積あたり新設住宅（貸家）着工戸数は、近隣7市の中で、やや多くなっています。

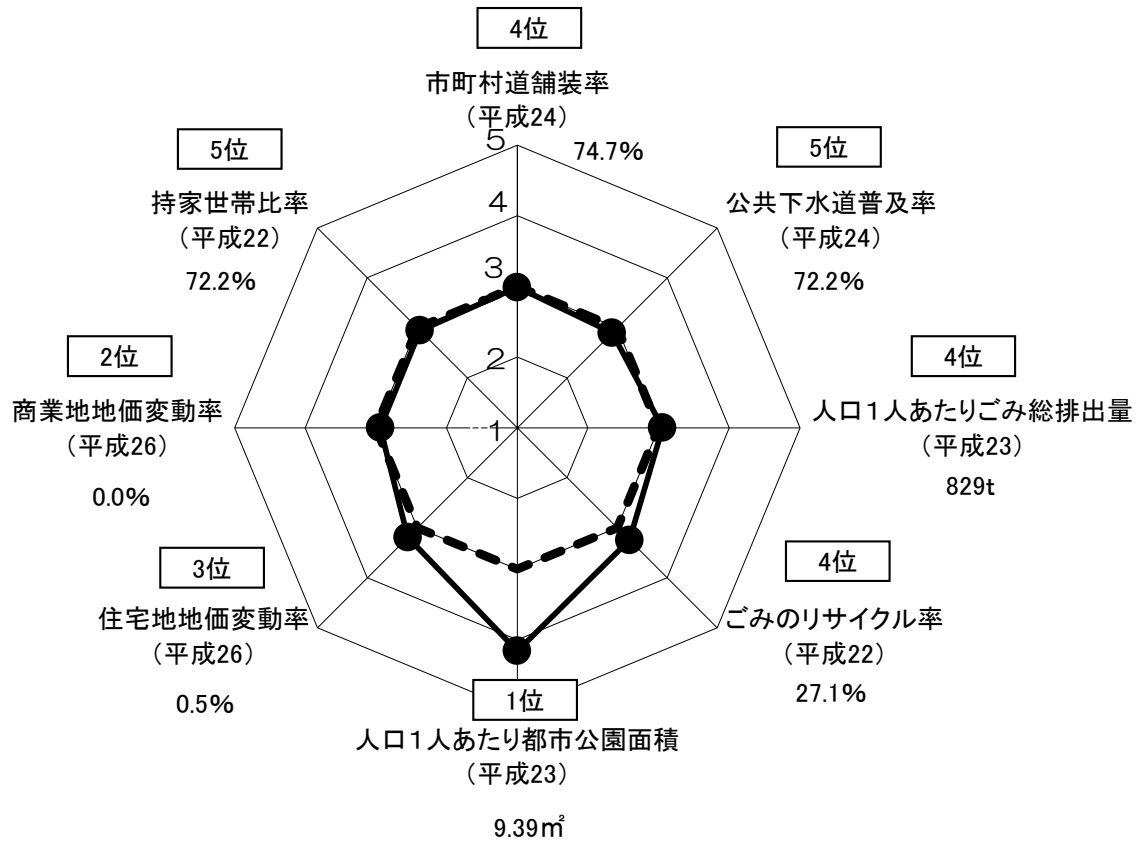


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
他市区町村への通勤者比率	平成22	%	63.6	58.1	57.2	64.0	67.0	67.6	-	数値が小さいとよい指標
他市区町村からの通勤者比率	平成22	%	28.1	24.2	27.9	37.9	33.7	32.7	-	数値が大きいとよい指標
昼夜間人口比率	平成22	%	79.4	80.0	83.9	84.5	80.7	78.7	77.0	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり小売店数	平成24	店	4.3	4.8	3.4	4.5	3.7	4.4	4.0	数値が大きいとよい指標
人口千人あたり飲食店数	平成24	店	2.6	2.6	2.9	2.7	2.4	3.9	2.1	数値が大きいとよい指標
人口10万人あたり大型店舗数	平成25	店	26.1	15.0	14.0	12.0	19.0	21.4	13.7	数値が大きいとよい指標
可住地面積あたり新設住宅(貸家)着工戸数	平成25	戸	11.6	2.6	14.4	4.7	5.4	10.4	13.1	数値が大きいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(5) 生活基盤分野

- ・ 人口1人あたり都市公園面積は、近隣7市の中で最も多くなっています。

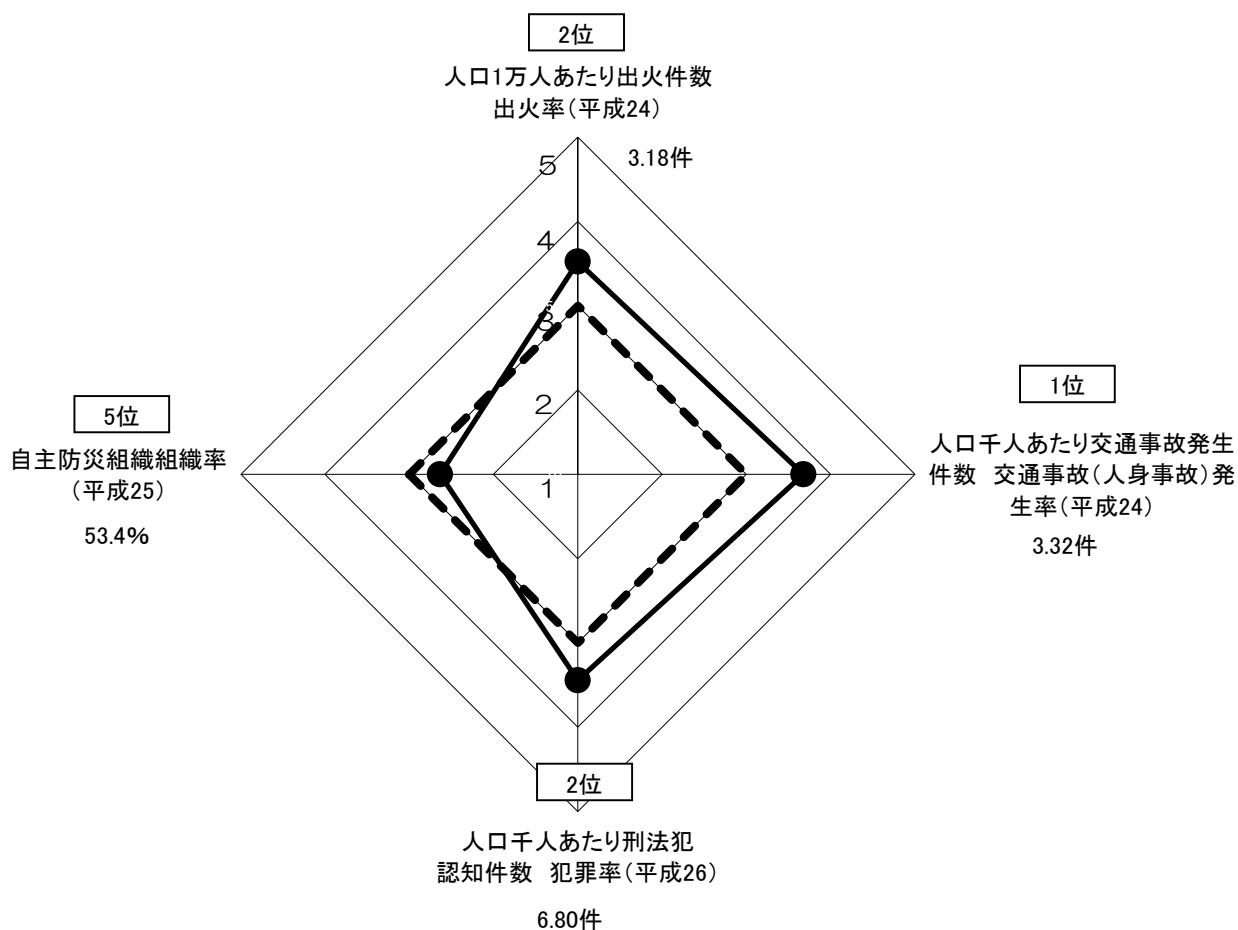


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
市町村道舗装率	平成24	%	74.7	65.9	85.8	80.6	66.1	87.9	63.7	数値が大きいとよい指標
公共下水道普及率	平成24	%	72.2	75.8	77.1	75.9	71.8	75.9	63.0	数値が大きいとよい指標
人口1人あたりごみ総排出量	平成23	t	829	833	930	795	820	847	785	数値が小さいとよい指標
ごみのリサイクル率	平成22	%	27.1	30.6	17.2	31.2	29.6	17.4	-	数値が大きいとよい指標
人口1人あたり都市公園面積	平成23	m ²	9.39	4.71	3.91	2.66	3.17	4.05	4.55	数値が大きいとよい指標
住宅地地価変動率	平成26	%	0.5	-0.3	1.3	1.0	-0.2	0.1	-0.7	数値が大きいとよい指標
商業地地価変動率	平成26	%	0.0	-0.3	1.4	0.0	-0.4	-	-0.2	数値が大きいとよい指標
持家世帯比率	平成22	%	72.2	77.3	63.7	74.3	76.7	64.1	82.0	数値が大きいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(6) 安全分野

- ・ 人口1万人あたり出火件数は、近隣7市の中では低くなっています。
- ・ 人口千人あたり交通事故発生件数は、近隣7市の中で最も低くなっています。
- ・ 自主防災組織組織率は、53.4%で、近隣7市の中では5位となっています。

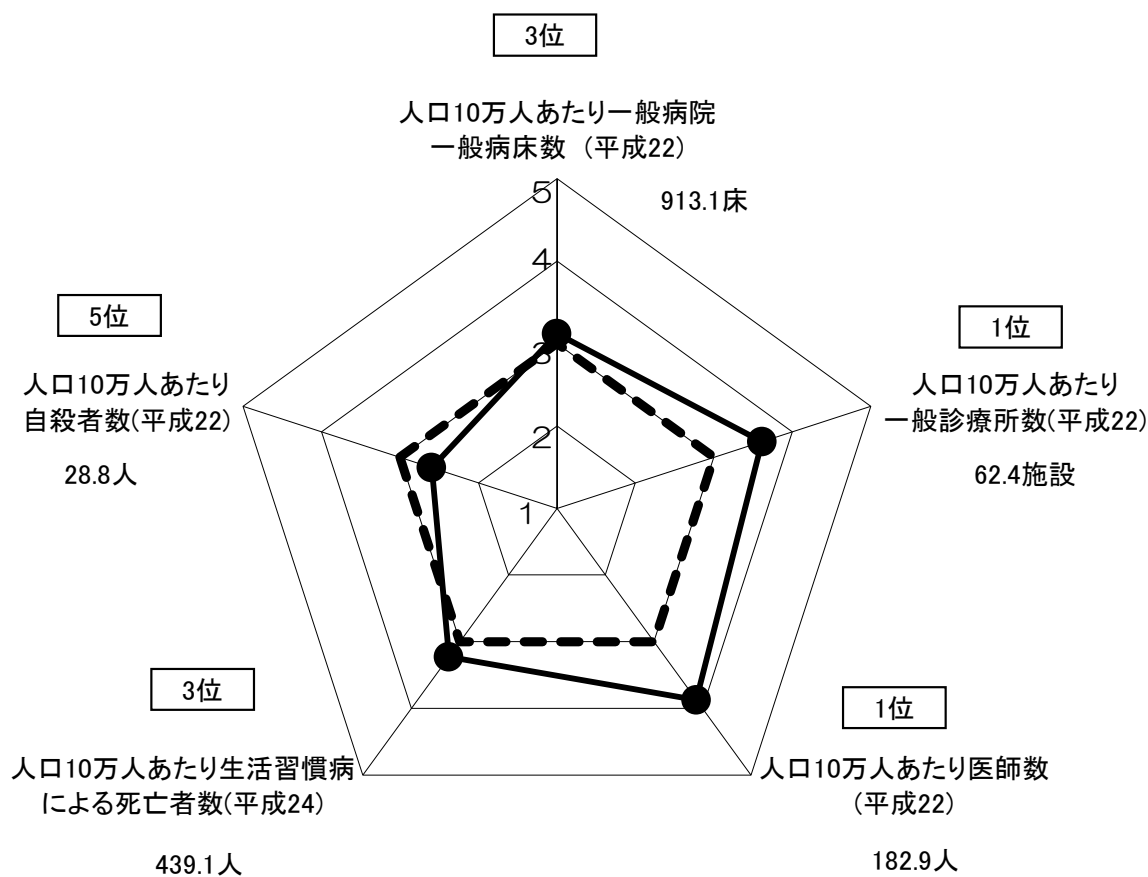


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
人口1万人あたり 出火件数 出火率	平成24	件	3.18	3.95	3.25	3.72	4.12	3.04	3.96	数値が小さいと よい指標
人口千人あたり交通事故 発生件数 交通事故(人 身事故)発生率	平成24	件	3.32	3.58	5.16	5.02	5.27	5.29	3.60	数値が小さいと よい指標
人口千人あたり刑法犯 認知件数 犯罪率	平成26	件	6.80	5.83	10.54	9.24	8.14	8.63	7.46	数値が小さいと よい指標
自主防災組織組織率	平成25	%	53.4	56.8	100.0	93.8	45.5	52.8	74.1	数値が大きいと よい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(7) 健康・医療分野

- ・ 人口10万人あたり医師数は、182.9人で近隣7市の中で1位となっています。
- ・ 人口10万人あたり診療所数は、62.4施設で近隣7市の中で1位となっています。
- ・ 人口10万人あたり自殺者数は、近隣7市の中で5位とやや多い状況です。



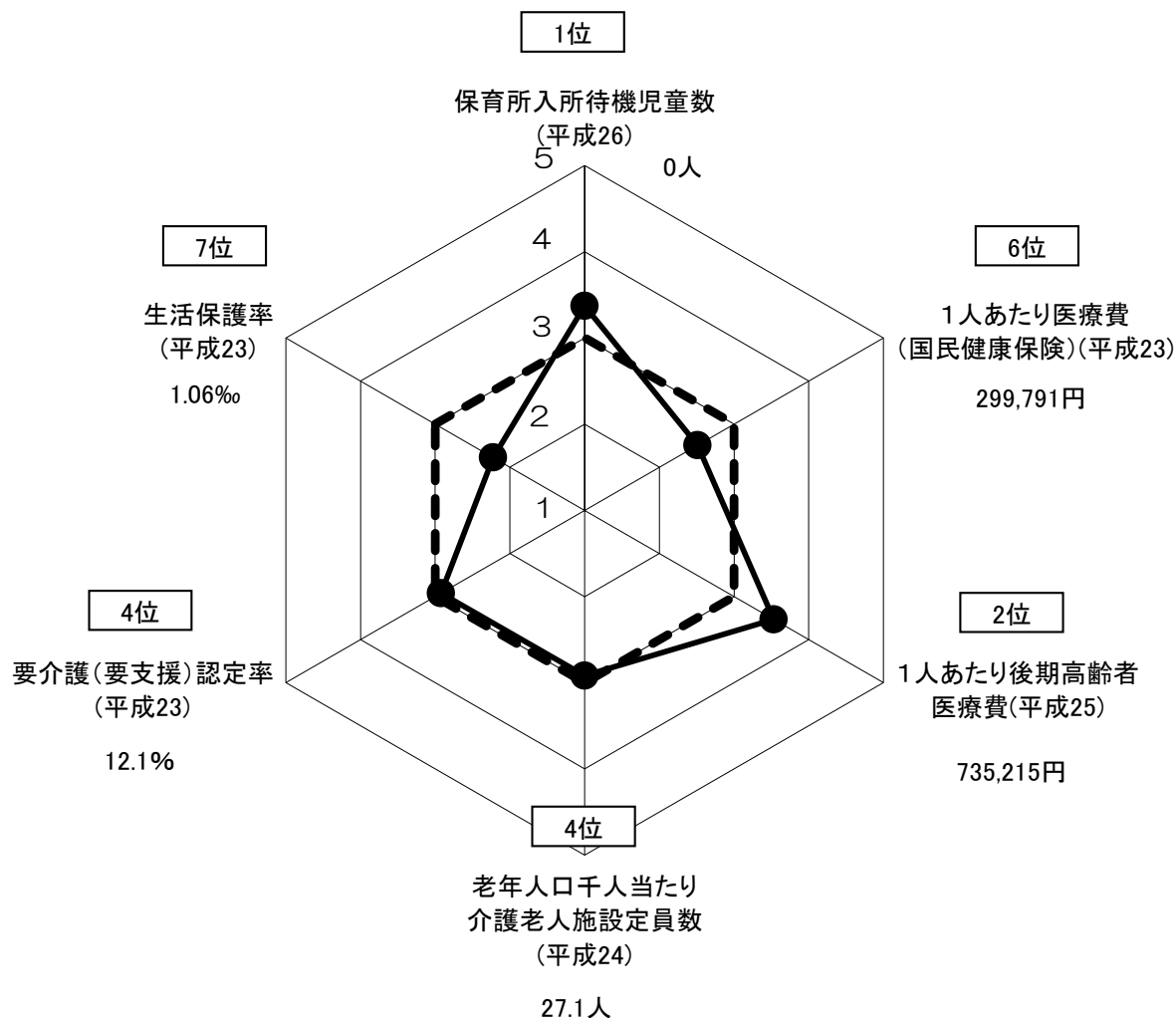
指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
人口10万人あたり 一般病院 一般病床数	平成22	床	913.1	677.0	598.9	353.4	1,721.7	455.8	976.7	数値が大きいと よい指標
人口10万人あたり 一般診療所数	平成22	施設	62.4	58.5	46.9	58.9	53.7	47.1	59.7	数値が大きいと よい指標
人口10万人あたり医師数	平成22	人	182.9	81.9	125.5	103.1	151.6	74.3	125.3	数値が大きいと よい指標
人口10万人あたり生活 習慣病による死亡者数	平成24	人	439.1	464.0	425.1	467.7	483.2	417.9	447.1	数値が小さいと よい指標
人口10万人あたり 自殺者数	平成22	人	28.8	25.2	26.2	30.5	23.7	29.0	23.8	数値が小さいと よい指標

※生活習慣病は悪性新生物・心疾患・脳血管疾患(糖尿病除く)。

北本市 = 1位 = 最下位 =

(8) 福祉・社会保障分野

- ・ 保育所入所待機児童数は0人となっており、鴻巣市、鶴ヶ島市、白岡市と同じとなっています。
- ・ 1人あたり後期高齢者医療費の支出は、近隣7市の中で2位と支出が少ない状況です。
- ・ 生活保護率は、1.06‰で、近隣7市の中で最下位となっています。
- ・ 1人あたり医療費（国民健康保険）の支出は、近隣7市の中で6位と高額な状況です。

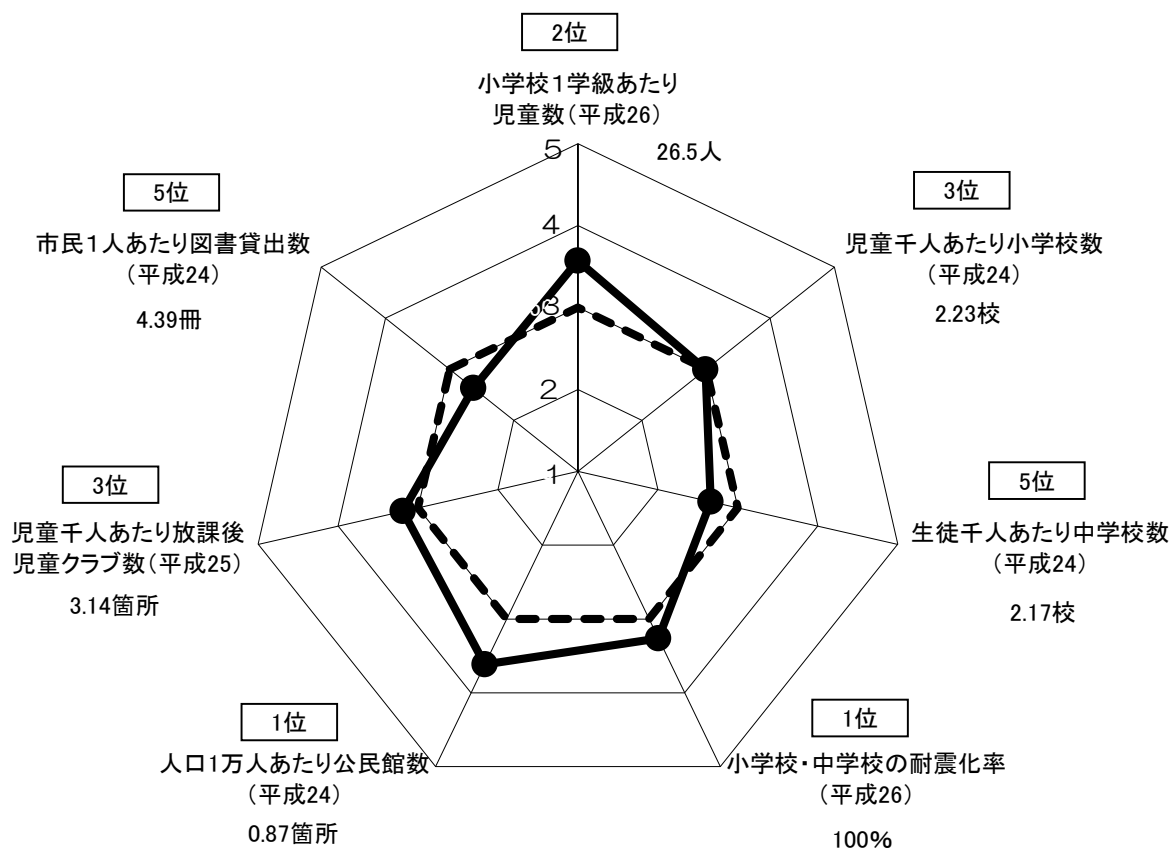


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
保育所入所待機児童数	平成26	人	0	0	28	1	22	0	6	数値が小さいとよい指標
1人あたり医療費 (国民健康保険)	平成23	円	299,791	291,537	286,754	293,400	290,518	272,031	302,026	数値が小さいとよい指標
1人あたり後期高齢者医療費	平成25	円	735,215	748,517	798,627	721,059	795,756	775,130	782,369	数値が小さいとよい指標
老年人口千人当たり 介護老人施設定員数	平成24	人	27.1	36.4	25.1	25.9	29.9	19.7	31.5	数値が大きいとよい指標
要介護(要支援)認定率	平成23	%	12.1	12.5	11.9	12.5	12.2	11.1	11.8	数値が小さいとよい指標
生活保護率	平成23	‰	1.06	0.61	0.82	0.92	0.66	0.87	0.49	数値が小さいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(9) 教育分野

- ・ 人口1万人あたり公民館数は、近隣7市の中で1位となっています。
- ・ 小学校中学校耐震化率は、鴻巣市、桶川市、鶴ヶ島市、白岡市と並んで100%となっています。
- ・ 児童千人あたり放課後児童クラブ数は3.14箇所、近隣7市の中で3位となっています。
- ・ 市民1人あたり図書貸出数は4.39冊で、近隣7市の中で5位とやや少ない状況です。

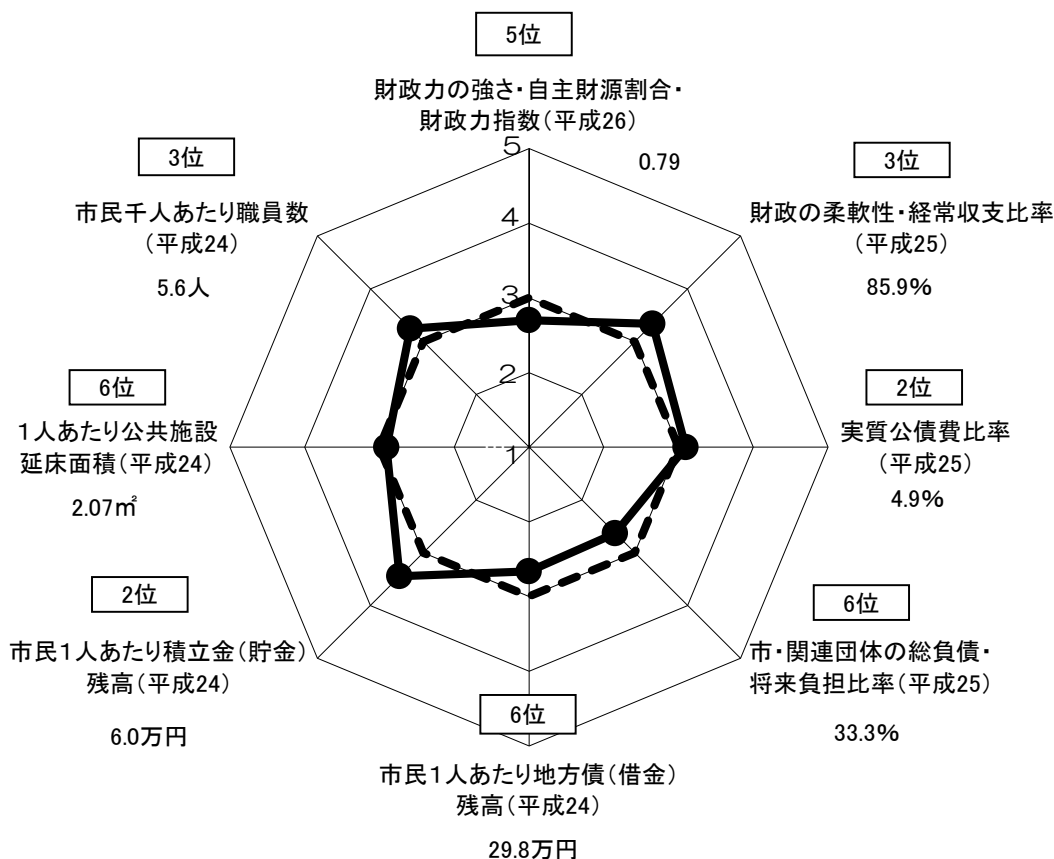


指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
小学校1学級あたり児童数	平成26	人	26.5	26.3	30.3	29.8	27.2	28.5	28.1	数値が小さいとよい指標
児童千人あたり小学校数	平成24	校	2.23	3.14	1.76	1.75	2.56	2.00	2.21	数値が大きいとよい指標
生徒千人あたり中学校数	平成24	校	2.17	2.48	1.89	1.98	3.28	2.70	2.95	数値が大きいとよい指標
小学校・中学校の耐震化率	平成26	%	100.0	100.0	97.6	100.0	91.1	100.0	100.0	数値が大きいとよい指標
人口1万人あたり公民館数	平成24	箇所	0.87	0.75	0.26	0.53	0.32	0.85	0.20	数値が大きいとよい指標
児童千人あたり放課後児童クラブ数	平成25	箇所	3.14	3.83	2.37	2.79	3.27	3.01	2.23	数値が大きいとよい指標
市民1人あたり図書貸出数	平成24	冊	4.39	5.68	6.02	4.27	6.43	9.68	3.84	数値が大きいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

(10) 行政基盤分野

- ・ 市民1人あたり積立金（貯金）残高は6.0万円で、近隣7市の中で2位となっています。
- ・ 市民千人あたり職員数は5.6人で、近隣7市の中で3位となっています。
- ・ 財政の柔軟性を示す経常収支比率は85.9%で、近隣7市の中で3位となっています。
- ・ 市民1人あたり地方債（借金）残高は29.8万円で、近隣7市の中で6位となっています。



指標名	調査年	単位	北本市	鴻巣市	上尾市	桶川市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	
財政力の強さ・自主財源割合・財政力指数	平成26		0.79	0.75	0.90	0.82	0.77	0.87	0.83	数値が大きいとよい指標
財政の柔軟性・経常収支比率	平成25	%	85.9	87.4	91.8	90.7	84.3	93.6	84.2	数値が小さいとよい指標
実質公債費比率	平成25	%	4.9	4.2	4.9	5.9	7.5	7.6	8.3	数値が小さいとよい指標
市・関連団体の総負債・将来負担比率	平成25	%	33.3	25.5	46.4	18.3	20.5	23.1	9.1	数値が小さいとよい指標
市民1人あたり地方債(借金)残高	平成24	万円	29.8	35.5	26.5	27.3	23.3	23.3	23.3	数値が小さいとよい指標
市民1人あたり積立金(貯金)残高	平成24	万円	6.0	5.0	2.6	7.4	3.9	4.4	2.9	数値が大きいとよい指標
1人あたり公共施設延床面積	平成24	㎡	2.07	2.73	1.68	1.78	1.78	2.04	2.01	数値が小さいとよい指標
市民千人あたり職員数	平成24	人	5.6	5.4	5.7	5.5	6.5	5.6	5.7	数値が小さいとよい指標

北本市 = 1位 = 最下位 =

6. 調査結果まとめ

10分野に係る主要指標（69指標）で都市間比較を実施し、5段階で区分した結果、北本市は、強みが15.9%ある一方、弱みも15.9%となっており、強み弱みが同数で平均が多くなっています。（下図参照）。

また、明確な強みは5.8%しかなく、強みが強固ではないため、強みを増加させるか弱みをなくしていく等、近隣市との都市間競争への対策が求められます。

強みの分野：「安全」「健康・医療」の2分野

弱みの分野：「人口・世帯」「経済基盤」「福祉・社会保障」の3分野

10分野69指標による都市間比較に見る北本市の強み・弱み傾向



10分野別の都市間比較に見る北本市の強み・弱み傾向

本市の状況	◎ 強い	○ やや強い	— 平均的	△ やや弱い	× 弱い	指標合計
偏差値区分	62.5以上	62.4～57.5	57.4～42.6	42.5～37.6	37.5以下	
人口・世帯	0	0	4	2	2	8
都市形成	0	0	8	0	0	8
経済基盤	0	0	4	3	1	8
にぎわい・交流	1	0	6	0	0	7
生活基盤	1	0	7	0	0	8
安全	1	2	1	0	0	4
健康・医療	1	1	2	1	0	5
福祉・社会保障	0	1	3	1	1	6
教育	0	2	5	0	0	7
行政基盤	0	1	7	0	0	8
10分野合計	4	7	47	7	4	69
	5.8%	10.1%	68.1%	10.1%	5.8%	

■10 分野別の都市間比較に見る強み・弱み指標一覧

	強み	やや強み	やや弱み	弱み
人口・世帯			<ul style="list-style-type: none"> ・年少人口割合(15歳未満) ・独居高齢者割合 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加率 ・合計特殊出生率
都市形成				
経済基盤			<ul style="list-style-type: none"> ・人口千人あたり従業者数 ・人口千人あたり第1次産業市内総生産額 ・1世帯あたり課税対象所得額 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口千人あたり製造品出荷額等
にぎわい・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・人口10万人あたり大型店舗数 			
生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・人口1人あたり都市公園面積 			
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・人口千人あたり交通事故発生件数 交通事故(人身事故)発生率 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口1万人あたり出火件数 出火率 ・人口千人あたり刑法犯認知件数 犯罪率 		
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・人口10万人あたり医師数 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口10万人あたり一般診療所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口10万人あたり自殺者数 	
福祉・社会保障		<ul style="list-style-type: none"> ・1人あたり後期高齢者医療費 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人あたり医療費(国民健康保険) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護率
教育		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1学級あたり児童数 ・人口1万人あたり公民館数 		
行政基盤		<ul style="list-style-type: none"> ・市民1人あたり積立金(貯金)残高 		

Ⅲ. 人口動態

1. 調査目的

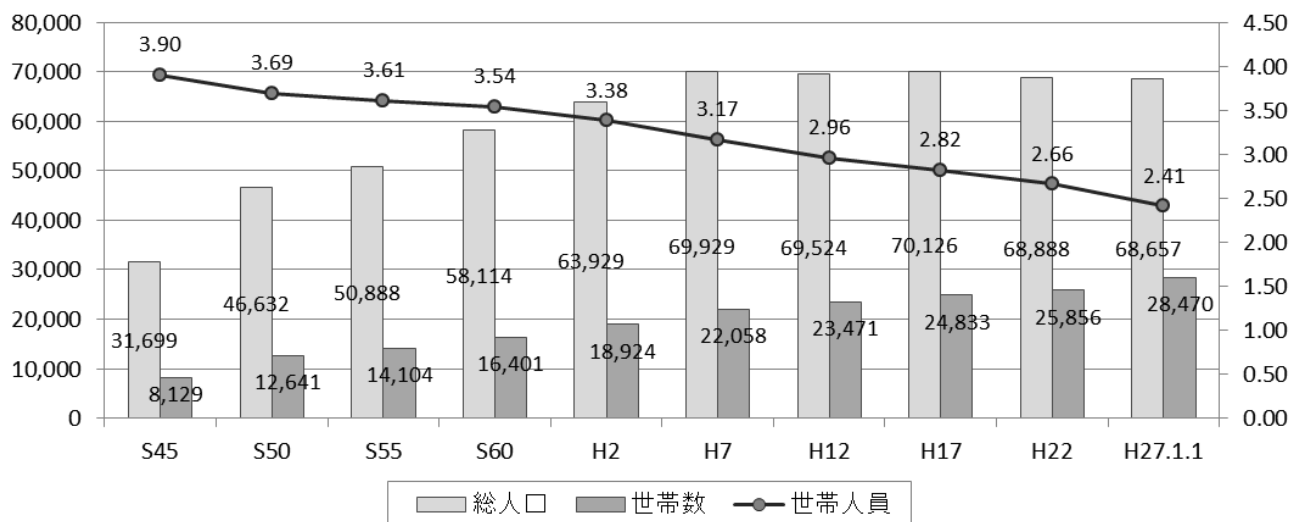
北本市の人口・世帯推移、転入転出の傾向、今後の人口推計を踏まえ、行政需要及びまちづくりの方針を検討するための基礎資料とします。

2. 人口・世帯数の推移

北本市の平成 27 年 1 月 1 日現在の人口は、68,657 人で、平成 17 年以降、減少傾向となっています。

世帯数は、核家族化、少子化等が進み、1 世帯あたり人数は、昭和 45 年 3.90 人から平成 27 年には、2.41 人と落ち込んでいます。

北本市の人口・世帯数の推移



出所：国勢調査（S45～H22）

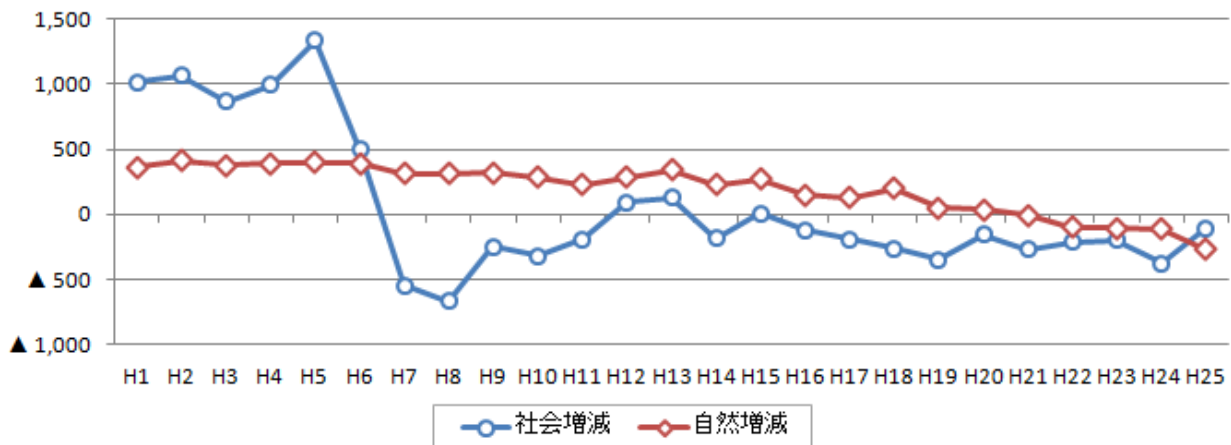
住民基本台帳（H27.1.1）

3. 社会増減・自然増減の推移

社会増減（転入－転出）は、平成5年以降、急激に落ち込み、転出超過傾向が続いており、人口増加への寄与がマイナスの状態となっています。

自然増減（出生－死亡）は、平成17年以降マイナスとなっています。少子高齢化の影響により、出生より死亡が多く人口減少は年々大きくなる傾向にあります。

北本市の社会増減・自然増減の推移



出所：北本市の統計、市民課資料

北本市の社会増減・自然増減の内訳

(単位:人)

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
社会 動態	転入	3,043	2,792	2,709	2,644	2,736	2,445	2,448	2,253	2,111	2,341
	転出	3,168	2,988	2,975	2,990	2,896	2,717	2,662	2,455	2,491	2,449
	増減	▲ 125	▲ 196	▲ 266	▲ 346	▲ 160	▲ 272	▲ 214	▲ 202	▲ 380	▲ 108
自然 動態	出生	605	565	607	540	532	510	443	433	453	374
	死亡	459	434	410	492	499	517	541	540	570	648
	増減	146	131	197	48	33	▲ 7	▲ 98	▲ 107	▲ 117	▲ 274
人口増減		21	▲ 65	▲ 69	▲ 298	▲ 127	▲ 279	▲ 312	▲ 309	▲ 497	▲ 382

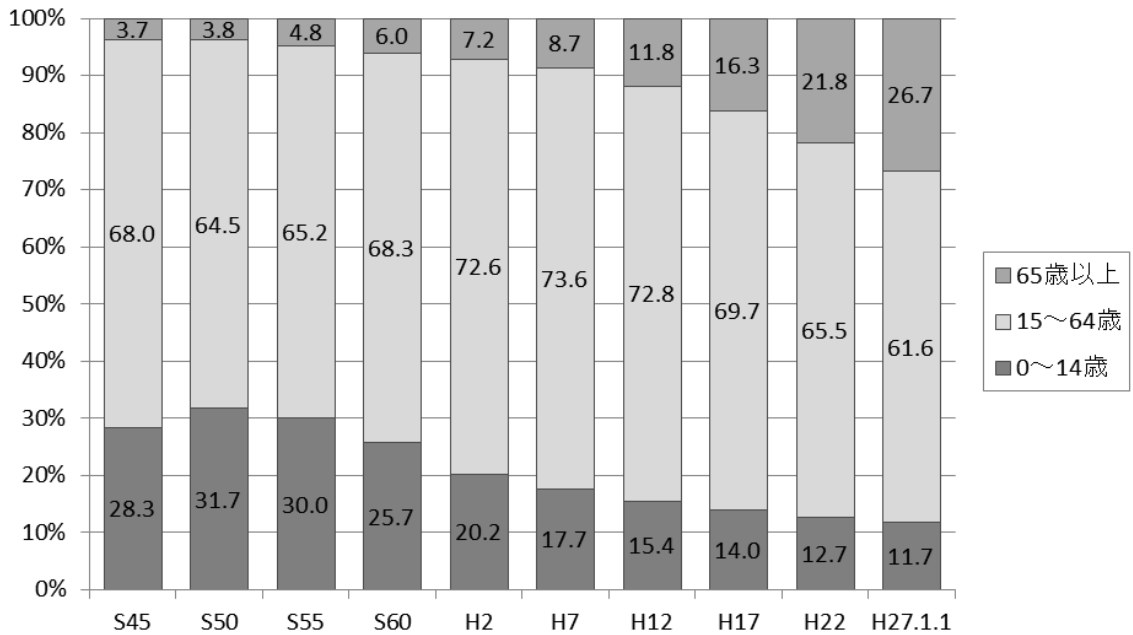
出所：北本市の統計、市民課資料

4. 年齢階層別人口の推移

年齢3区分別の人口構成割合の推移では、65歳以上の人口の割合が、平成22年に20%を超えました。北本市においても、高齢化社会への対応の本格化が必要となってきています。

年齢階層別の特徴では、下記の人口ピラミッドにあるように、60～74歳と35～49歳が多い「ふたこぶらくだ」の状態になっています。また、全体的には「ちょうちん型」で、子どもの人口が減少しています。

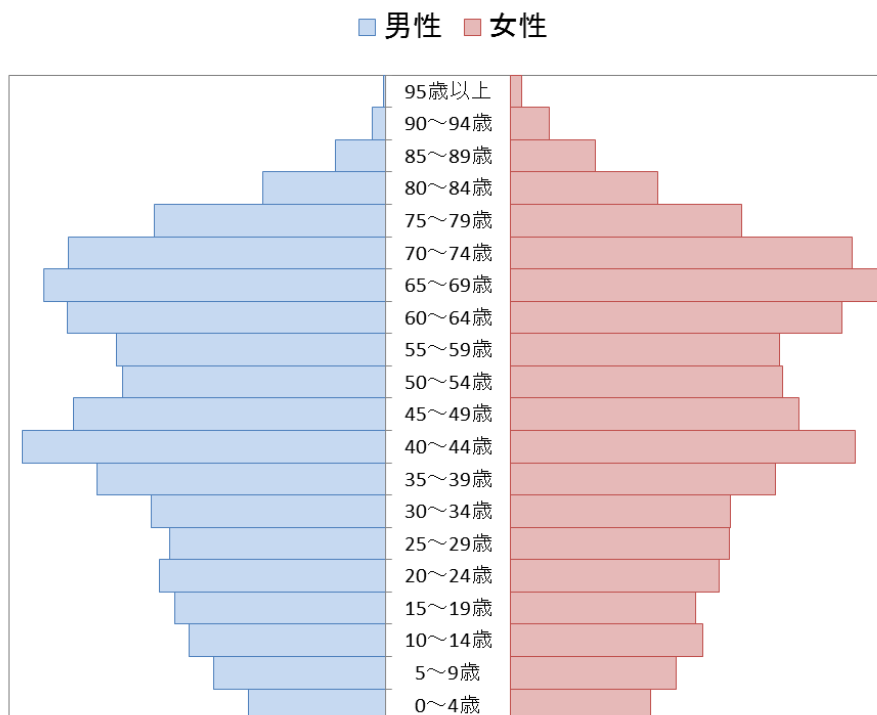
北本市の年齢3区分別人口構成比の推移



出所：国勢調査（S45～H22）

住民基本台帳（H27.1.1）

北本市の人口ピラミッド（H27.1.1 住民基本台帳）



5. 転出入の動向

転入転出の過去1年間の状況は、転入転出ともに県内移動比率が約6割、県外移動比率が約4割となっています。

【県内の転出入の傾向】

- **転入**については、上尾市 15.7%、さいたま市 15.1%、桶川市 14.2%、鴻巣市 14.0%となっており、この4自治体で6割近くを占めることになります。
- **転出**については、さいたま市 20.0%、鴻巣市 16.2%、上尾市 14.4%、桶川市 13.3%となっており、この4自治体で6割を超えています。

北本市の転出入動向

転入	県内から	1,391 人
	県外から	1,036 人

転出	県内へ	1,484 人
	県外へ	991 人

◆転入前自治体(県内他市町村)

	団体名	転入数	構成比
1位	上尾市	218	15.7%
2位	さいたま市	210	15.1%
3位	桶川市	198	14.2%
4位	鴻巣市	195	14.0%
5位	川口市	68	4.9%
6位	熊谷市	48	3.5%
7位	久喜市	43	3.1%
8位	行田市	38	2.7%
9位	伊奈町	29	2.1%
10位	東松山市	26	1.9%

◆転出先自治体(県内他市町村)

	団体名	転出数	構成比
1位	さいたま市	297	20.0%
2位	鴻巣市	241	16.2%
3位	上尾市	213	14.4%
4位	桶川市	197	13.3%
5位	川口市	51	3.4%
6位	熊谷市	42	2.8%
7位	加須市	41	2.8%
8位	伊奈町	38	2.6%
9位	行田市	37	2.5%
10位	川越市	33	2.2%

出所：埼玉県統計年鑑より平成25年の動向

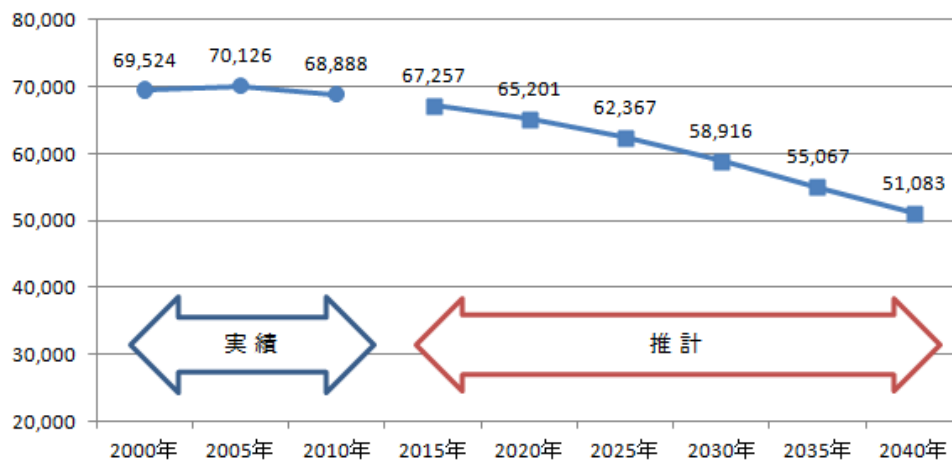
6. 人口推計

国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という。）の平成 25 年 3 月推計の人口推計では、25 年後の 2040 年には、51,083 人となり、2010 年時点より 1.7 万人近くの減少となっています。

2040 年の推計人口 51,083 人に対し、封鎖人口を仮定した推計（人口移動がなく出生死亡のみの推計）は 56,118 人となっています。2015 年と比較すると、封鎖人口推計は 12,164 人減少、転出入の傾向が継続する人口推計は 16,174 人減少となっています。つまり、約 4,000 人が転出入の影響で減少する人口と考えられます。

また、2040 年には、高齢化率は 40%を超えると見込まれています。

北本市の人口推計



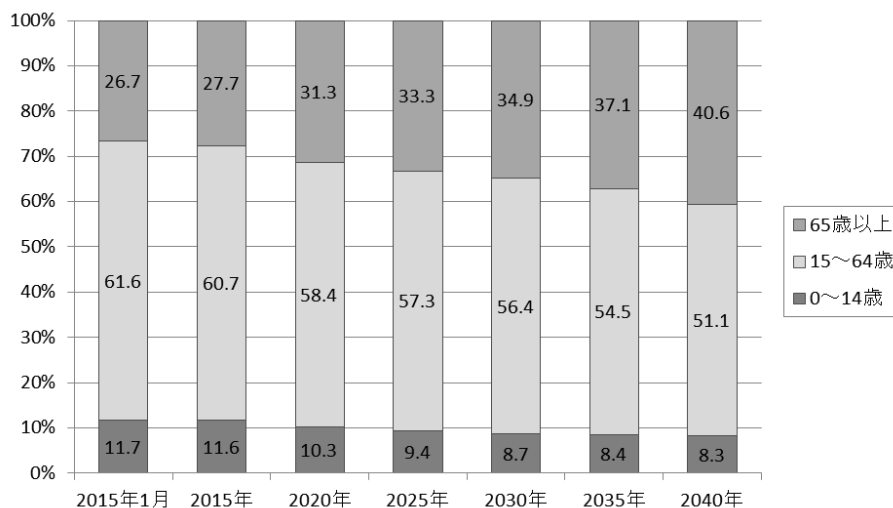
出所：国立社会保障・人口問題研究所（平成 25 年 3 月推計）

北本市の人口推計（移動あり）及び封鎖人口の推計

年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
移動あり	67,257	65,201	62,367	58,916	55,067	51,083
封鎖人口	68,352	67,118	65,105	62,485	59,442	56,188

出所：国立社会保障・人口問題研究所（平成 25 年 3 月推計）

北本市の年齢 3 区分別人口割合の推計



出所：国立社会保障・人口問題研究所（平成 25 年 3 月推計） / 2015 年 1 月は、住民基本台帳データ

【参考】日本創生会議・人口減少問題検討分科会（座長：増田寛也氏）による人口推計

◆市内の20～39歳の女性が半分以下になり、人口維持が困難とされる「消滅可能性自治体」を算定
 全国1,741市町村のうち896自治体が消滅可能性あり・・・全国市町村の約半分（51.5%）

埼玉県内の人口推計結果（消滅可能性順）

市区町村	人口移動が収束しない場合				若年女性人口変化率 (2010→2040)	
	2010年 総人口	2010年 20-39歳女性	2040年 総人口	2040年 20-39歳女性		
幸手市	54,012	6,279	33,151	2,344	-62.7%	人口維持困難
行田市	85,786	9,899	56,833	4,336	-56.2%	人口維持困難
北本市	68,888	8,419	48,644	3,785	-55.0%	人口維持困難
三郷市	131,415	16,826	90,763	7,590	-54.9%	人口維持困難
飯能市	83,549	9,221	63,075	4,399	-52.3%	人口維持困難
秩父市	66,955	6,511	40,916	3,173	-51.3%	人口維持困難
日高市	57,473	7,144	45,002	3,591	-49.7%	
狭山市	155,727	18,584	116,863	9,356	-49.7%	
久喜市	154,310	18,514	119,119	9,645	-47.9%	
東松山市	90,099	10,759	67,402	5,686	-47.2%	
加須市	115,002	13,338	89,910	7,074	-47.0%	
春日部市	237,171	28,860	179,339	15,873	-45.0%	
熊谷市	203,180	24,018	156,890	13,348	-44.4%	
蓮田市	63,309	7,916	48,742	4,433	-44.0%	
入間市	149,872	18,517	123,865	10,420	-43.7%	
本庄市	81,889	9,295	64,792	5,251	-43.5%	
深谷市	144,618	17,127	109,120	9,806	-42.7%	
八潮市	82,977	11,039	67,922	6,347	-42.5%	
蕨市	71,502	9,808	53,772	5,640	-42.5%	
鴻巣市	119,639	14,630	95,317	8,423	-42.4%	
鶴ヶ島市	69,990	9,665	57,323	5,820	-39.8%	
羽生市	56,204	6,274	43,374	3,780	-39.7%	
坂戸市	101,700	13,248	91,802	8,677	-34.5%	
桶川市	74,711	9,086	63,554	5,972	-34.3%	
上尾市	223,926	28,496	194,291	19,315	-32.2%	
所沢市	341,924	45,341	308,664	31,608	-30.3%	
白岡市	50,272	6,113	46,420	4,275	-30.1%	
富士見市	106,736	14,770	94,030	10,395	-29.6%	
越谷市	326,313	43,846	305,194	32,293	-26.3%	
草加市	243,855	32,441	226,442	23,924	-26.3%	
志木市	69,611	9,603	65,403	7,093	-26.1%	
川越市	342,670	44,078	316,602	32,752	-25.7%	
さいたま市	1,222,434	163,113	1,202,098	126,134	-22.7%	
ふじみ野市	105,695	13,584	100,729	10,745	-20.9%	
川口市	561,506	75,991	550,081	60,903	-19.9%	
和光市	80,745	13,264	84,558	10,716	-19.2%	
新座市	158,777	20,907	153,681	17,012	-18.6%	
戸田市	123,079	18,987	129,724	16,100	-15.2%	
朝霞市	129,691	18,894	128,624	16,412	-13.1%	
吉川市	65,298	8,815	76,443	8,961	1.7%	

IV. 現総合振興計画の進捗状況

1. 調査（報告）目的

「第五次北本市総合振興計画（仮称）」の策定にあたっては、現在の総合振興計画の達成状況を振り返り、総合振興計画全体としてのPDCAサイクルを回すことが求められます。

そこで、現在の「第四次北本市総合振興計画 後期基本計画」について、下記の2視点でのまちづくり進捗状況を報告するものです。

【現総合振興計画の進捗状況報告の視点】

①56 目標指標の達成状況（指標による客観評価）

②施策内の主要施策単位での達成状況（事業課による主観評価）

※主要施策の説明は、

下記の「第四次北本市総合振興計画 後期基本計画の施策体系」参照

第四次北本市総合振興計画 後期基本計画の施策体系

単位	総合振興計画での名称	主観的評価での 選択肢を設定した階層
政策	第1章 未来につなぐ夢のある学びのまち	
施策	第1節 生涯学習の推進	
主要施策	1 生涯学習推進体制の充実	
	(1) 生涯学習推進体制の充実	←この単位毎で評価

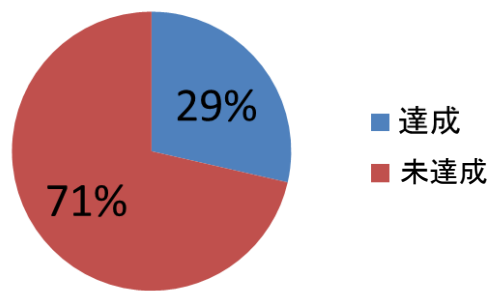
2. 56 目標指標による評価（指標による客観評価）

「第四次北本市総合振興計画 後期基本計画」では、56 の目標指標を設定し、まちづくりの進展度を管理しています。それらを用いて現計画の達成状況を報告するものです。

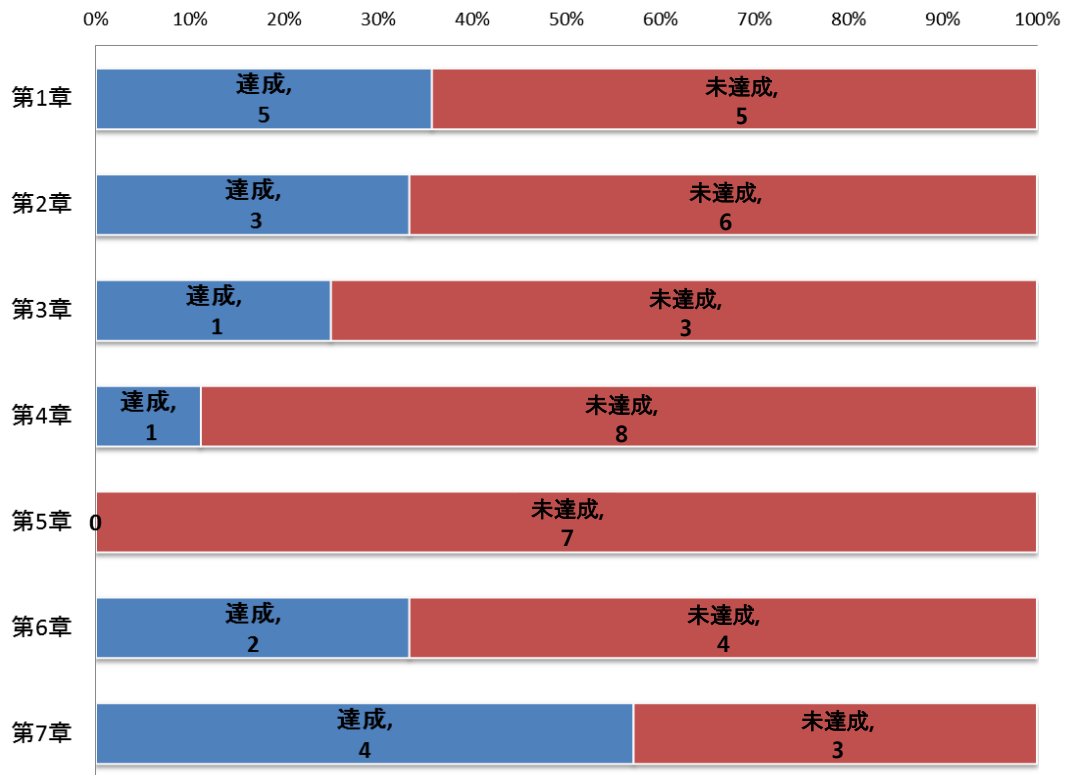
（1）56 目標指標の達成状況（平成 25 年度末時点）

- ・ 29%（16 指標）が、平成 25 年度末で平成 27 年度末目標値を達成しています。
- ・ 政策別の達成状況では、第 7 章が 50%を超えています。

目標指標の達成状況



政策分野別の目標指標の達成状況

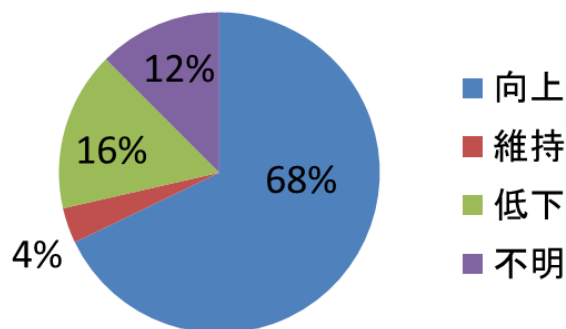


※第1章:教育、第2章:福祉、第3章:環境・景観、第4章:都市・生活基盤、第5章:産業、第6章:市民自治、第7章:行財政・進行管理

(2) 56 目標指標の進展度（平成 25 年度末時点）

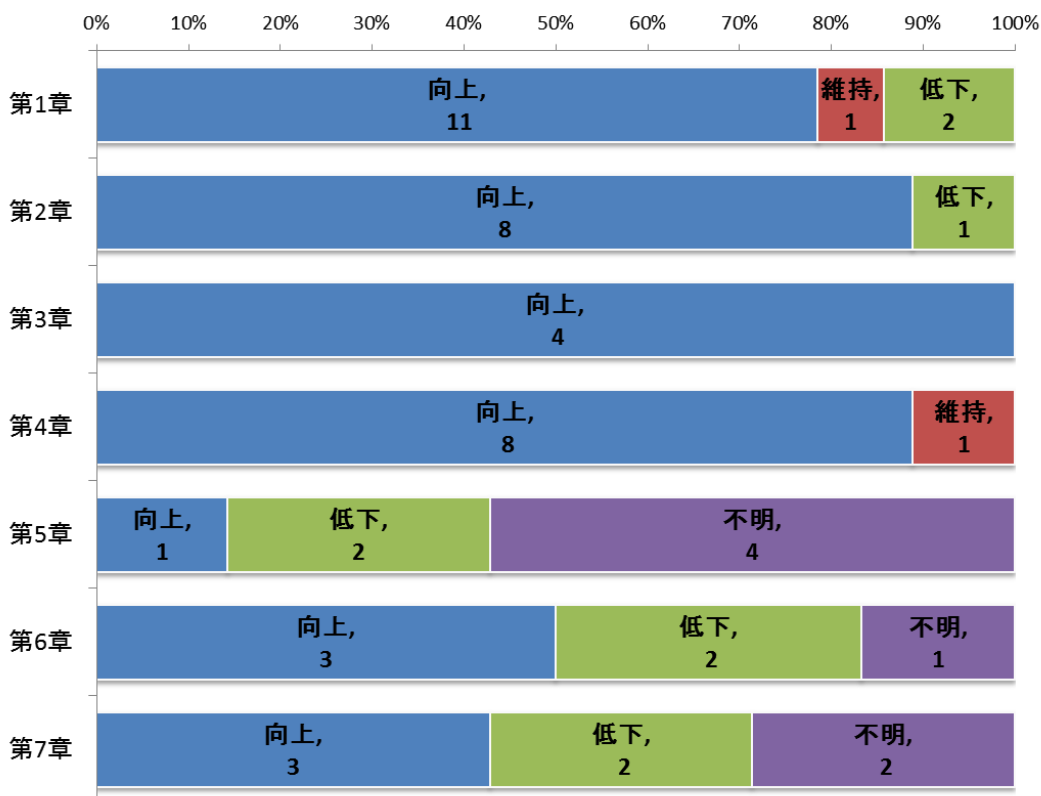
- 56 目標の平成 22 年度末時点と平成 25 年度末時点との比較による進展度では、68%（38 指標）が向上となっています。16%（9 指標）が低下となっています。
- 政策別の進展度では、第 3 章の全指標が向上となっています。第 5 章、第 6 章、第 7 章は、進展度を把握できない不明指標、低下指標が多くなっています。

56 目標の進展度



政策分野別の目標の進展度状況

（平成 22 年度末時点と平成 25 年度末時点との指標値比較）



※第1章:教育、第2章:福祉、第3章:環境・景観、第4章:都市・生活基盤、第5章:産業、第6章:市民自治、第7章:行財政・進行管理

(3) 56 目標指標別の状況一覧（平成 25 年度末時点）

章	節	目標指標	後期策定時 平成22年度末	現状 平成25年度末	目標値 平成27年度末	進展度	達成 状況
1	1	市民大学きたもと学苑の講座数	117講座	206講座	120講座	向上	達成
1	2	小・中学校校舎の耐震化	55.10%	100%	100%	向上	達成
1	2	「教育に関する3つの達成目標」における基礎学力定着度	93.1%	94.0%	95%	向上	—
1	2	体力テストの結果で全国平均を上回っている項目数の割合	66.7%	67.40%	80%	向上	—
1	2	地域活動室活用推進のボランティア登録者数	4,509人	4,852人	5,000人	向上	—
1	3	放課後子ども教室	3校	6校	8校	向上	—
1	4	人財情報バンク登録者数	107人	133人	130人	向上	達成
1	4	市民1人当たりの公民館年間利用回数	6.5回	6.3回	7.0回	低下	—
1	4	市民1人当たりの図書資料年間貸出点数	3.9冊	4.09冊	4.2冊	向上	—
1	4	出前講座	15件/年	9件/年	20件/年	低下	—
1	4	社会教育施設の耐震診断実施	—	2施設	2施設	向上	達成
1	5	市民1人当たりの社会体育施設（学校体育施設開放を含む）年間利用回数	4.52回	4.86回	4.70回	向上	達成
1	6	市指定文化財数	44件	47件	50件	向上	—
1	6	小中学校学習支援講座数	12講座	12講座	18講座	維持	—
2	1	地域福祉計画の策定	未策定	策定	策定	向上	達成
2	2	赤ちゃん訪問等実施数	75%	95%	100%	向上	—
2	2	小児救急医療体制の充実	初期救急体制 週6日 二次救急体制 週5日	初期救急体制 週6日 二次救急体制 週6日	初期救急体制 週6日 二次救急体制 週6日	向上	達成
2	3	保育所待機児童数	4人	3人	0人	向上	—
2	4	小規模多機能施設数	1カ所	2カ所	4カ所	向上	—
2	4	老人クラブ会員数	2,272人	2,208人	2,500人	低下	—
2	5	グループホーム・ケアホーム利用者数	17人	33人	26人	向上	—
2	5	障がい者就労支援センターの設置	—	1カ所	1カ所	向上	達成
2	6	特定健康診査の受診率	36.7%	39.9%	65.0%	向上	—

章	節	目標指標	後期策定時 平成22年度末	現状 平成25年度末	目標値 平成27年度末	進展度	達成 状況
3	1	駅西口広場の整備	事業中	完成	完成	向上	達成
3	2	地区計画の区画道路整備済路線数	6路線	15路線	22路線	向上	—
3	3	ごみの減量化に伴う排出量の削減（市民1人あたりの年間排出量）	292kg	283kg	262kg	向上	—
3	4	北本中央緑地の整備（開設面積）	2.04ha	2.14ha	2.17ha	向上	—
4	1	土地区画整理事業等の推進（久保地区）	24.0%	32.7%	42.0%	向上	—
4	2	生活道路改良率	62.6%	63.0%	63.0%	向上	達成
4	3	下水道整備比率（市街化区域内）	80.9%	81.7%	83.3%	向上	—
4	3	下水道人口普及率（市街化区域内）	74.5%	74.5%	75.5%	維持	—
4	4	自主防犯団体数	97団体	101団体	112団体	向上	—
4	4	防犯灯の設置	4,916基	5,271基	5,300基	向上	—
4	4	道路反射鏡の設置	1,301基	1,385基	1,420基	向上	—
4	5	自主防災組織数	46団体	52団体	60団体	向上	—
4	5	住宅の耐震診断数	134件	158件	184件	向上	—
5	1	市の産業水準 農家数 事業所数 商店数	328戸 84箇所 476箇所	未調査 （農林業センサス 次回調査H27） 未公表 （経済センサス H26.7実施）	328戸 84箇所 476箇所	—	—
5	2	認定農家数	46人	45人	50人	低下	—
5	3	昼間人口	54,000人	未調査 （次回国勢調査はH27）	59,000人	—	—
5	3	年間商品販売額（小売業）	662億6,000万円	未公表 （経済センサス H26.7実施）	730億円	—	—
5	4	製造品出荷額	656億5,000万円	未公表 （経済センサス H26.7実施）	720億円	—	—
5	5	観光入り込み客数	711,000人	852,940人	1,000,000人	向上	—
5	6	就労幹旋者数	5人/年	2人/年	8人/年	低下	—

章	節	目標指標	後期策定時 平成22年度末	現状 平成25年度末	目標値 平成27年度末	進展度	達成 状況
6	1	セーフコミュニティの認証取得	—	—	認証取得	—	—
6	2	生涯学習人権講座研修会参加者数	162人/年	154人/年	250人/年	低下	—
6	2	平和啓発事業の参加者数	842人	1,064人	950人	向上	達成
6	3	市の審議会等への女性の登用率	31.7%	33.3%	40.0%	向上	—
6	4	国際交流ラウンジ登録者数	34人	25人	50人	低下	—
6	5	消費生活セミナーの実施	6回/年	11回/年	10回/年	向上	達成
7	1	ホームページアクセス件数	349,621件 (平成21年度)	581,104件	380,000件	向上	達成
7	2	行政改革の取組率（取組み件数／計画件数）	97%	100%	100%	向上	達成
7	3	経常収支比率	84.8%	85.9%	90.0%以内	低下	達成
7	3	公債費比率	7.9%	4.5%	10.0%以内	向上	達成
7	3	危機管理強化のための取組み（危機管理マニュアルの見直し、研修等）	未実施	未実施	実施	—	—
7	Ⅱ-1	目標指標の達成率	33%	29.8%	100%	低下	—
7	Ⅱ-2	「市の行政施策に対する総合評価」の市民満足度	16.20%	未調査	20.00%	—	—

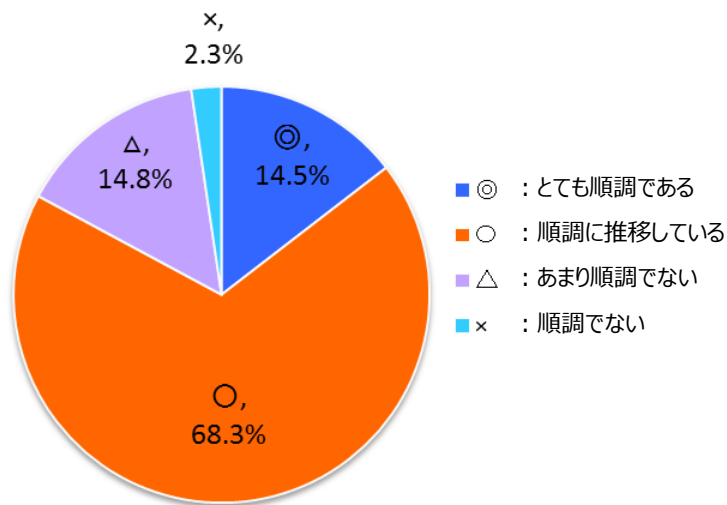
3. 施策内の主要施策単位での進捗状況（事業課による主観評価）

現総合振興計画の振り返りにあたり、各事業課が所管している「主要施策」単位で、選択肢による主観評価を実施し、現総合振興計画の施策毎の進捗状況として報告するものです。

(1) 37 施策に設定された「主要施策」単位での進捗状況（平成 27 年 1 月時点）

- ・『とても順調である』主要施策が 14.5%、『順調に推移している』主要施策が 68.3%となっており、全体としては 82.8%の主要施策が順調に推移しています。
- ・政策別の達成状況では、第 1 章が順調で、第 5 章が不調となっています。

37 施策内の主要施策の進捗状況



政策分野別の 37 施策内の主要施策進捗状況



(2) 37 施策別の進捗状況（「主要施策」単位での主観評価による）

- ・『とても順調である（◎）』及び『順調に推移している（○）』の合計が、70%を超えている進捗が順調な施策は 21 施策となっています。
- ・『あまり順調でない（△）』及び『順調でない（×）』の合計が、70%を超えている進捗が不調な施策は 3 施策となっています。

章	節	施策名称(節名称)	施策内の主要施策単位の 主観評価状況				主要 施策 合計	施策としての 推進状況		状況
			◎ とても 順調 である	○ 順調に 推移し ている	△ あまり 順調 でない	× 順調 でない		◎と○ の 比率	△と× の 比率	
1	1	生涯学習の推進	1	8	0	0	9	100%	0%	順調
1	2	学校教育の充実	9	37	0	0	46	100%	0%	順調
1	3	青少年の健全育成	2	6	0	0	8	100%	0%	順調
1	4	社会教育の充実	1	8	0	0	9	100%	0%	順調
1	5	文化・スポーツ活動の推進	3	11	0	0	14	100%	0%	順調
1	6	文化財の保護・活用	0	5	2	1	8	63%	38%	
2	1	地域福祉の推進	1	10	1	0	12	92%	8%	順調
2	2	保健・医療の充実	3	2	3	0	8	63%	38%	
2	3	子育て支援の充実	1	14	0	0	15	100%	0%	順調
2	4	高齢者福祉の充実	1	8	4	0	13	69%	31%	
2	5	障がい者(児)福祉の充実	1	8	0	0	9	100%	0%	順調
2	6	社会保障制度の充実	2	10	1	0	13	92%	8%	順調
3	1	バランスある土地利用の推進	0	5	2	1	8	63%	38%	
3	2	豊かな住環境と都市景観の形成	2	6	3	1	12	67%	33%	
3	3	資源循環型の環境に やさしいまちづくり	5	6	0	0	11	100%	0%	順調
3	4	公園・緑地の整備	0	15	3	0	18	83%	17%	順調

章	節	施策名称(節名称)	施策内の主要施策単位の 主観評価状況				主要 施策 合計	施策としての 推進状況		状況
			◎ とても 順調 である	○ 順調に 推移し ている	△ あまり 順調 でない	× 順調 でない		◎と○ の 比率	△と× の 比率	
4	1	市街地の整備	0	5	3	0	8	63%	38%	
4	2	道路・交通体系の整備	2	6	2	2	12	67%	33%	
4	3	上・下水道、河川の整備	0	5	3	0	8	63%	38%	
4	4	防犯・交通安全の推進	6	7	0	0	13	100%	0%	順調
4	5	防災・消防の充実	5	13	6	0	24	75%	25%	順調
5	1	総合的な産業の振興	0	0	1	0	1	0%	100%	不調
5	2	農業の振興	1	8	4	0	13	69%	31%	
5	3	商業・サービス業の振興	0	0	5	2	7	0%	100%	不調
5	4	工業の振興と新たな企業の誘致	2	1	3	0	6	50%	50%	
5	5	観光・交流産業の振興	2	4	0	0	6	100%	0%	順調
5	6	就労対策	0	2	3	1	6	33%	67%	
6	1	暮らしと参加・交流の場としての 地域コミュニティづくり	3	4	0	0	7	100%	0%	順調
6	2	平和と人権を尊重するまちづくり	0	9	0	0	9	100%	0%	順調
6	3	男女共同参画社会の推進	1	2	2	0	5	60%	40%	
6	4	国際化への対応	0	9	0	0	9	100%	0%	順調
6	5	消費生活における安心の確保	1	3	0	0	4	100%	0%	順調
7	1	市民参加の促進と 協働体制の強化	0	9	1	0	10	90%	10%	順調
7	2	行財政改革の推進、地方分権化、 社会にふさわしい自治体制づくり	0	3	0	0	3	100%	0%	順調
7	3	柔軟な行財政執行体制の整備と 内部管理の充実	1	12	2	0	15	87%	13%	順調
7	4	広域行政の推進	0	2	2	0	4	50%	50%	
7	II	計画の進行管理	0	0	1	1	2	0%	100%	不調

V. 市民ワークショップからの課題

1. 目的

次期総合振興計画策定にあたり、市の現状資料等で情報を共有したうえで、市民目線での「分野別のまちづくりの課題」を抽出することを目的に実施しました。

2. 開催概要

(1) 参加定員と抽出方法（計 100 名）

①無作為抽出による市民

- ・定員・・・50名
- ・抽出方法・・・平成26年12月現在、北本市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の方を対象として、無作為抽出法により、約3,000名の市民へ郵送で参加を呼びかけ、参加申込みをいただいた方に参画いただく方式（応募が50名を超えた場合は抽選とする）。

②市内各種団体からの推薦

- ・定員・・・50名
- ・抽出方法・・・市より市内各種団体代表者へ依頼による推薦方式。

(2) まちづくり課題で検討いただく「分野」

- A「教育」・・・生涯学習 学校教育 文化・スポーツ活動 社会教育
青少年育成 文化財保護
- B「福祉」・・・地域福祉 ボランティア 保健・医療 健康づくり 子育て支援
障がい者（児）福祉 高齢者福祉 国民健康保険 介護保険
- C「緑・都市基盤」・・・土地利用 住環境 都市景観 公園・緑地環境にやさしいまちづくり
市街地整備 交通政策 道路 上下水道 交通安全・防犯 防災
- D「産業・市民自治・行財政」・・・農・商・工業 観光 就労対策 コミュニティ 消費生活
市民参加と協働 行財政改革

(3) 市民ワークショップ開催期日と参加状況

第1日目・・・日時）平成27年2月11日（水・祝）午後1時30分～4時30分
会場）文化センター 第1・2会議室
参加）66名（無作為抽出39名 団体推薦27名）

第2日目・・・日時）平成27年2月21日（土）午後1時30分～3時30分
会場）文化センター 第1・2会議室
参加）47名（無作為抽出24名 団体推薦23名）

3. 市民ワークショップ結果

各分野でのまちづくりの課題について、複数グループで議論された課題やトピックについて、まとめています（1グループのみで議論されたトピックについては記載していません）。

（1）「教育」A分野（28名（無作為抽出16名 団体推薦12名））

①学校教育

- ・放課後子ども教室等の有効活用による居場所づくり、学力向上、各種体験学習の実施
- ・学力向上への取組みの推進（土曜日授業の再開、教員の質向上、職業体験等）
- ・図書室の充実や有効活用による読書量の増加や図書館の学習スペースとしての活用
- ・通学路の安全確保
- ・学校へのマネジメント権限移譲推進（予算、決定権限等）
- ・給食を活用した食育の推進（親子給食、地産地消等）
- ・新たな時代に対応できる児童・生徒育成への「道徳」「適切なICT機器利用」等の教育実施
- ・不登校対策等の充実

②文化・スポーツ活動

- ・スポーツ施設の拡充及び利便性向上
- ・スポーツイベントの充実
- ・芸術鑑賞機会の拡充（市内でのコンサート等の催し増加）

③文化財保護

- ・文化財の周知や積極的活用
- ・文化財や伝統文化、戦争体験等の子どもたちへの継承

④子どもへの継承

- ・文化財や伝統文化、戦争体験等の子どもたちへの継承

（2）「福祉」B分野（38名（無作為抽出23名 団体推薦15名））

①高齢者福祉・健康づくり・介護保険

- ・交通弱者や高齢者の免許返納者等の移動手段確保（デマンドバスの利便性確保等）
- ・高齢者の見守り、相談体制、サロン活動等の充実（わかりやすく、相談しやすく、集まりやすく）
- ・介護予防等への体操や運動習慣等の取組み支援

②保健・医療

- ・産婦人科の減少
- ・夜間、救急の医療体制の充実（乳幼児含む）

③子育て支援

- ・子育てしたいと思う魅力向上
(子どもの安全な遊び場、休日に親子で過ごす場所、ポイントカード等)
- ・夜間、救急の医療体制の充実(乳幼児含む)

④生活貧困対策

- ・生活困窮者支援制度の充実
- ・自立支援サポートの充実

(3)「緑・都市基盤」C分野 (28名(無作為抽出17名 団体推薦11名))

①公園・緑地 土地利用

- ・雑木林等の緑の保存と土地活用の両立
- ・公園の適切な維持管理(遊具、清掃、植栽管理等)
- ・利用しやすい公園への改修(リノベーション)
- ・休耕地の有効活用

②道路 交通安全 市街地整備

- ・主要道路以外の生活道路等での安全性確保(歩道設置、バリアフリー化、幅員拡幅、側溝へのふた掛け、電線地中化等)
- ・駅周辺・駅前広場の整備(まちの顔としての魅力向上、利便性向上)
- ・利用しやすい公園への改修(リノベーション)
- ・休耕地の有効活用

③交通政策

- ・バスの利便性向上(終バス延長、本数増加、路線数増加、ネットワークでの乗継利便性向上)
- ・鉄道の利便性向上(快速停車、新駅等)
- ・自動車を利用しない方や高齢者等の交通弱者が暮らせる交通網

④住環境(一部防犯)

- ・空き家対策の推進
(賃貸仲介支援、リノベーションによる転入者住居、地域サロンとして活用)

⑤防犯

- ・街路灯、防犯灯の充実(通学路、駅より遠い市街地等)
- ・防犯カメラ等による犯罪の未然防止、解決力強化

⑥環境にやさしいまちづくり(ゴミ)

- ・ごみの分別見直し(細かすぎるのではないか)

(4)「産業・市民自治・行財政」D分野 (19名(無作為抽出7名 団体推薦12名))

①農・商・工業 就労対策

- ・商業・サービス業の誘致推進(商業施設等)
- ・地産地消の推進(子どもや市民による体験農業等も含む)

②観光

- ・観光資源の開発(新商品、新名物、観光ルート設定、工場見学等)
- ・トマちゃんの有効活用

③市民参画と協働

- ・自治会加入率減少、高齢化という状況下での自治会等の地域コミュニティの役割の明確化
- ・行政側の協働推進への意識変革、仕組みづくり(市民の支援・サポート、つなぎ役となるように)

④行財政改革

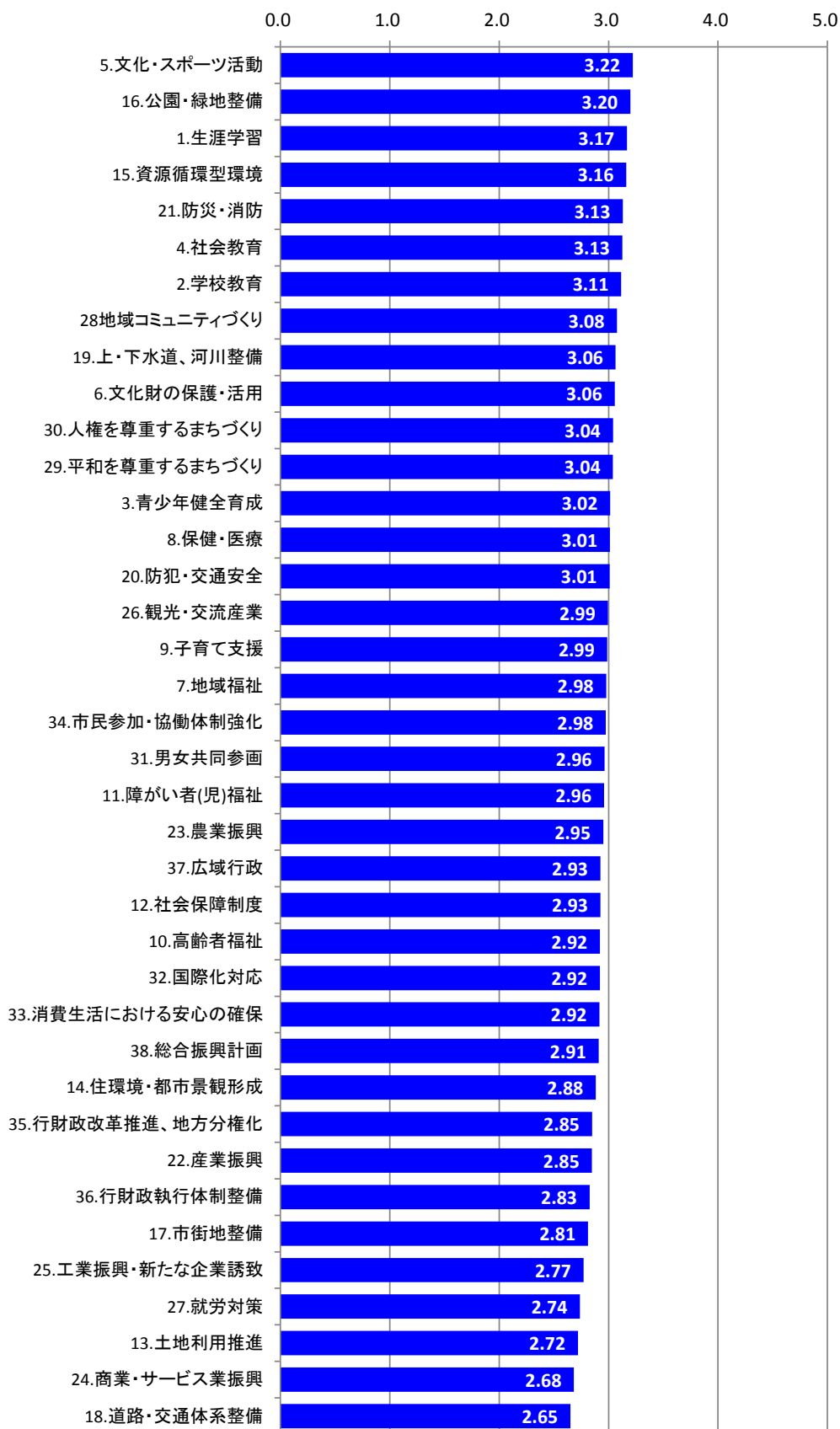
- ・市の各種状況をわかりやすく報告・情報公開(財政状況の見える化、わかりやすい行政報告、NPM(ニューパブリックマネジメント)の導入等)
- ・職員の資質向上
- ・定住対策の促進
- ・まちの魅力等の明確化とPR充実による転出抑制、転入増加

參考資料編

【参考資料 1】 施策別満足度重要度一覧

施策別満足度一覧

(単位：点)



■市が取り組んでいる施策の満足度 [上位5位] (性別・年齢別・居住地域別)

(単位：点)

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		5.文化・スポーツ活動の推進 3.222	16.公園・緑地の整備 3.198	1.生涯学習の推進 3.168	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.161	21.防災・消防の充実 3.130
性別	男性	5.文化・スポーツ活動の推進 3.150	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.133	16.公園・緑地の整備 3.120	1.生涯学習の推進 3.113	4.社会教育の充実 3.111
	女性	5.文化・スポーツ活動の推進 3.295	16.公園・緑地の整備 3.262	1.生涯学習の推進 3.214	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.193	21.防災・消防の充実 3.174
年齢	18歳～19歳	11.障がい者(児)福祉の充実/22.総合的な産業の振興 3.400				1.生涯学習の推進/2.学校教育の充実/10.高齢者福祉の充実 3.300
	20歳～29歳	29.平和を尊重するまちづくり 3.136	5.文化・スポーツ活動の推進/16.公園・緑地の整備/19.上・下水道、河川の整備・更新 3.135			1.生涯学習の推進/30.人権を尊重するまちづくり 3.124
	30歳～39歳	5.文化・スポーツ活動の推進 3.232	16.公園・緑地の整備 3.130	1.生涯学習の推進 3.104	4.社会教育の充実 3.092	21.防災・消防の充実 3.090
	40歳～49歳	5.文化・スポーツ活動の推進 3.259	16.公園・緑地の整備 3.241	6.文化財の保護・活用 3.158	19.上・下水道、河川の整備・更新 3.144	1.生涯学習の推進 3.116
	50歳～59歳	1.生涯学習の推進 3.163	16.公園・緑地の整備 3.156	5.文化・スポーツ活動の推進 3.117	28.暮らしと参加・交流の場としての地域コミュニティづくり 3.088	2.学校教育の充実 3.087
	60歳～64歳	16.公園・緑地の整備 3.234	5.文化・スポーツ活動の推進 3.211	4.社会教育の充実 3.189	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.176	1.生涯学習の推進 3.166
	65歳～69歳	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.295	21.防災・消防の充実 3.282	5.文化・スポーツ活動の推進 3.249	20.防犯・交通安全の推進 3.191	1.生涯学習の推進 3.172
	70歳～74歳	5.文化・スポーツ活動の推進 3.333	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.263	16.公園・緑地の整備 3.245	4.社会教育の充実 3.240	1.生涯学習の推進 3.229
	75歳以上	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.393	4.社会教育の充実/5.文化・スポーツ活動の推進 3.333	16.公園・緑地の整備 3.303	1.生涯学習の推進 3.275	
居住地域	中丸地域	5.文化・スポーツ活動の推進 3.288	1.生涯学習の推進 3.231	28.暮らしと参加・交流の場としての地域コミュニティづくり 3.217	16.公園・緑地の整備 3.207	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.197
	中央地域	5.文化・スポーツ活動の推進 3.178	1.生涯学習の推進 3.149	16.公園・緑地の整備 3.137	2.学校教育の充実 3.124	19.上・下水道、河川の整備・更新 3.123
	東地域	16.公園・緑地の整備 3.228	5.文化・スポーツ活動の推進 3.217	1.生涯学習の推進 3.184	21.防災・消防の充実 3.150	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.136
	東間深井地域	5.文化・スポーツ活動の推進 3.197	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.172	16.公園・緑地の整備 3.169	4.社会教育の充実 3.115	28.暮らしと参加・交流の場としての地域コミュニティづくり 3.096
	南部地域	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.224	16.公園・緑地の整備 3.212	2.学校教育の充実 3.201	21.防災・消防の充実 3.188	5.文化・スポーツ活動の推進 3.167
	本町西高尾地域	5.文化・スポーツ活動の推進 3.301	1.生涯学習の推進 3.280	19.上・下水道、河川の整備・更新 3.241	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.222	16.公園・緑地の整備 3.212
	西部地域	16.公園・緑地の整備 3.252	5.文化・スポーツ活動の推進 3.229	1.生涯学習の推進 3.149	15.資源循環型の環境にやさしいまちづくり 3.122	3.青少年の健全育成 3.096
	公団地域	21.防災・消防の充実 3.315	5.文化・スポーツ活動の推進 3.271	4.社会教育の充実 3.235	16.公園・緑地の整備 3.183	19.上・下水道、河川の整備・更新 3.178

■市が取り組んでいる施策の満足度〔下位5位〕（性別・年齢別・居住地域別）

（単位：点）

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		18.道路・交通体系の整備 2.651	24.商業・サービス業の振興 2.683	13.バランスある土地利用の推進 2.719	27.就労対策 2.738	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.772
性別	男性	18.道路・交通体系の整備 2.573	24.商業・サービス業の振興 2.648	13.バランスある土地利用の推進 2.676	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.704	27.就労対策 2.716
	女性	24.商業・サービス業の振興 2.719	18.道路・交通体系の整備 2.727	27.就労対策 2.763	13.バランスある土地利用の推進 2.764	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.833
年齢	18～19歳	13.バランスある土地利用の推進／18.道路・交通体系の整備 2.600		5.文化・スポーツ活動の推進 2.700	3.青少年の健全育成／27.就労対策 2.800	
	20～29歳	18.道路・交通体系の整備 2.693	24.商業・サービス業の振興 2.708	27.就労対策 2.753	13.バランスある土地利用の推進 2.764	17.市街地の整備 2.798
	30～39歳	18.道路・交通体系の整備 2.599	24.商業・サービス業の振興 2.652	27.就労対策 2.727	13.バランスある土地利用の推進 2.758	32.国際化への対応 2.830
	40～49歳	24.商業・サービス業の振興 2.590	18.道路・交通体系の整備 2.644	13.バランスある土地利用の推進 2.654	27.就労対策 2.673	36.柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実 2.796
	50～59歳	18.道路・交通体系の整備 2.546	24.商業・サービス業の振興 2.612	13.バランスある土地利用の推進 2.624	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.682	27.就労対策 2.715
	60～64歳	18.道路・交通体系の整備 2.612	24.商業・サービス業の振興 2.645	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.651	27.就労対策 2.673	12.社会保障制度の充実 2.756
	65～69歳	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.734	13.バランスある土地利用の推進 2.746	18.道路・交通体系の整備 2.768	24.商業・サービス業の振興 2.780	27.就労対策 2.786
	70～74歳	18.道路・交通体系の整備 2.686	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.739	24.商業・サービス業の振興 2.765	13.バランスある土地利用の推進 2.774	36.柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実 2.806
	75歳以上	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.739	24.商業・サービス業の振興 2.761	27.就労対策 2.771	18.道路・交通体系の整備 2.778	36.柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実 2.783
居住地域	中丸地域	18.道路・交通体系の整備 2.566	24.商業・サービス業の振興 2.692	27.就労対策 2.740	13.バランスある土地利用の推進 2.777	17.市街地の整備 2.898
	中央地域	24.商業・サービス業の振興 2.659	13.バランスある土地利用の推進 2.669	27.就労対策 2.680	18.道路・交通体系の整備 2.707	17.市街地の整備 2.727
	東地域	18.道路・交通体系の整備 2.538	13.バランスある土地利用の推進 2.575	14.豊かな住環境と都市景観の形成 2.681	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.688	24.商業・サービス業の振興 2.704
	東間深井地域	18.道路・交通体系の整備 2.589	24.商業・サービス業の振興 2.652	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.693	13.バランスある土地利用の推進 2.747	27.就労対策 2.764
	南部地域	18.道路・交通体系の整備 2.473	24.商業・サービス業の振興 2.711	27.就労対策 2.730	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.735	17.市街地の整備 2.770
	本町西高尾地域	24.商業・サービス業の振興 2.689	13.バランスある土地利用の推進 2.768	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.791	36.柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実 2.823	27.就労対策 2.834
	西部地域	13.バランスある土地利用の推進 2.634	18.道路・交通体系の整備 2.697	27.就労対策 2.715	24.商業・サービス業の振興 2.750	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.766
	公団地域	24.商業・サービス業の振興 2.639	27.就労対策 2.714	18.道路・交通体系の整備 2.750	12.社会保障制度の充実 2.789	25.工業の振興と新たな企業の誘致 2.800

施策別重要度について [単数回答]

(単位：点)



■市が取り組んでいる施策の重要度（上位5） [上位5位]（性別・年齢別・居住地域別）

（単位：点）

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		8. 保健・医療の充実 3.840	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.830	21. 防災・消防の充実 3.816	20. 防犯・交通安全の 推進 3.816	10. 高齢者福祉の充実 3.801
性別	男性	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.798	8. 保健・医療の充実 3.796	12. 社会保障制度の充 実 3.780	21. 防災・消防の充実 3.779	16. 公園・緑地の整備 3.758
	女性	8. 保健・医療の充実 3.882	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.881	10. 高齢者福祉の充実 3.879	20. 防犯・交通安全の 推進 3.870	21. 防災・消防の充実 3.862
年齢	18歳～19歳	16. 公園・緑地の整備 4.100	8. 保健・医療の充実 3.900	9. 子育て支援の充実 3.800	2. 学校教育の充実／5. 文化・スポーツ活動の 推進 3.700	
	20歳～29歳	8. 保健・医療の充実 3.978	20. 防犯・交通安全の 推進 3.890	2. 学校教育の充実 3.833	18. 道路・交通体系の 整備 3.831	9. 子育て支援の充実 3.811
	30歳～39歳	9. 子育て支援の充実 4.122	20. 防犯・交通安全の 推進 3.981	8. 保健・医療の充実／ 16. 公園・緑地の整備 3.935	2. 学校教育の充実 3.890	
	40歳～49歳	8. 保健・医療の充実 3.954	20. 防犯・交通安全の 推進 3.825	9. 子育て支援の充実 3.816	2. 学校教育の充実 3.807	16. 公園・緑地の整備 3.787
	50歳～59歳	8. 保健・医療の充実 3.780	10. 高齢者福祉の充実 12. 社会保障制度の充 実 3.777	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.745	21. 防災・消防の充実 3.678	
	60歳～64歳	12. 社会保障制度の充 実 3.965	10. 高齢者福祉の充実 3.914	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.884	21. 防災・消防の充実 3.866	20. 防犯・交通安全の 推進 3.789
	65歳～69歳	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.961	12. 社会保障制度の充 実 3.902	21. 防災・消防の充実 3.880	10. 高齢者福祉の充実 3.867	16. 公園・緑地の整備 3.862
	70歳～74歳	21. 防災・消防の充実 3.931	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.903	12. 社会保障制度の充 実 3.849	10. 高齢者福祉の充実 3.835	20. 防犯・交通安全の 推進 3.826
	75歳以上	21. 防災・消防の充実 4.064	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.984	20. 防犯・交通安全の 推進 3.950	19. 上・下水道、河川 の整備・更新 3.921	10. 高齢者福祉の充実 3.890
居住地域	中丸地域	10. 高齢者福祉の充実 3.934	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.851	18. 道路・交通体系の 整備 3.847	12. 社会保障制度の充 実 3.813	16. 公園・緑地の整備 3.810
	中央地域	8. 保健・医療の充実 3.878	20. 防犯・交通安全の 推進 3.857	21. 防災・消防の充実 3.853	16. 公園・緑地の整備 3.808	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.792
	東地域	12. 社会保障制度の充 実 3.892	10. 高齢者福祉の充実 3.880	21. 防災・消防の充実 3.848	20. 防犯・交通安全の 推進 3.818	18. 道路・交通体系の 整備 3.812
	東間深井 地域	8. 保健・医療の充実 3.935	20. 防犯・交通安全の 推進 3.857	21. 防災・消防の充実 3.837	10. 高齢者福祉の充実 3.832	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.810
	南部地域	12. 社会保障制度の充 実 3.851	21. 防災・消防の充実 3.850	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.833	8. 保健・医療の充実／ 10. 高齢者福祉の充実 3.771	
	本町西高尾 地域	8. 保健・医療の充実 3.974	20. 防犯・交通安全の 推進 3.917	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.901	2. 学校教育の充実 3.884	21. 防災・消防の充実 3.848
	西部地域	16. 公園・緑地の整備 3.768	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.752	8. 保健・医療の充実 3.703	2. 学校教育の充実 3.697	20. 防犯・交通安全の 推進 3.688
	公団地域	15. 資源循環型の環境 にやさしいまちづくり 3.946	12. 社会保障制度の充 実 3.919	21. 防災・消防の充実 3.907	16. 公園・緑地の整備 3.892	10. 高齢者福祉の充実 3.865

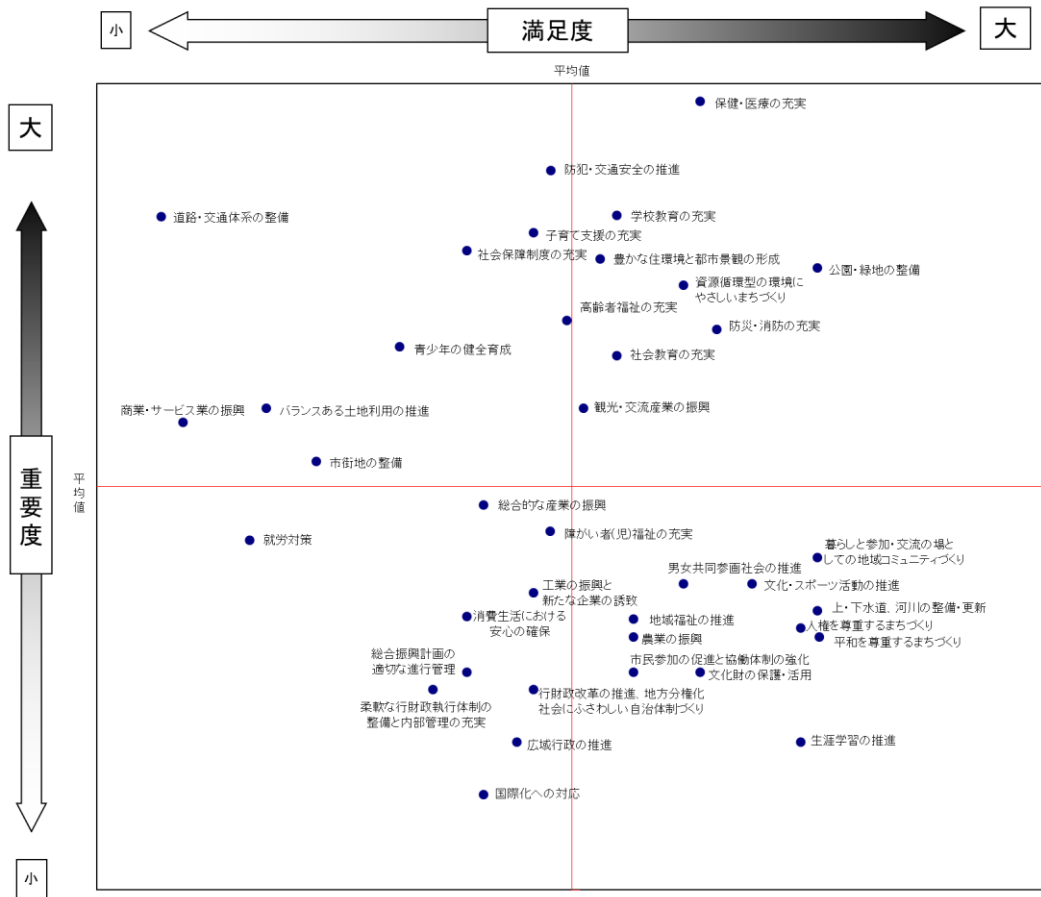
■市が取り組んでいる施策の重要度 [下位5位] (性別・年齢別・居住地域別)

(単位：点)

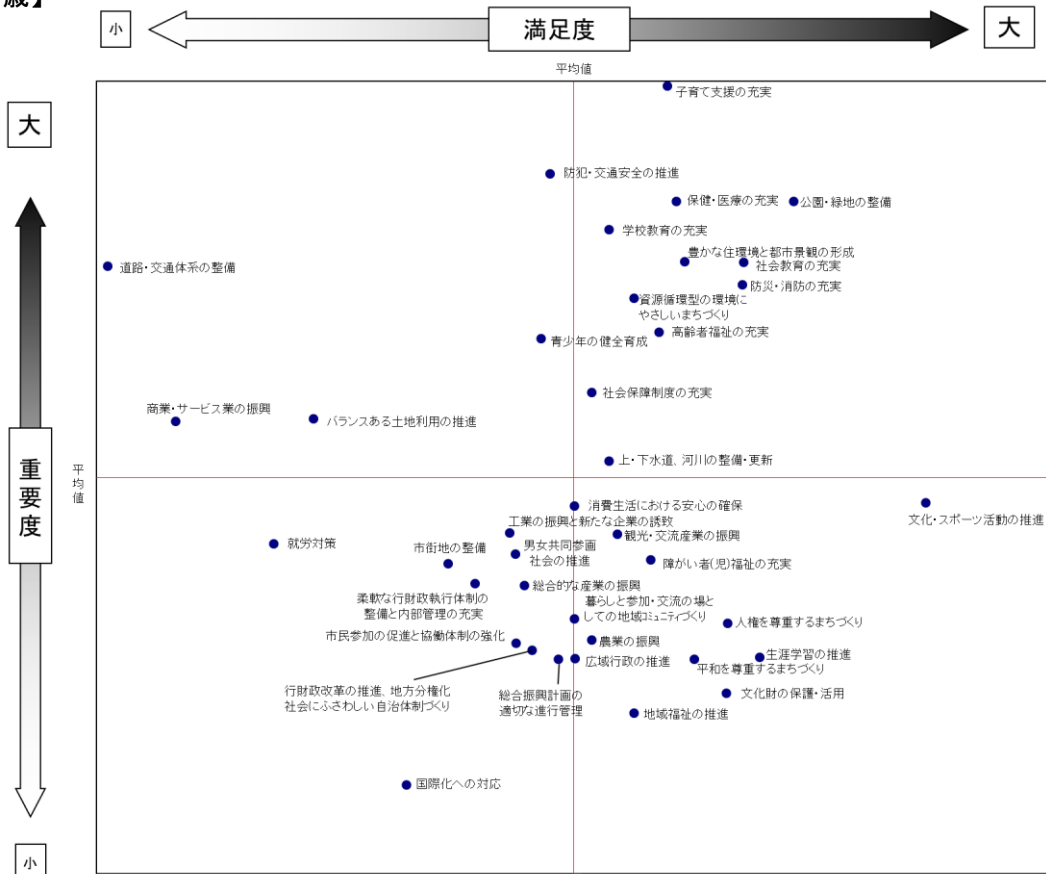
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		32.国際化への対応 3.036	6.文化財の保護・活用 3.216	7.地域福祉の推進 3.278	1.生涯学習の推進 3.287	37.広域行政の推進 3.288
性別	男性	32.国際化への対応 2.963	29.平和を尊重するまちづくり 3.212	7.地域福祉の推進 3.219	31.男女共同参画社会の推進 3.225	23.農業の振興 3.233
	女性	32.国際化への対応 3.097	6.文化財の保護・活用 3.205	37.広域行政の推進 3.258	35.行財政改革の推進、地方分権化社会にふさわしい自治体づくり 3.294	38.総合振興計画の適切な進行管理 3.313
年齢	18～19歳	26.観光・交流産業の振興 2.800	6.文化財の保護・活用 2.900	7.地域福祉の推進／35.行財政改革の推進、地方分権化社会にふさわしい自治体づくり 3.000	1.生涯学習の推進／25.工業の振興と新たな企業の誘致／29.平和を尊重するまちづくり／33.消費生活における安心の確保／36.柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実／37.広域行政の推進／38.総合振興計画の適切な進行管理 3.100	
	20～29歳	32.国際化への対応 3.100	1.生涯学習の推進／37.広域行政の推進 3.167	35.行財政改革の推進、地方分権化社会にふさわしい自治体づくり／36.柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実 3.233		
	30～39歳	32.国際化への対応 2.993	7.地域福祉の推進 3.110	6.文化財の保護・活用 3.142	29.平和を尊重するまちづくり／37.広域行政の推進 3.196	
	40～49歳	32.国際化への対応 3.028	29.平和を尊重するまちづくり 3.140	6.文化財の保護・活用 3.167	35.行財政改革の推進、地方分権化社会にふさわしい自治体づくり 3.192	7.地域福祉の推進 3.216
	50～59歳	32.国際化への対応 2.935	6.文化財の保護・活用 3.174	29.平和を尊重するまちづくり 3.183	37.広域行政の推進 3.188	34.市民参加の促進と協働体制の強化 3.196
	60～64歳	32.国際化への対応 3.047	6.文化財の保護・活用 3.194	23.農業の振興 3.294	31.男女共同参画社会の推進 3.327	22.総合的な産業の振興 3.337
	65～69歳	32.国際化への対応 3.117	6.文化財の保護・活用 3.295	1.生涯学習の推進 3.303	31.男女共同参画社会の推進 3.326	23.農業の振興 3.335
	70～74歳	32.国際化への対応 3.105	27.就労対策 3.275	6.文化財の保護・活用 3.288	23.農業の振興 3.288	1.生涯学習の推進 3.307
	75歳以上	32.国際化への対応 3.054	6.文化財の保護・活用 3.319	7.地域福祉の推進 3.333	27.就労対策 3.361	1.生涯学習の推進 3.375
	居住地域	中丸地域	32.国際化への対応 2.876	35.行財政改革の推進、地方分権化社会にふさわしい自治体づくり 3.155	31.男女共同参画社会の推進 3.171	37.広域行政の推進／38.総合振興計画の適切な進行管理 3.183
中央地域		32.国際化への対応 3.042	6.文化財の保護・活用 3.220	37.広域行政の推進 3.241	38.総合振興計画の適切な進行管理 3.249	31.男女共同参画社会の推進 3.264
東地域		32.国際化への対応 2.956	29.平和を尊重するまちづくり 3.154	6.文化財の保護・活用 3.179	38.総合振興計画の適切な進行管理 3.245	1.生涯学習の推進 3.246
東間深井地域		32.国際化への対応 3.066	6.文化財の保護・活用 3.098	7.地域福祉の推進 3.221	37.広域行政の推進 3.226	1.生涯学習の推進 3.228
南部地域		6.文化財の保護・活用 3.103	32.国際化への対応 3.136	29.平和を尊重するまちづくり 3.220	7.地域福祉の推進 3.253	1.生涯学習の推進 3.257
本町西高尾地域		32.国際化への対応 2.989	23.農業の振興 3.217	27.就労対策 3.317	17.市街地の整備 3.325	34.市民参加の促進と協働体制の強化／37.広域行政の推進 3.339
西部地域		32.国際化への対応 3.071	1.生涯学習の推進 3.192	23.農業の振興 3.234	17.市街地の整備 3.273	7.地域福祉の推進 3.278
公団地域		32.国際化への対応 3.164	6.文化財の保護・活用 3.292	17.市街地の整備 3.329	22.総合的な産業の振興 3.342	13.バランスある土地利用の推進 3.378

【参考資料 2】年齢、地域別の施策別満足度重要度分布図

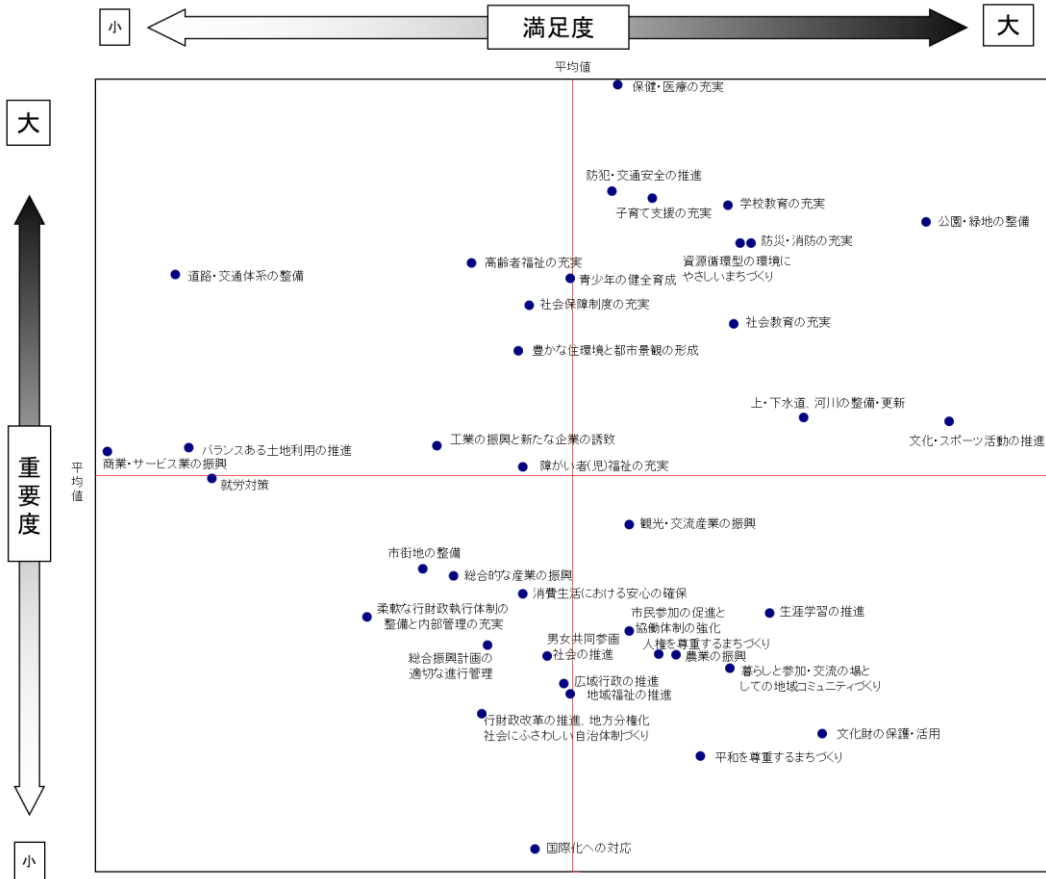
【20～29 歳】



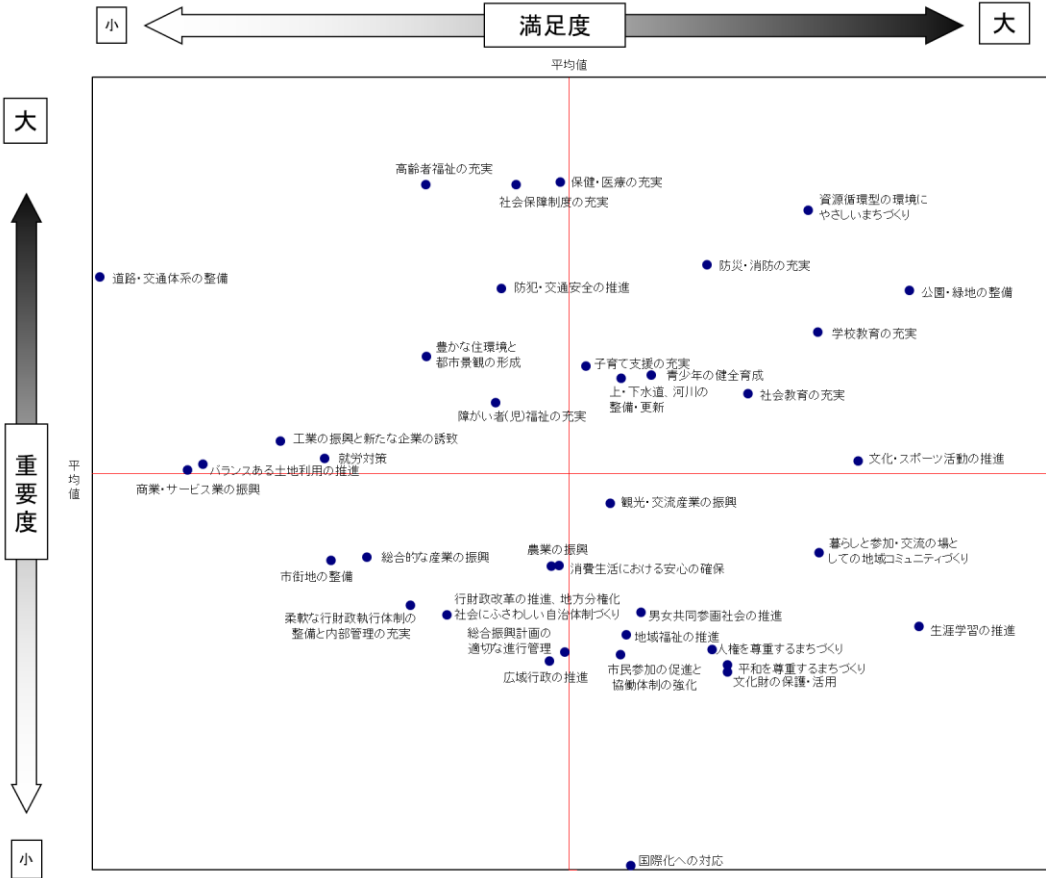
【30～39 歳】



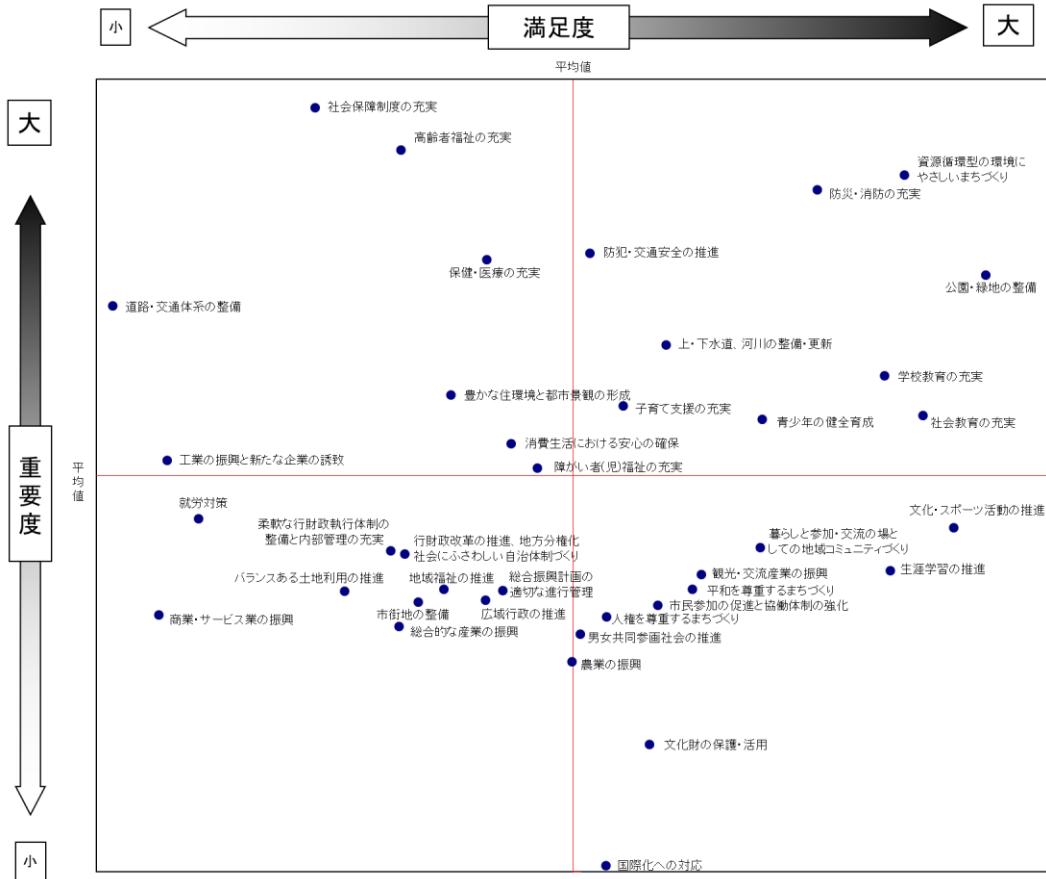
【40～49 歳】



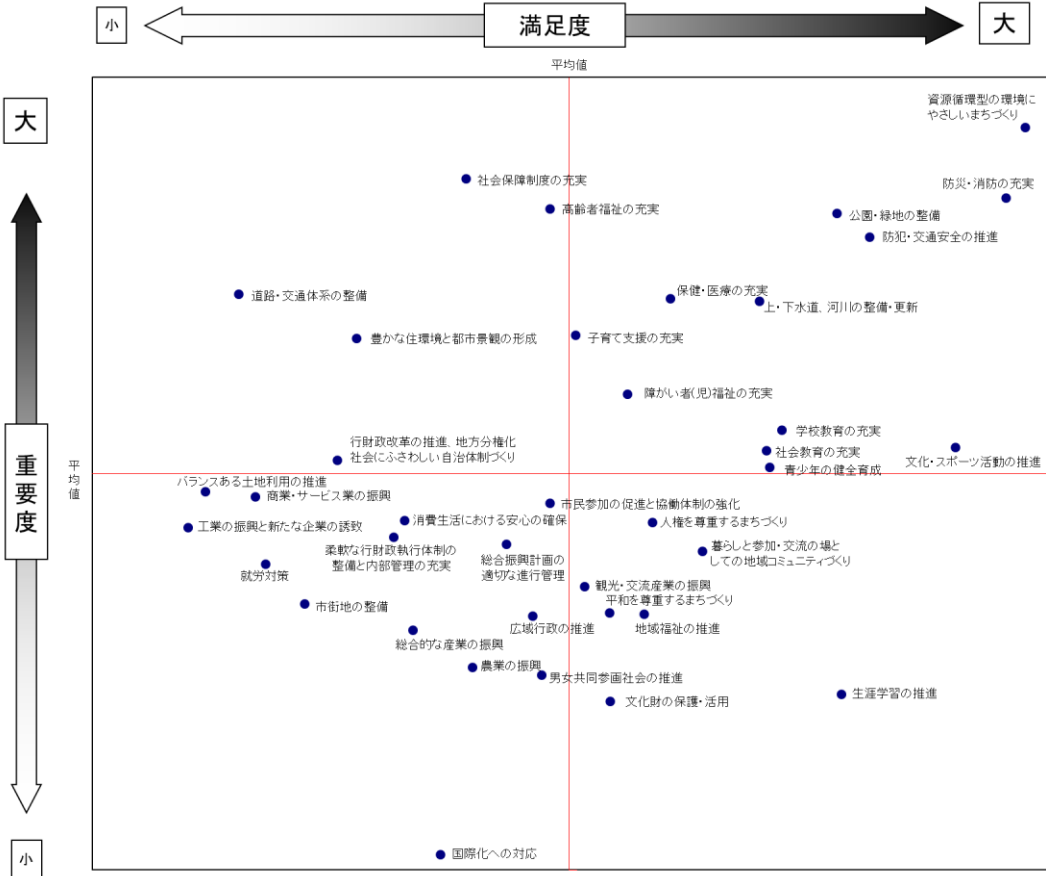
【50～59 歳】



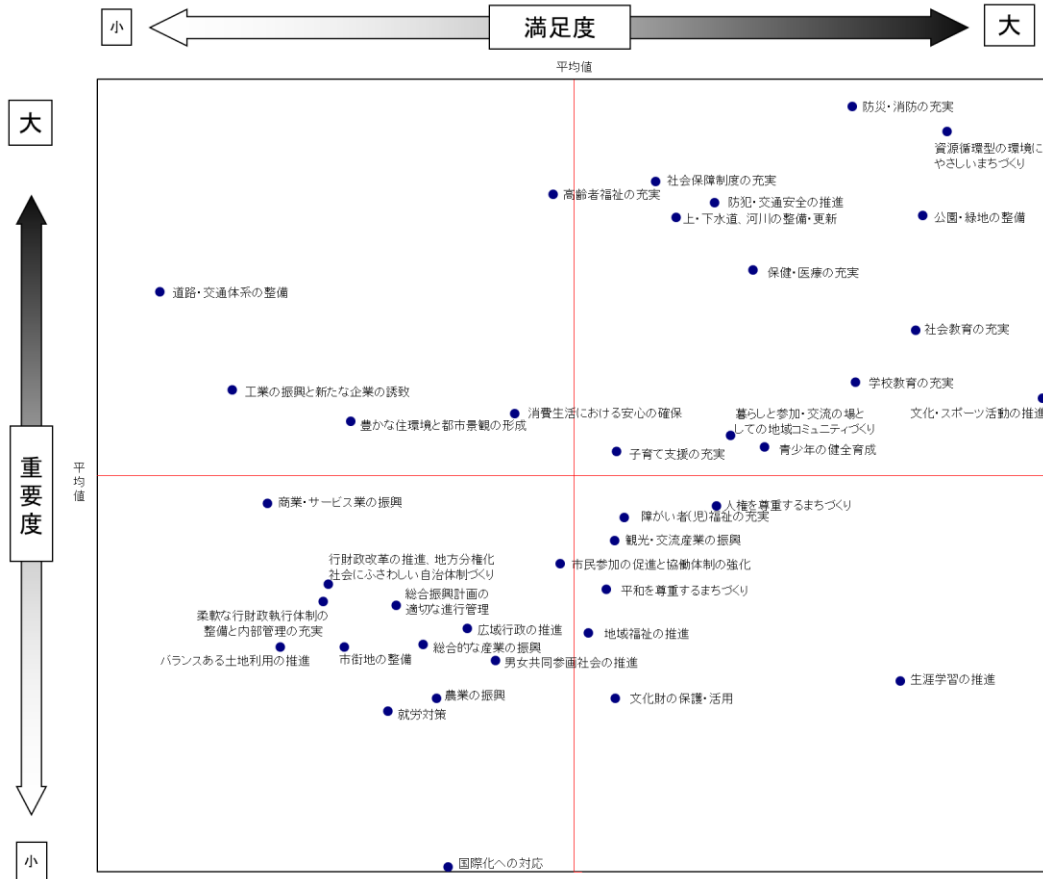
【60～64 歳】



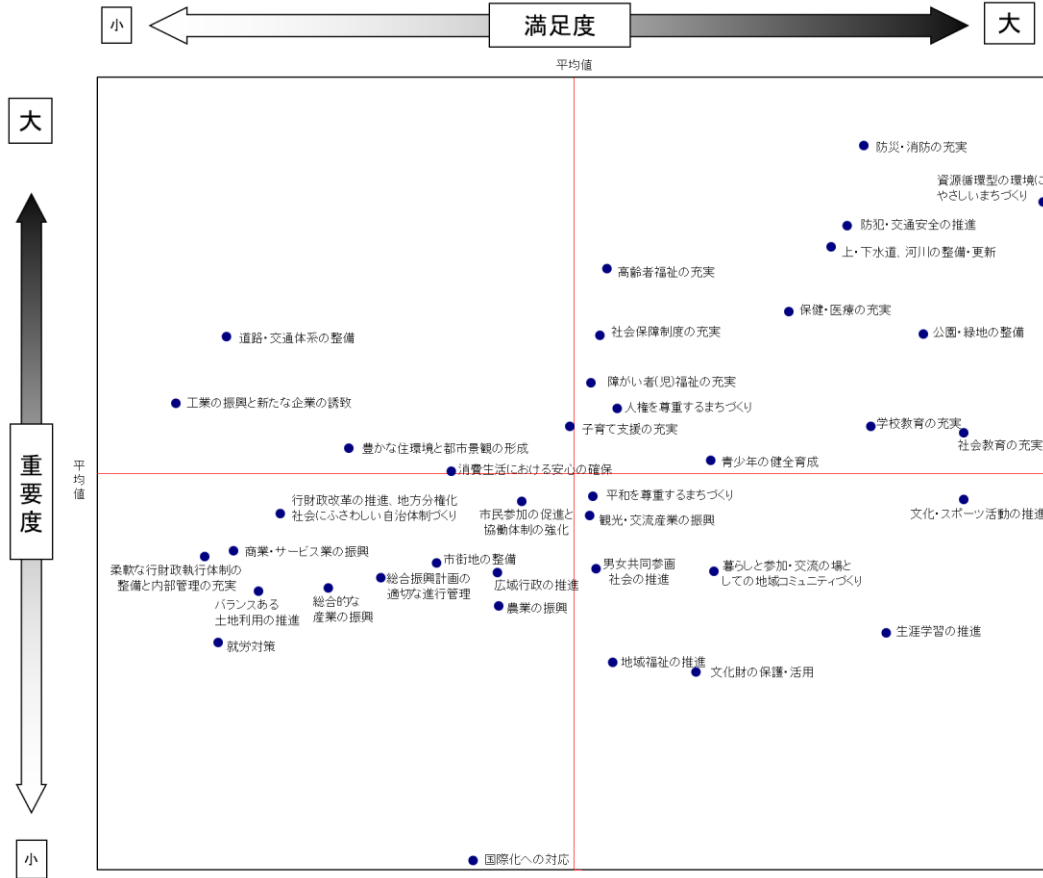
【65～69 歳】



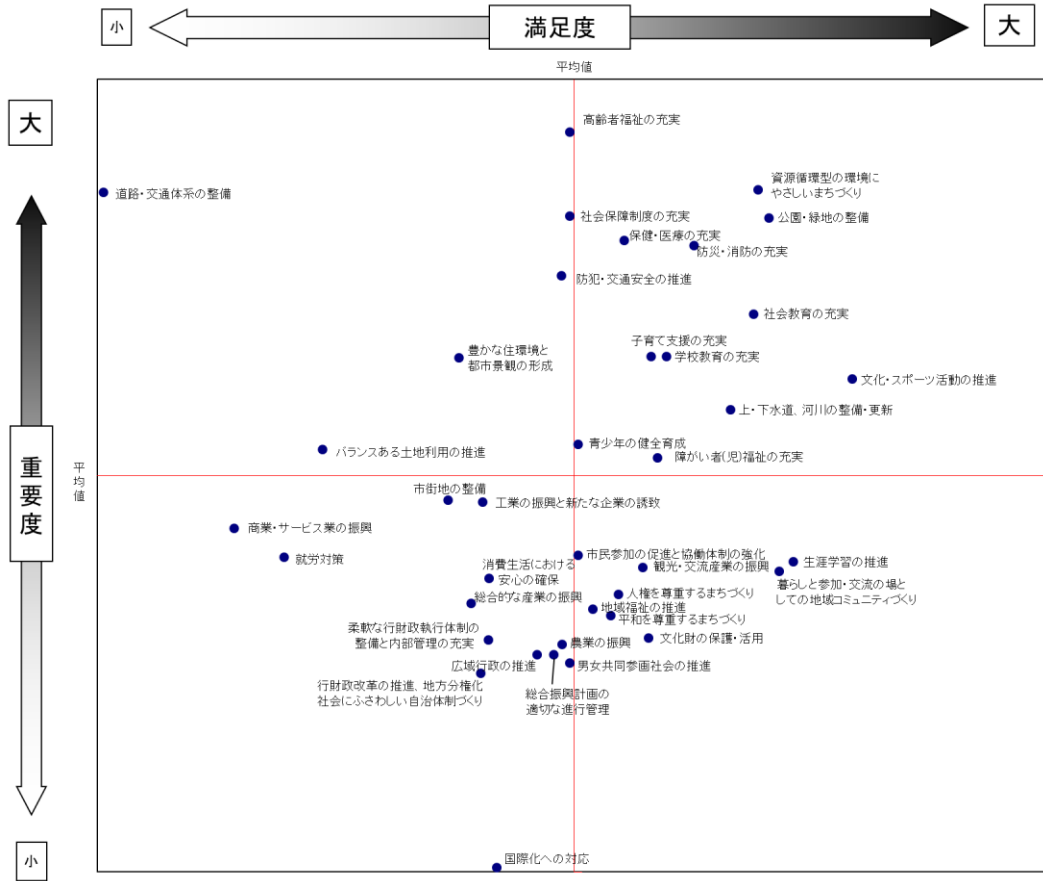
【70～74 歳】



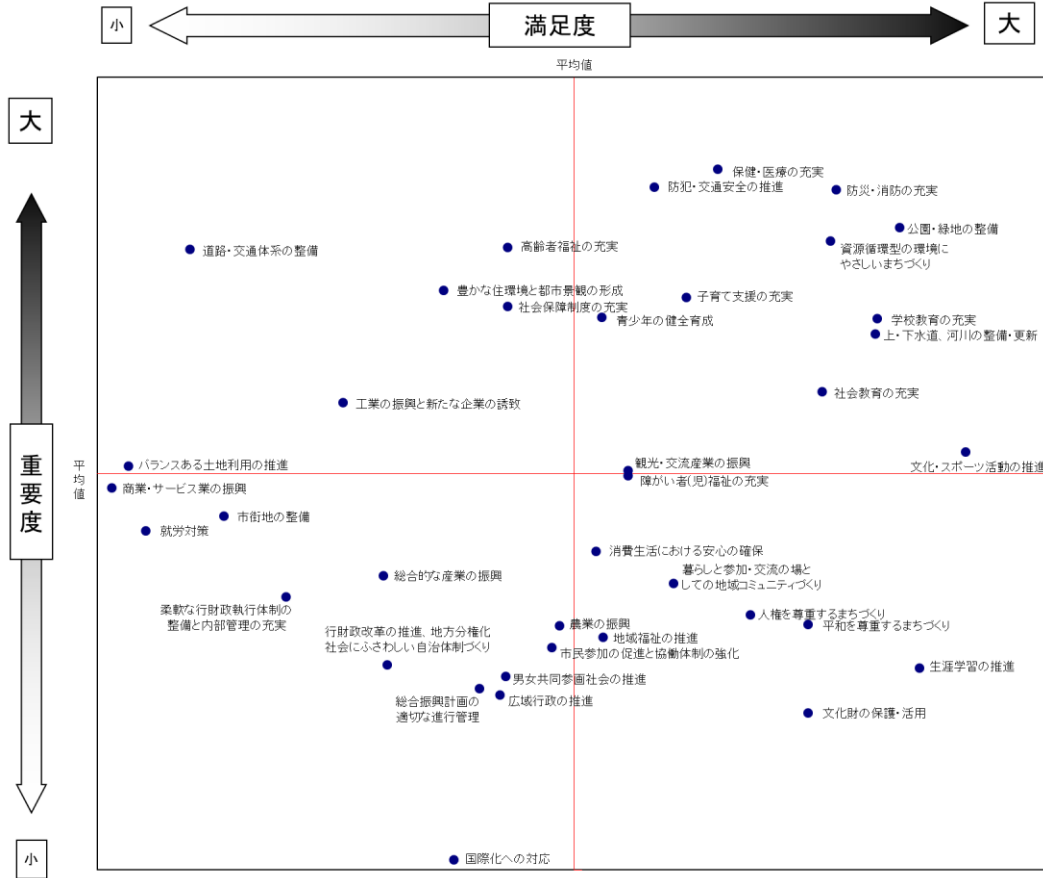
【75 歳以上】



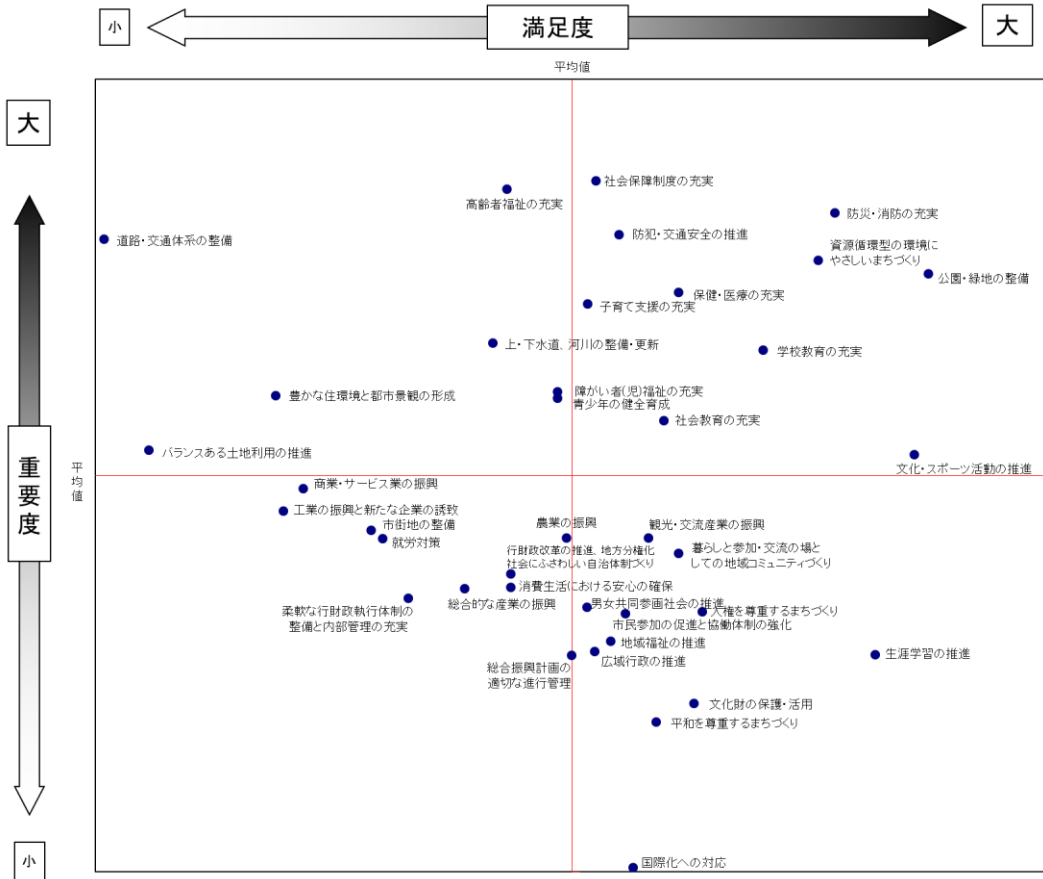
【中丸地域】



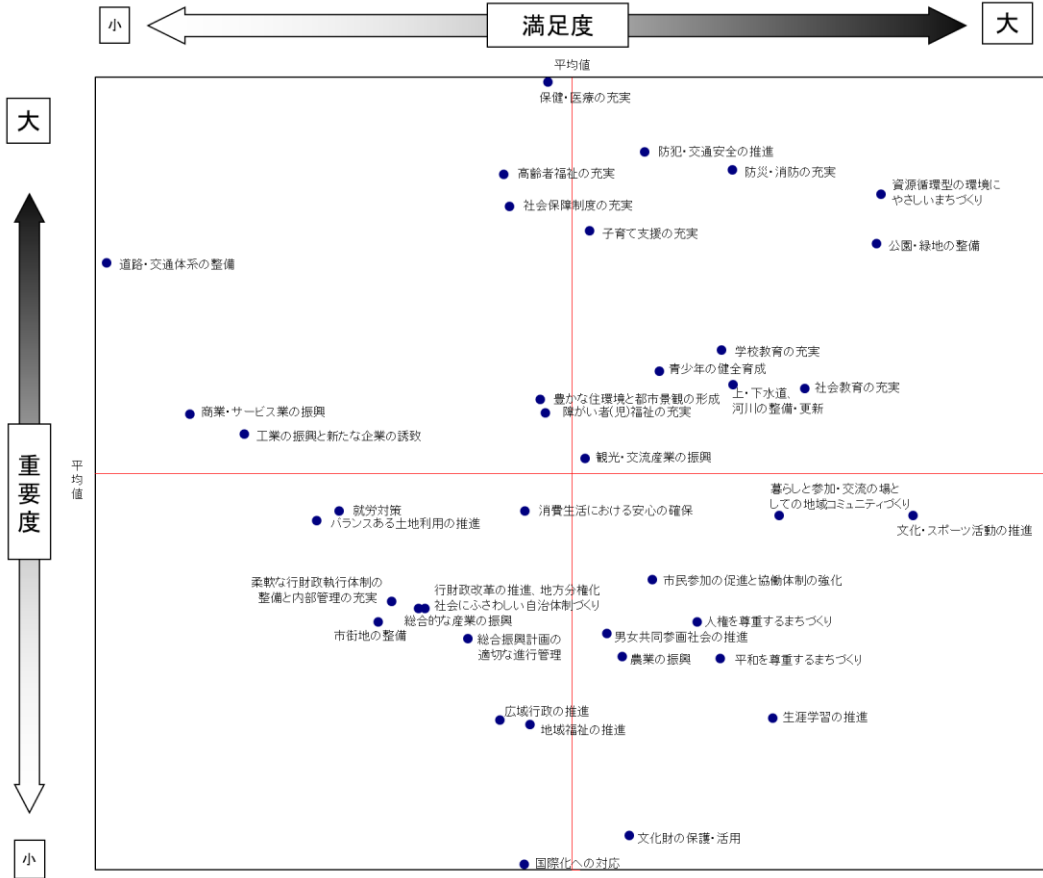
【中央地域】



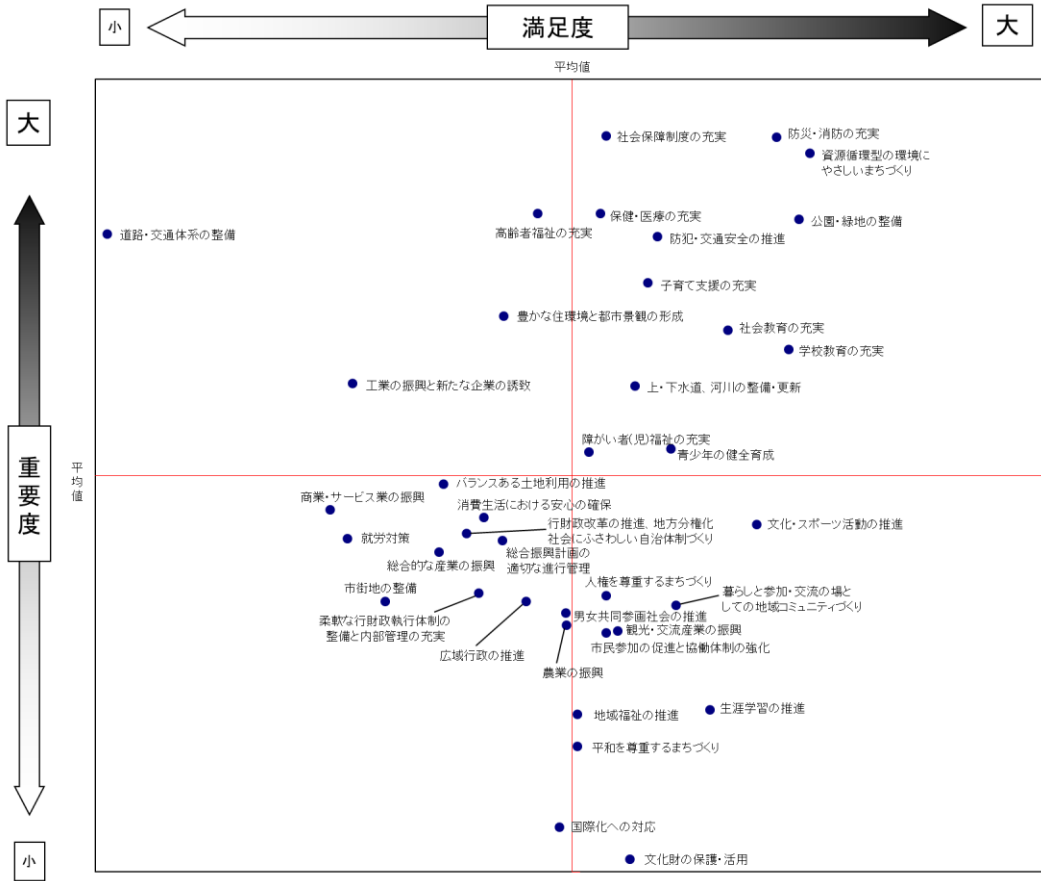
【東地域】



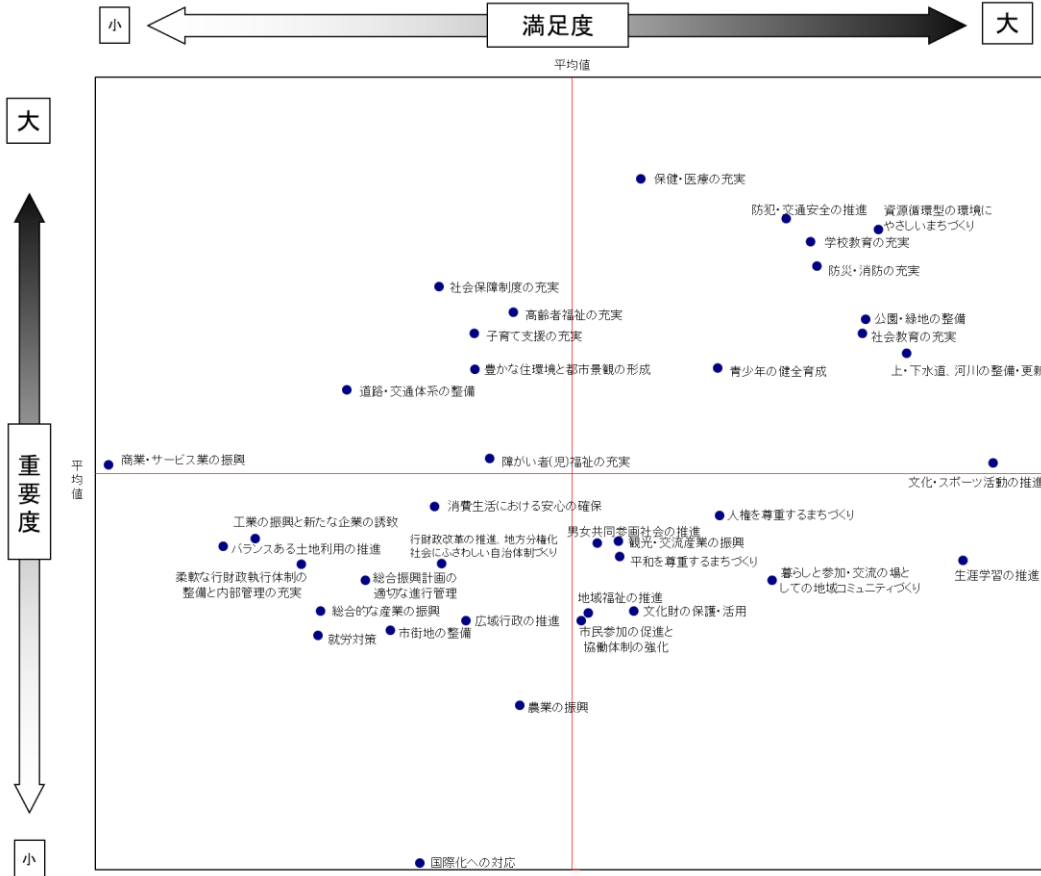
【東間深井地域】



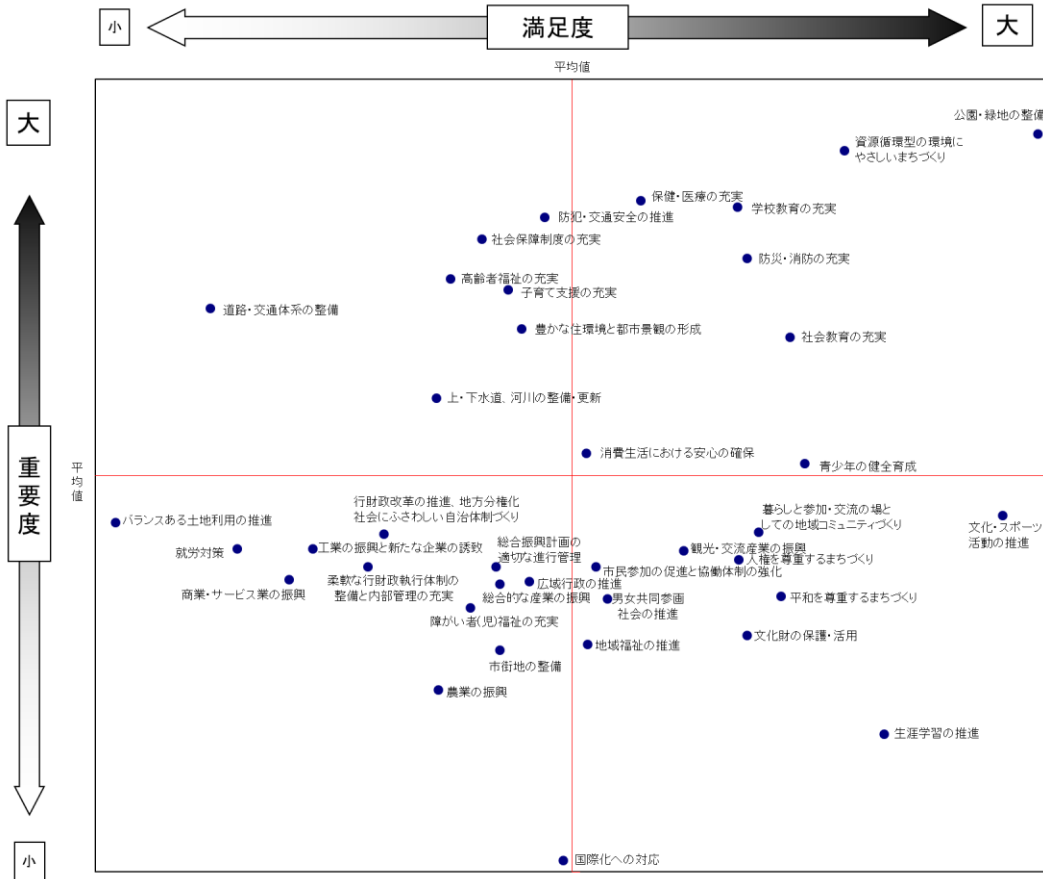
【南部地域】



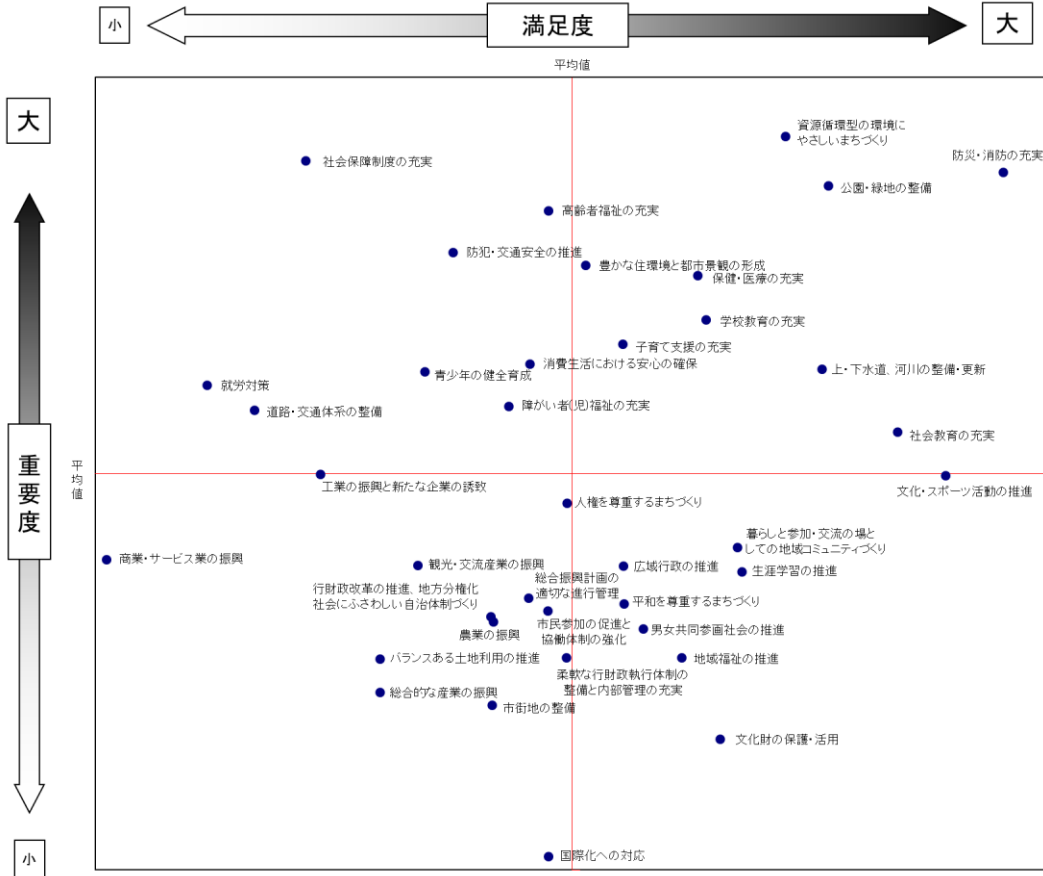
【本町西高尾地域】



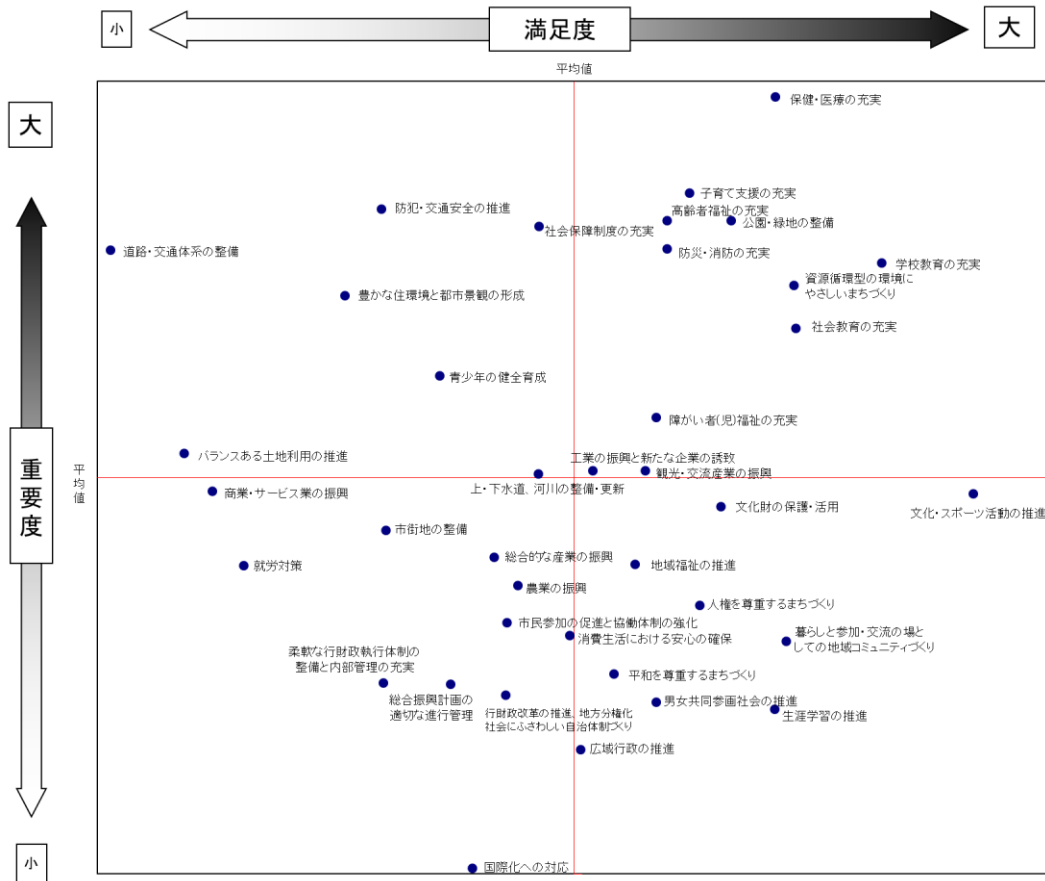
【西部地域】



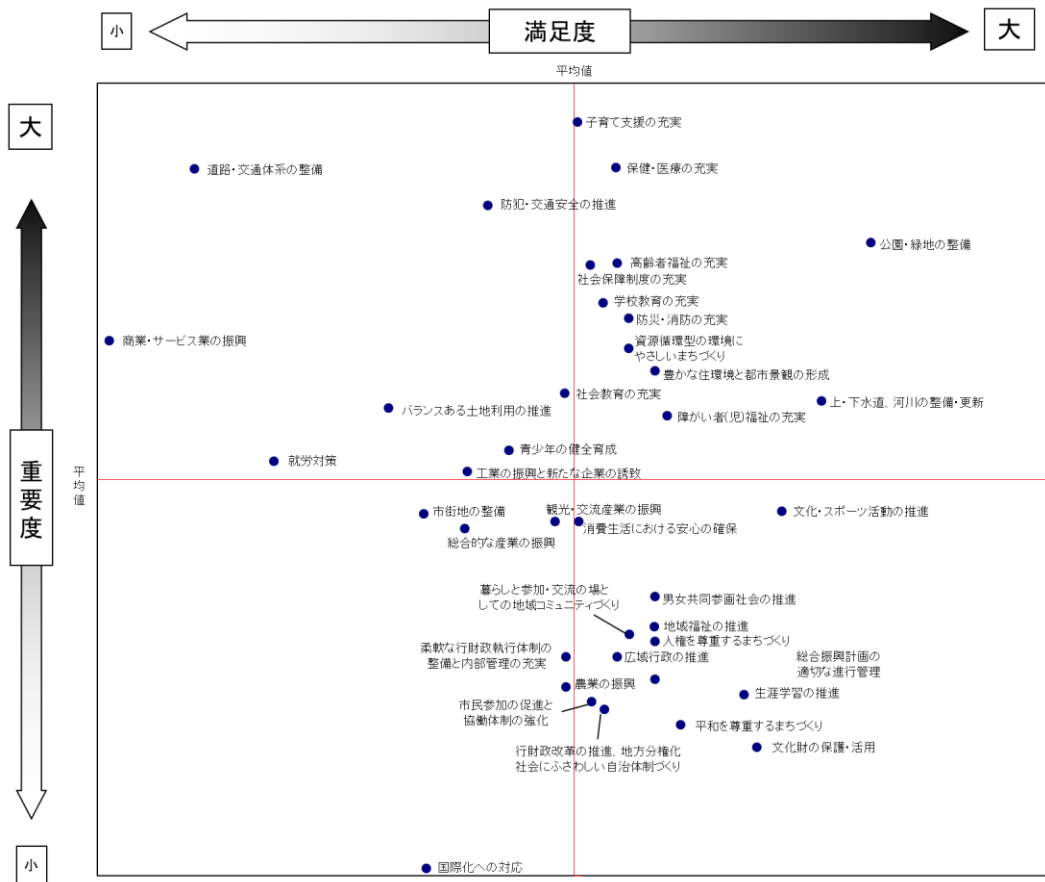
【公団地域】



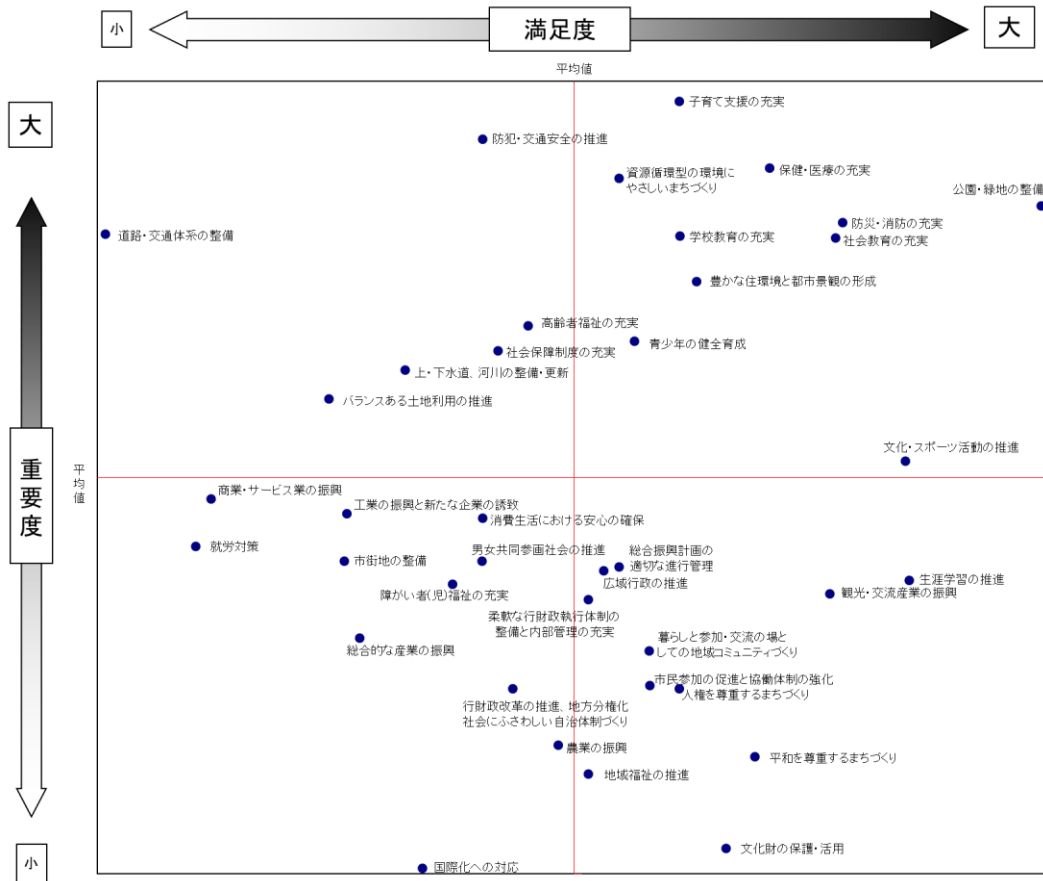
【生まれてからずっと】



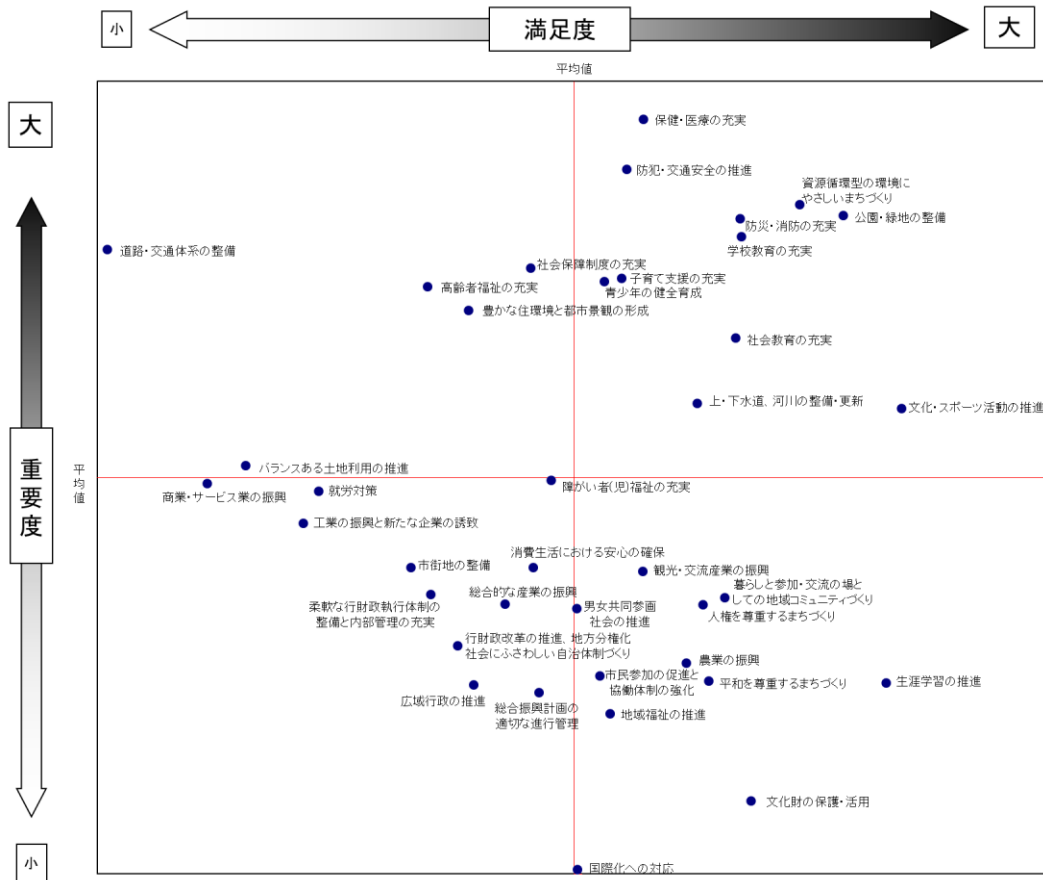
【住み始めて5年未満】



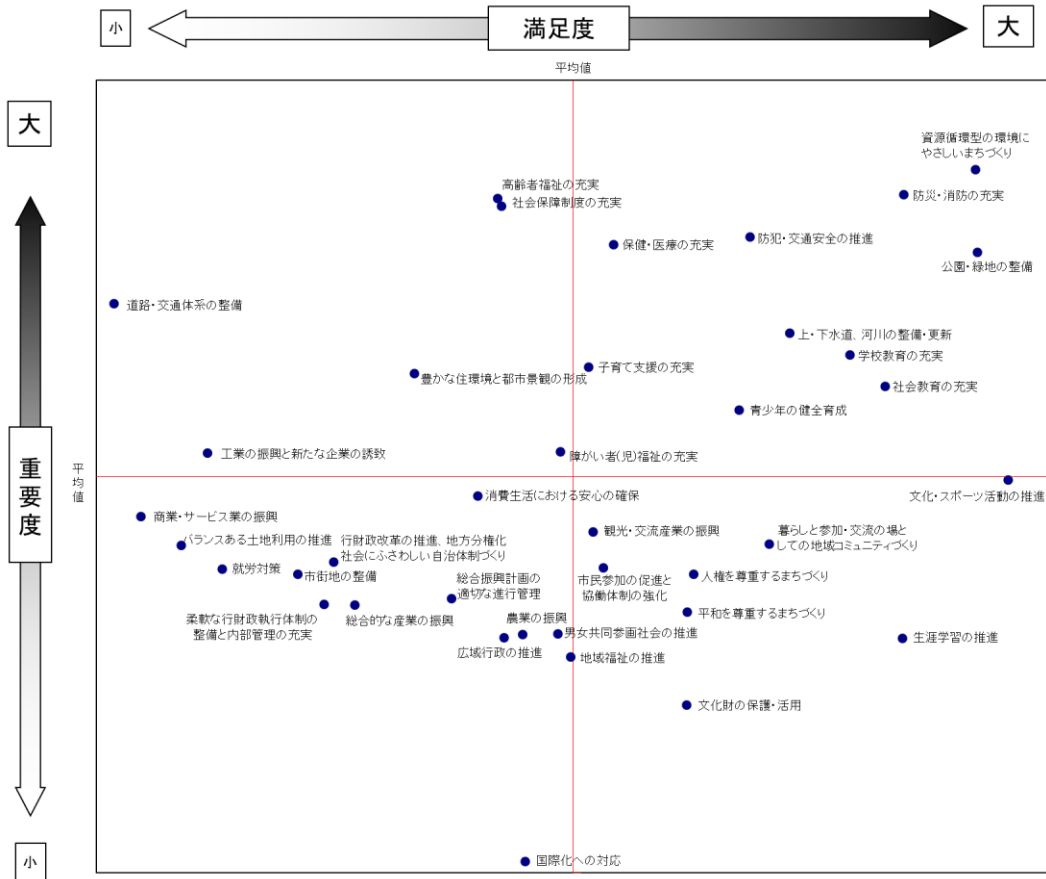
【住み始めて5年以上10年未満】



【住み始めて10年以上20年未満】



【住み始めて 20 年以上】



北本市 市民意識調査

～総合振興計画策定のための市民アンケート～

ご記入後は、返信用の封筒に
入れて、切手をはらず
10月23日(木)までに
ポストへ投函してください。



市民の皆様には、日ごろから市政運営に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび北本市では、現行の「第四次北本市総合振興計画」の計画期間が平成27年度で終了するため、北本市自治基本条例に基づき、新しい計画を策定することになりました。「第五次北本市総合振興計画」は、平成28年度から平成37年度の10年間を計画期間とするものです。

新しい計画の策定にあたり、市民の皆様が今後の市政運営について重要とお考えになっていることは何かを把握するために、本調査を実施いたします。総合振興計画は、今後の市政運営の方針を定める重要な計画ですので、ぜひ、調査への御協力をお願いいたします。

調査の実施にあたりましては、18歳以上の市民の皆様3,000人を住民基本台帳から無作為に選び、調査票をお送りしました。いただいた回答につきましては、無記名の上、統計的に処理をいたしますので、個々の回答内容や個人情報特定されることはありません。

お忙しいところたいへん恐縮ですが、調査の趣旨を御理解のうえ、率直な御意見をお聞かせください。北本市の今後のまちづくりに活かすため、市民の皆様御協力をいただければ幸いです。

平成26年9月

北本市長 石津賢治

記入にあたってのお願い

1. この調査票は、封筒の宛名の方が記入してください。
2. 宛名の方が記入することが難しい場合は、本人の意見を聞いて、代理の方が記入してもかまいません。
3. お答えは、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問ごとに「1つだけ」「3つまで」など回答の数が示されていますので、その数にしたがって○をつけてください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問の前の【 】内の説明をお読みください。

※返信用封筒に印刷されているバーコードは郵便局の仕分け業務に必要なもので、住所・氏名等を特定するものではありません。

★お問い合わせはこちらまで

北本市政策推進課 政策推進担当 電 話：048-594-5503（直通）

F A X：048-592-5997

I 参加と協働のまちづくりについて

問1 北本市の市政に対して関心はありますか。(1つだけ○印)

1	2	3	4
とても関心がある	少しは関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない
↓ 問 1-1 へ進んでください		↓ 問 1-2 へ進んでください	

【問1で「とても関心がある」「少しは関心がある」を選んだ方に伺います】

問1-1 あなたは、市政に意見、要望を伝えたい場合に、どのような手段を選びますか。
(3つまで○印)

1. 市の窓口で連絡する、直接職員に伝える
2. 市民の求めに応じて職員が地域に出向く出前講座制度を活用する
3. 「市長への手紙」を活用する
4. 「市民施策提案制度」や「協働事業提案制度」を活用する
5. 自治会、町内会などを通じてお願いする
6. 陳情や請願を活用する
7. その他 ()



【問1で「あまり関心がない」「まったく関心がない」を選んだ方に伺います】

問1-2 市政に関心がないのはなぜですか。(1つだけ○印)

1. 普段の生活上問題がないから
2. 行政にまかせているから
3. 近いうちに転居する予定だから(住み続けるつもりはないから)
4. 市民意向が反映されないと思うから
5. その他 ()

問2 市民の市政への関心を高めるためには、何が重要だと思いますか。(3つまで○印)

1. 広報きたもとの充実
2. 市ホームページの充実
3. 市ソーシャルメディア※(Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、LINE(ライン)、mixi(ミクシイ))の充実
4. 新聞・テレビでの市政情報の発信
5. 小中学校における地域に関する授業の充実
6. 市民の求めに応じて職員が地域に出向く出前講座の充実
7. 市民が意見を述べる機会(アンケート、ワークショップ、説明会等)の充実
8. その他 ()



※ソーシャルメディアとは、誰もが参加できる広範的な情報発信技術のこと。

問3 あなたは現在、どのような市民活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 自治会や地域コミュニティ委員会の活動
2. 福祉活動(高齢者・障がい者支援、子育ての支援など)
3. 保健・医療(食生活、健康増進、病院ボランティアなど)
4. 環境保全(公害、エネルギー、リサイクルなど)
5. 災害時の支援(被災者支援、救援物資の供給など)
6. 文化活動(書道・絵画・音楽・手芸などの指導など)
7. スポーツ全般(各種スポーツの指導なども含む)
8. 国際交流(留学生との交流・支援、通訳など)
9. その他()
10. 特に参加していない → 問3-1へ進んでください



)

【問3で「特に参加していない」を選んだ方に伺います】

問3-1 市民活動に参加していない理由は何ですか。(1つだけ○印)

1. 時間的余裕がないため
2. 精神的余裕がないため
3. 身近に活動できる場所がないため
4. 興味がある活動がないため
5. その他()

)

問4 住民参加型のまちづくりについて、あなたはどの程度満足していますか。

(それぞれの項目について1つだけ○印)

項目	満足度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
① 市民が主体的に参加・活動できる「協働」によるまちづくりについて	1	2	3	4	5
② 地域の交流拠点、活動拠点の整備について(コミュニティ活動にふさわしい施設の整備や管理)	1	2	3	4	5
③ 各種イベントやコミュニティ活動の活発さについて	1	2	3	4	5
④ 地域と行政との連携のための情報発信について(協働のまちづくりに向けた広報やホームページによる情報提供)	1	2	3	4	5
⑤ 市の名産品や各種イベントに関する情報発信について	1	2	3	4	5
⑥ 市政への市民の意見の反映について	1	2	3	4	5
⑦ 市民が市政に対する意見を述べる機会について	1	2	3	4	5
⑧ 市の情報公開について	1	2	3	4	5

Ⅱ 市政の情報収集について

問5 あなたは、市の情報を何から入手していますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------|---|
| 1. 広報きたもと | 6. 市ホームページ |
| 2. 市勢要覧 | 7. 市モバイル(携帯)サイト |
| 3. 議会だより | 8. 市ソーシャルメディア(Twitter、Facebook、LINE、mixi) |
| 4. チラシ・ポスター | 9. 情報公開制度 |
| 5. 新聞・テレビ | 10. その他() |

問6 あなたは、以下の機器をどのくらい利用していますか。

(それぞれの項目について1つだけ○印)

項目 \ 回答	ほぼ毎日	週に1回以上	月に数回	ほとんど使わない	機器を持っていない
① パソコン	1	2	3	4	5
② タブレット端末 (携帯型パソコン)	1	2	3	4	5
③ スマートフォン (多機能携帯電話)	1	2	3	4	5
④ 携帯電話	1	2	3	4	5



問7 あなたは、各種ソーシャルメディアをどのくらい利用していますか。

(それぞれの項目について1つだけ○印)

項目 \ 回答	ほぼ毎日	週に1回以上	月に数回	月に1回以下	使わない
① Twitter (ツイッター)	1	2	3	4	5
② Facebook (フェイスブック)	1	2	3	4	5
③ LINE(ライン)	1	2	3	4	5
④ mixi(ミクシイ)	1	2	3	4	5
⑤ その他 ()	1	2	3	4	5



Ⅲ 現在の住みやすさと今後の人口減少について

問 8 北本市の住みやすさについてどのように感じていますか。(1つだけ○印)

1 住みよい	2 まあ住みよい	3 どちらともいえない	4 やや住みにくい	5 住みにくい
-----------	-------------	----------------	--------------	------------

問 9 あなたは今後も北本市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○印)

1 これからも(可能な限り) 住み続けたい	2 どちらともいえない	3 できれば他市町村に移りたい
-----------------------------	----------------	--------------------

問 10 国の各種調査によると、北本市の人口は今後 30 年間で、約 2 万人減少し 5 万人前後になるといわれています。また、日本創生会議の推計では、5 万人を下回るだけでなく、市内の 20～39 歳の女性が半以下になるため、人口維持が困難とされる「消滅可能性自治体」に埼玉県内 40 市のうち 6 市が該当し、北本市も含まれています。これらの人口推計結果について、あなたはどう感じますか。

(1つだけ○印)

2010 年

68,888 人



2030 年

48,644 人 (日本創生会議 推計)

51,083 人 (国立社会保障・人口問題研究所 推計)

1. さいたま市や都心部等への人口流出が加速し、もっと早く人口減少が進むと思われる
2. おおむね人口推計どおりになると思われる
3. 人口は減少傾向になるが、もう少しゆるやかに減っていくと思われる
4. 北本市近隣の方の転入等も考えられ、大きくは減らないと思われる
5. 北本市には発展・活性化の余地があり、人口の維持・増加の可能性はある

【参考】日本創生会議・人口減少問題検討分科会（座長：増田寛也氏）による人口推計

◆将来にわたって人口を維持することが困難な「消滅可能性自治体」を算定

全国 1741 市町村のうち 896 自治体が消滅可能性あり・・・全国市町村の約半分 (51.5%)

◆埼玉県内で消滅可能性がある市（町村除く）

自治体名	20～39歳の女性人口変化率 (2010-2040 の 30 年間)
幸手市	▲ 6 2 . 7 %
行田市	▲ 5 6 . 2 %
北本市	▲ 5 5 . 0 %
三郷市	▲ 5 4 . 9 %
飯能市	▲ 5 2 . 3 %
秩父市	▲ 5 1 . 3 %

【参考】2010年からの30年間における
20～39歳の女性人口変化率の
近隣市の状況

さいたま市 (▲ 2 2 . 7 %)
上尾市 (▲ 3 2 . 2 %)
桶川市 (▲ 3 4 . 3 %)
鴻巣市 (▲ 4 2 . 4 %)

問 11 前問の【参考】に示した人口減少問題検討分科会の人口推計結果を踏まえて、住みよい北本市とするために、今後どのようなことが必要だと思いますか。(5つまで○印)

1. 出産・子育て支援の充実
2. 学校教育の環境や内容の充実
3. 高齢者福祉サービスの充実
4. 地域の医療体制の充実
5. 健康づくりの充実
6. こども医療・母子保健の充実
7. 防災・防犯対策の充実
8. 地域活動の活性化による市民同士の交流
9. 転入を促進する補助制度（家賃補助、住宅購入支援等）の充実
10. 転入促進に向けた北本市のPR（シティセールス）の充実
11. 道路・公園の充実
12. バス等の公共交通の充実
13. 住宅地の供給促進
14. 新駅の設置（民間の負担）
15. 工場や企業等の誘致による雇用創出
16. 大規模商業施設の誘致
17. 観光等によるにぎわいの創出
18. 環境にやさしいまちづくりの推進
19. 行政改革の推進による財政の健全性の確保
20. 人口規模にあわせた公共施設の再編・統廃合
21. 市単独の財源で行っている市民サービス（各種事業、補助）の見直し
22. 受益者負担（手数料等）の適正化
23. その他（ ）

問 12 北本市のこれからのまちづくりの姿（都市像）を考えるとときに思い浮かぶ単語やキーワードは何ですか。(3つまで記入してください)



例) 明るい、安心、落ち着いた、子どもたちが輝く、発展、静かな・・・等		
1	2	3

Ⅳ 環境、健康、安全安心に関する意識・行動について

問 13 あなたは環境保護に関する問題に関心がありますか。(1つだけ○印)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. やや関心がある | 4. 関心がない |

問 14 環境保護のためにご家庭で取り組んでいることについて伺います。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. ゴミ分別を徹底し、資源ゴミ回収に協力する | 
 |
| 2. 買い物の時、レジ袋をもらわない | |
| 3. 照明や家電の電源をこまめに切る | |
| 4. 冷暖房の適切な温度設定に努める | |
| 5. 風呂の残り水を再利用する | |
| 6. 環境負荷の少ない商品やリサイクル品を買う | |
| 7. マイカー利用を控え、公共交通機関を利用する | |
| 8. 省エネルギー型家電を優先的に購入する | |
| 9. 環境性能に優れた自動車を優先的に購入する | |
| 10. 太陽熱温水器、太陽電池パネル、家庭用燃料電池などを設置する | |
| 11. 環境保護活動に積極的に参加する | |
| 12. その他 () | |

問 15 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(1つだけ○印)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 健康である | 3. あまり健康でない |
| 2. どちらかといえば健康である | 4. 健康でない |


問 16 あなたは定期的に健康診査を受けていますか。(1つだけ○印)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 定期的に(1~2年に1度)受診している | 3. 健康診査を受診したことはない |
| 2. 近年、健康診査を受診していない | |

問 17 特定健康診査・特定保健指導について知っていますか。(1つだけ○印)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 対象者等内容も含めて知っている | 3. 聞いたことがない |
| 2. 聞いたことはあるが内容は知らない | |

問 18 あなたが健康づくりのために気をつけていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. 1日3食、規則的に食事をする | 9. たばこを吸わない |
| 2. 脂肪や塩分の取りすぎに注意している | 10. 虫歯や歯周病予防に注意している |
| 3. 栄養のバランスに気を配っている | 11. 健康診査やがん検診等を定期的に受診している |
| 4. 野菜を十分にとるようにしている | 12. その他 () |
| 5. 週に1回以上、運動している | |
| 6. ウォーキングや階段の使用など日常生活において身体を動かすようにしている | |
| 7. 睡眠や休養を十分にとっている | |
| 8. アルコールはなるべく摂取しないようにしている | |
- 

問 19 防犯のためにご家庭で取り組んでいることについて伺います。(あてはまるものすべてに○印)

1. e防メールへの配信登録
2. 自転車への二重ロック(2つ以上の施錠)
3. 警備会社のホームセキュリティサービス
4. 門灯、外灯などの照明設備の整備
5. 防犯グッズ(防犯ブザー、ひったくり防止ネット)の携帯
6. 窓ガラス等を防犯ガラスとしたり、防犯フィルムを貼っている
7. 地域の防犯パトロールへの参加
8. その他()
9. 特に対策をとっていない



問 20 防災のためにご家庭で取り組んでいることについて伺います。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 避難場所の確認 | 7. ブロック塀などの補強 |
| 2. 家族との連絡方法、集合場所の確認 | 8. 防災訓練などへの参加 |
| 3. 携帯ラジオ、懐中電灯、衣類などの準備 | 9. 消火器など消火器具の準備 |
| 4. 非常用食料、飲料水の備蓄 | 10. その他() |
| 5. 貴重品など、持ち出し品の準備 | 11. 特に準備をしていない |
| 6. 家具類の転倒防止 | |



V 北本市の都市基盤、市街地整備、活性化について

問 21 北本駅周辺の交通や施設について、あなたはどの程度満足していますか。

(それぞれの項目について1つだけ○印)

項目	満足度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
① 市の玄関口でもある北本駅周辺の、魅力あるまちとしての整備状況について	1	2	3	4	5
② 駅周辺の歩行者や自転車、車などの交通利便性について	1	2	3	4	5
③ 駅周辺の施設のユニバーサルデザイン(※)、バリアフリーの対応について(案内のわかりやすさ、施設の使いやすさなど)	1	2	3	4	5
④ 北本市の顔(シンボル)としての駅前や駅前通りの景観について	1	2	3	4	5
⑤ 人の賑わいについて(商業や観光など)	1	2	3	4	5

※ユニバーサルデザイン(Universal Design)とは、文化・言語の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいいます。

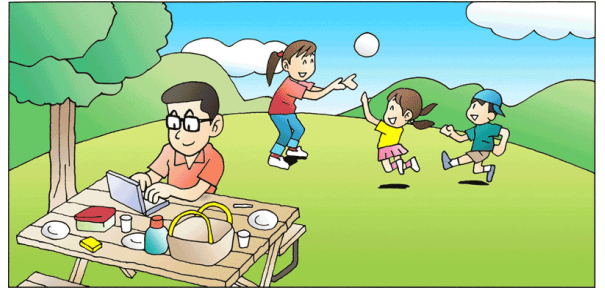
VI 北本市の施策について

問 22 市が取り組んでいる以下の施策項目についての「重要度」と「満足度」について伺います。

それぞれの施策についてどの程度**重視**しているか、あてはまる番号に**1つだけ**○印をつけてください。

それぞれの施策についてどの程度**満足**しているか、あてはまる番号に**1つだけ**○印をつけてください。

項目(施策)	重要度					→	満足度				
	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
1. 生涯学習の推進 生涯学習関連の推進体制の充実、生涯学習機会の充実、学習団体の育成・支援等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
2. 学校教育の充実 幼児教育の振興、児童生徒の学習環境の整備、教育内容の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
3. 青少年の健全育成 非行防止パトロール等の推進、地域における青少年自然体験活動などの支援等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
4. 社会教育の充実 公民館・図書館などの社会教育施設の充実、社会教育関係団体の育成等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
5. 文化・スポーツ活動の推進 芸術・文化・スポーツ施設の充実、スポーツ大会・教室の開催等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
6. 文化財の保護・活用 文化財の保存・管理、郷土芸能の保存と後継者の育成	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
7. 地域福祉の推進 福祉関係団体、NPO等の育成・強化等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
8. 保健・医療の充実 健康づくり事業の充実、生活習慣病の予防推進、地域医療体制の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
9. 子育て支援の充実 子育てを支援する生活環境の整備、保育サービスの充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
10. 高齢者福祉の充実 高齢者に対応する保健・医療・福祉・介護サービスの充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
11. 障がい者(児)福祉の充実 障がい者(児)の在宅福祉・施設福祉サービスの充実、社会参加の促進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
12. 社会保障制度の充実 国民健康保険制度・介護保険制度等の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5



項目(施策)	重要度						満足度				
	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
13. バランスある土地利用の推進 住宅地、商業・業務地等の計画的な土地利用の推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
14. 豊かな住環境と都市景観の形成 緑豊かな住環境形成、美しい街並形成の推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
15. 資源循環型の環境にやさしいまちづくり 自然環境の保全、ごみの減量化・再資源化の推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
16. 公園・緑地の整備 都市公園の整備、緑地の保全、桜の育成管理等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
17. 市街地の整備 土地区画整理事業の推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
18. 道路・交通体系の整備 生活道路・幹線道路の整備、公共交通の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
19. 上・下水道、河川の整備・更新 上・下水道の整備・更新等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
20. 防犯・交通安全の推進 防犯体制の充実、交通安全指導の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
21. 防災・消防の充実 防災基盤の整備、防災体制の強化、防災活動の充実、消防 力・救急業務の強化等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
22. 総合的な産業の振興 産業関係組織の強化支援と産業間の連携強化等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
23. 農業の振興 農業生産基盤の整備、農業組織の育成等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
24. 商業・サービス業の振興 魅力ある商業の推進、起業支援等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
25. 工業の振興と新たな企業の誘致 企業立地の促進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5



項目(施策)	重要度					→	満足度				
	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
26. 観光・交流産業の振興 自然環境や歴史資産の活用、特産品の開発支援、市民参加型のイベントの開催、市のイメージアップの推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
27. 就労対策 就労機会の充実、労働相談の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
28. 暮らしと参加・交流の場としての地域コミュニティづくり コミュニティ活動の支援、セーフコミュニティの推進、集会施設の整備等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
29. 平和を尊重するまちづくり 平和啓発事業の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
30. 人権を尊重するまちづくり 人権教育の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
31. 男女共同参画社会の推進 啓発事業の推進、仕事と家庭生活の両立支援等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
32. 国際化への対応 交流機会の提供、外国人が暮らしやすい環境整備等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
33. 消費生活における安心の確保 情報の提供、相談苦情処理体制の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
34. 市民参加の促進と協働体制の強化 市民参加体制の充実、情報公開の推進、個人情報保護の強化、市民と行政の協働によるまちづくり等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
35. 行財政改革の推進、地方分権化社会にふさわしい自治体制づくり 行政運営の効率化、権限移譲の推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
36. 柔軟な行財政執行体制の整備と内部管理の充実 人事管理の充実、計画的な財政運営の推進、財源の確保、電子自治体の推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
37. 広域行政の推進 広域処理業務の拡大、公共施設相互利用制度の充実等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
38. 総合振興計画の適切な進行管理 適切な進行管理による計画的な行財政運営の推進等	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
市の行政施策に対する総合評価						→	1	2	3	4	5

あなたご自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つだけ○印)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つだけ○印)

1 18歳～19歳	2 20歳～29歳	3 30歳～39歳	4 40歳～49歳	5 50歳～59歳
6 60歳～64歳	7 65歳～69歳	8 70歳～74歳	9 75歳以上	

F 3 あなたの職業をお答えください。(1つだけ○印)

1 自営業	2 会社員	3 公務員・団体等職員	4 アルバイト、パートタイム
5 専業主婦(主夫)	6 学生	7 無職	8 その他()

F 4 あなたの就学先・勤務先をお答えください。(1つだけ○印)

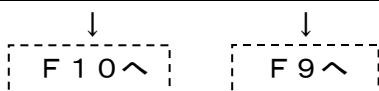
1 北本市内	2 さいたま市内	3 桶川市内	4 鴻巣市内
5 その他の埼玉県内	6 東京都内	7 埼玉県・東京都以外	8 就学・勤務していない

F 5 あなたの北本市での居住年数をお答えください。(1つだけ○印)

1 生まれてから ずっと	2 住み始めて 5年未満	3 住み始めて5年以上 10年未満	4 住み始めて10年以上 20年未満	5 住み始めて 20年以上
--------------------	--------------------	-------------------------	--------------------------	---------------------

F 6 あなたの(同居している)家族構成をお答えください。(1つだけ○印)

1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ	3 親と子(2世代世帯)	4 親と子と孫(3世代世帯)	5 その他
-------------	-----------	-----------------	-------------------	----------



F 7 (F 6で「3」、「4」、「5」と回答した方のみお答えください)

あなたは現在、18歳未満のお子さんの子育てをしていますか。(1つだけ○印)

1. 子育てをしている	2. 子育てをしていない
-------------	--------------



F 8 (F 7で「1. 子育てをしている」と回答した方のみお答えください)

18歳未満のお子さんの中で一番上のお子さんは、次のどの年齢層に該当しますか。(1つだけ○印)

1 就学前	2 小学生	3 中学生	4 高校生以上
----------	----------	----------	------------

F 9 (F 6で「2」、「3」、「4」、「5」と回答した方のみお答えください)

同居のご家族に介護の必要な方はいますか。(1つだけ○印)

1. いる	2. いない
-------	--------

F 10 あなたの居住地域(コミュニティ)をお答えください。(1つだけ○印)

<ol style="list-style-type: none">1. 中丸地域(中丸1~9丁目、東3・4)2. 中央地域(中央1~4丁目、北本1~4丁目、本宿1~8丁目、緑1~2丁目、東5・22)3. 東地域(山中1~2丁目、東7~11・19、ワコーレ、アトレ、宮内1~3丁目)4. 東間深井地域(東間1~8丁目、深井第1~3、サンマンション、スカイハイツ)5. 南部地域(ニツ家1~4丁目、ニツ家団地、ハイデンス、マリオン、南団地、京王、三菱、西2、東原団地、台原)6. 本町西高尾地域(本町1~8丁目、西高尾1~8丁目)7. 西部地域(西3~20、チサン第3、ハイムタウン、北里、アースドリーム)8. 公園地域(北本団地、グリーンハイツ)9. 地域がわからない場合は、「○○△丁目」や「大字○○」などにご記入ください。 ()

◎市の行政やまちづくりについてご意見やご要望がありましたら、下欄に自由にご記入ください。

--

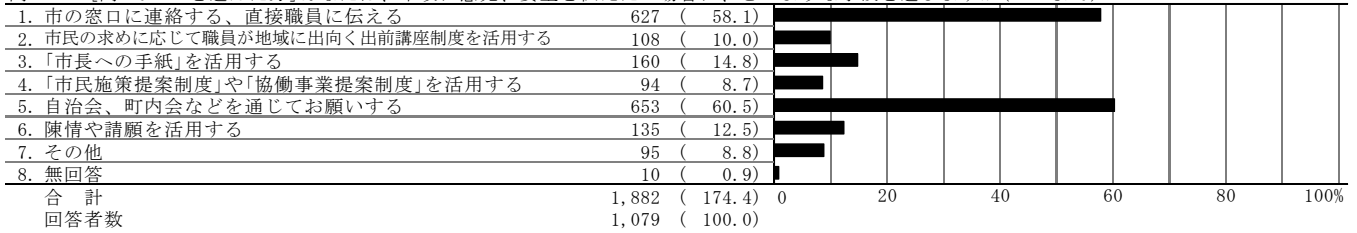
～これで質問はすべて終了です。ご協力ありがとうございました～

本票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、
10月23日（木）までにご返送ください。

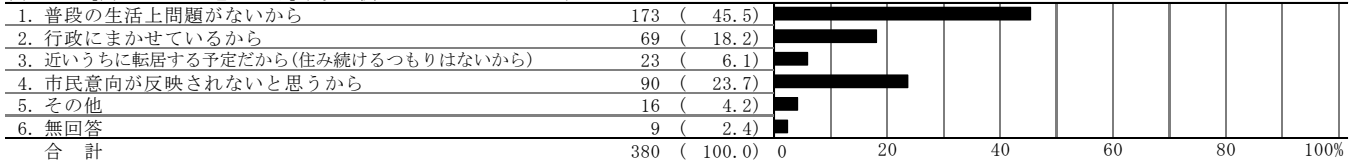
【参考資料4】市民意識調査本文中に記載のない設問の単純集計結果

北本市 市民意識調査

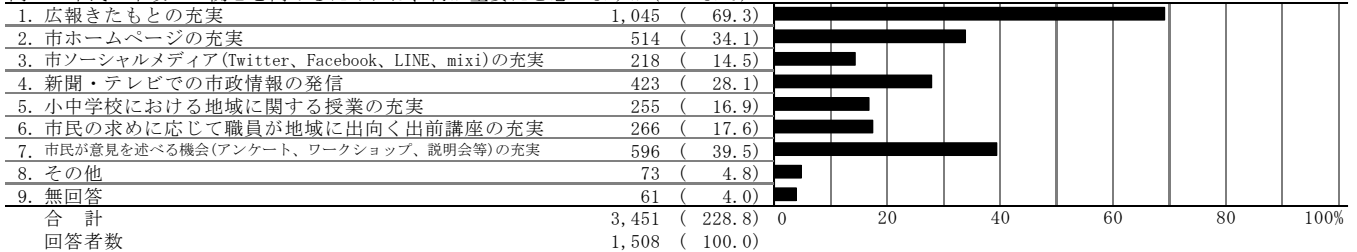
問1-1 [問1で1~2を選んだ方]あなたは、市政に意見、要望を伝えたい場合に、どのような手段を選びますか(3つまで)



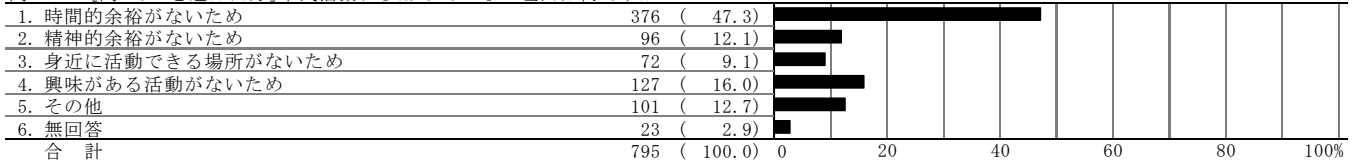
問1-2 [問1で3~4を選んだ方]市政に関心がないのはなぜですか



問2 市民の市政への関心を高めるためには、何が重要だと思いますか(3つまで)

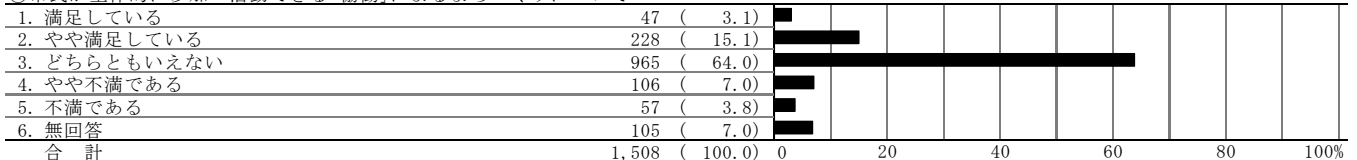


問3-1 [問3で10を選んだ方]市民活動に参加していない理由は何ですか



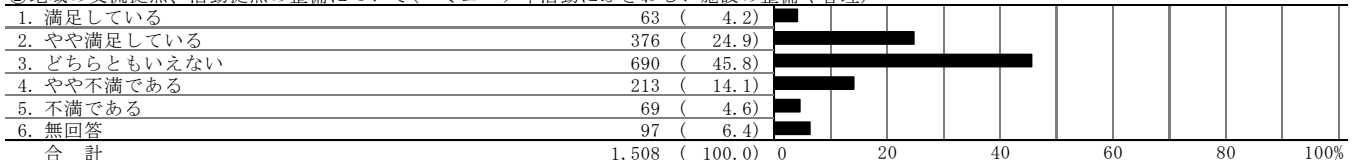
問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

①市民が主体的に参加・活動できる「協働」によるまちづくりについて



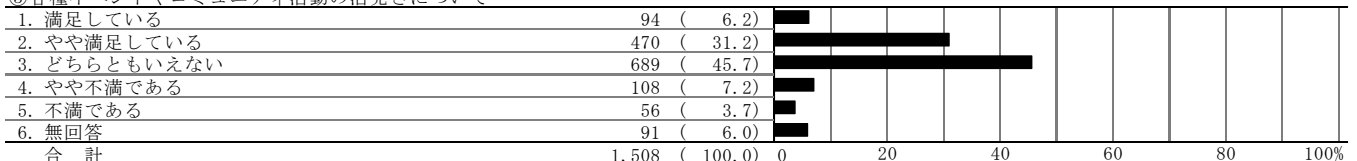
問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

②地域の交流拠点、活動拠点の整備について(コミュニティ活動にふさわしい施設の整備や管理)



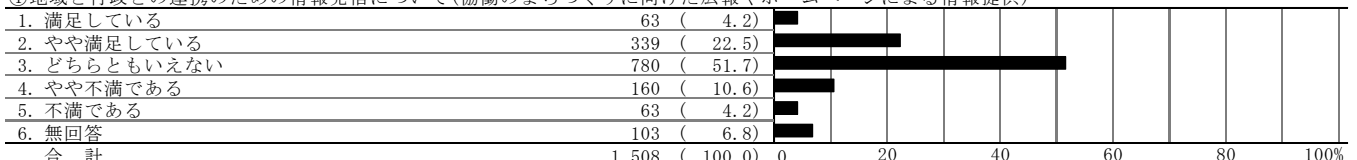
問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

③各種イベントやコミュニティ活動の活発さについて



問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

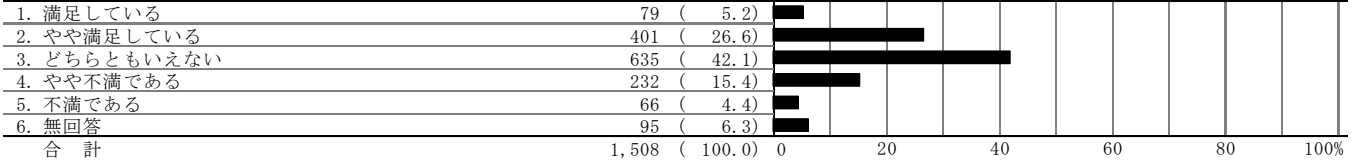
④地域と行政との連携のための情報発信について(協働のまちづくりに向けた広報やホームページによる情報提供)



北本市 市民意識調査

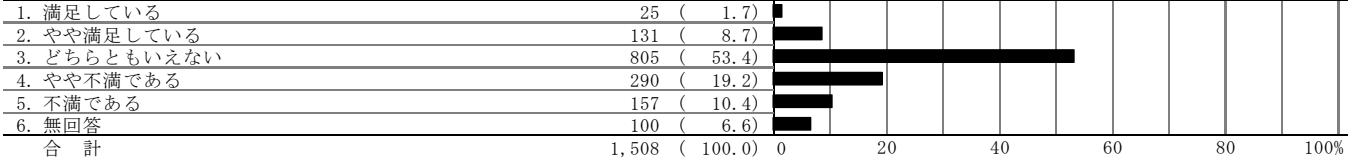
問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

⑤市の名産品や各種イベントに関する情報発信について



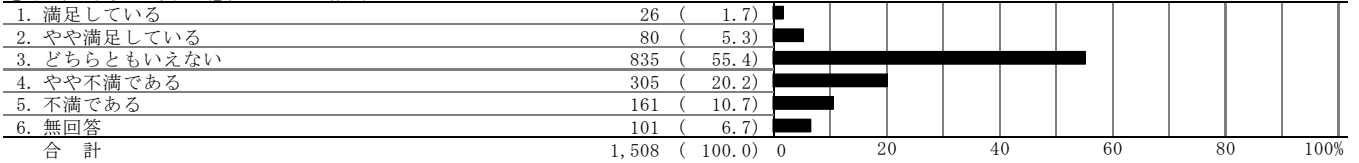
問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

⑥市政への市民の意見の反映について



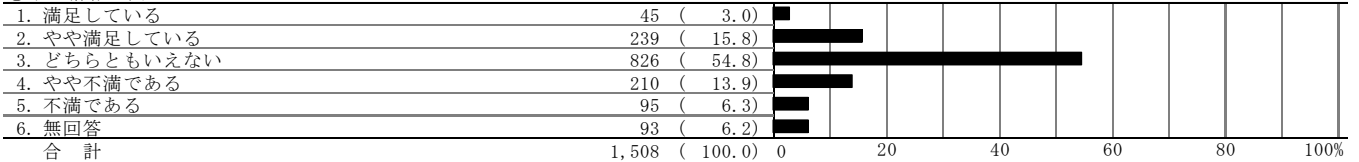
問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

⑦市民が市政に対する意見を述べる機会について

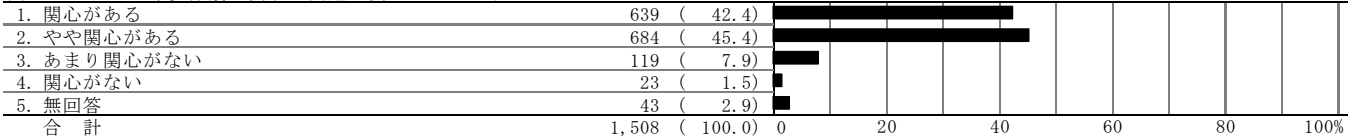


問4 住民参加型のまちづくりについての満足度

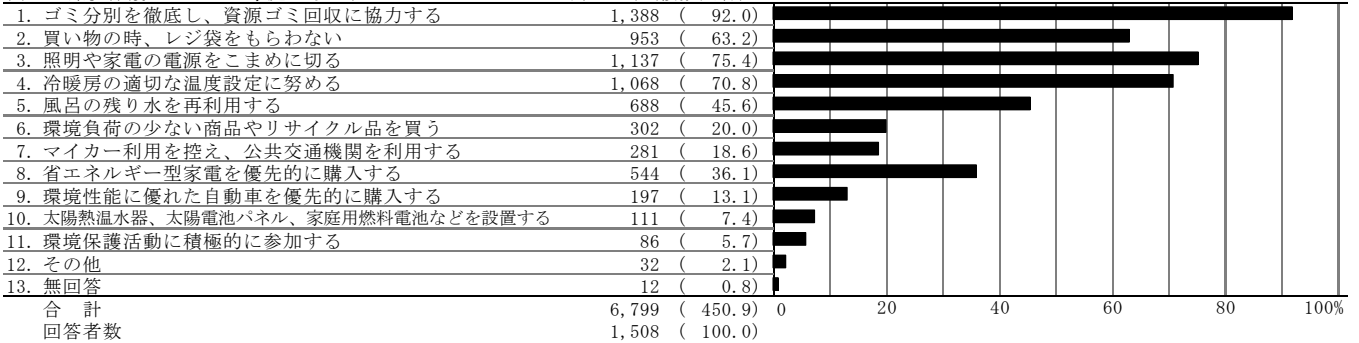
⑧市の情報公開について



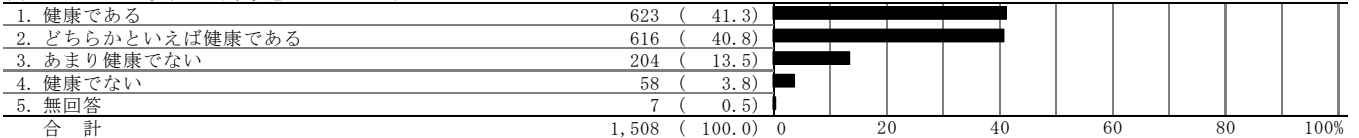
問13 あなたは環境保護に関する問題に関心がありますか



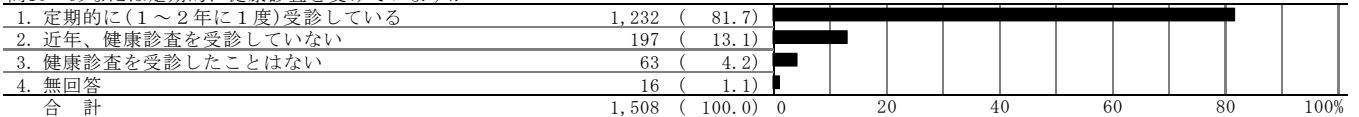
問14 環境保護のためにご家庭で取り組んでいることについて伺います(複数回答)



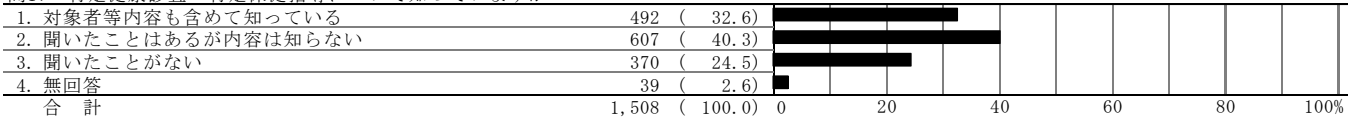
問15 あなたの現在の健康状態はいかがですか



問16 あなたは定期的に健康診査を受けていますか

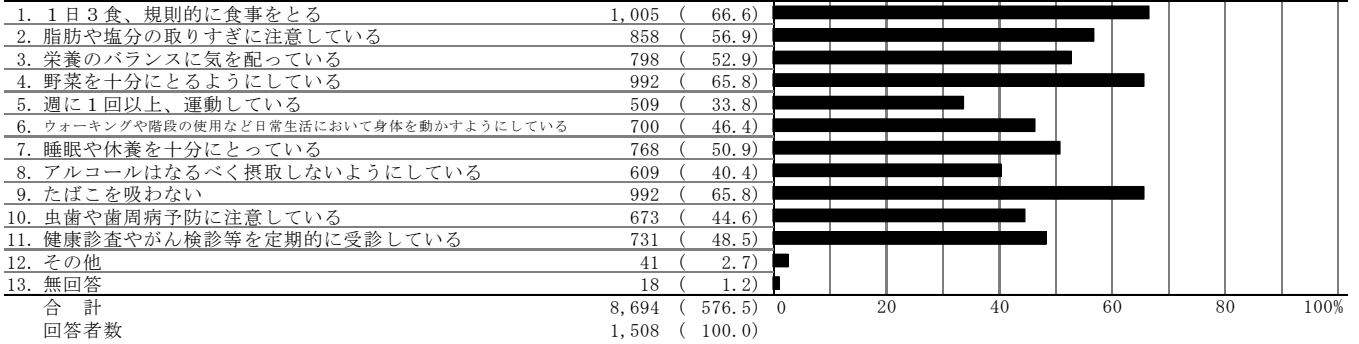


問17 特定健康診査・特定保健指導について知っていますか

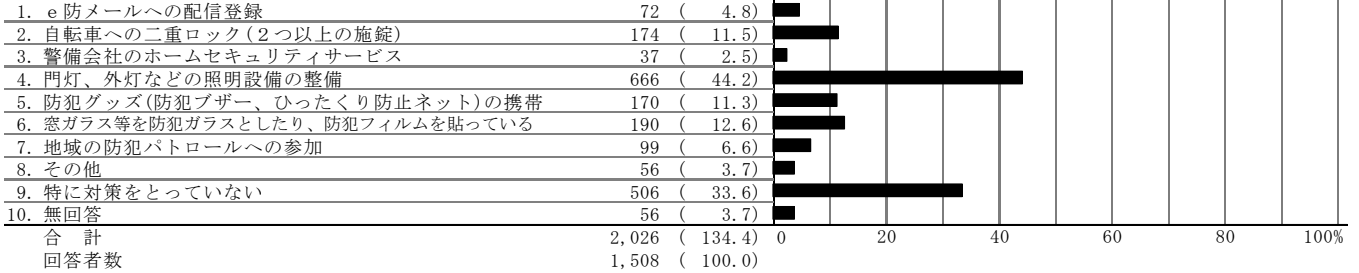


北本市 市民意識調査

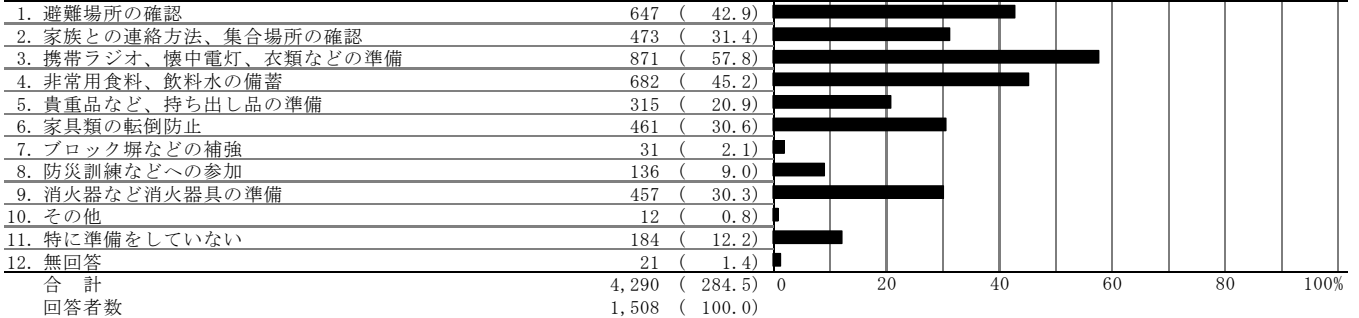
問18 あなたが健康づくりのために気をつけていることは何ですか(複数回答)



問19 防犯のためにご家庭で取り組んでいることについて伺います(複数回答)

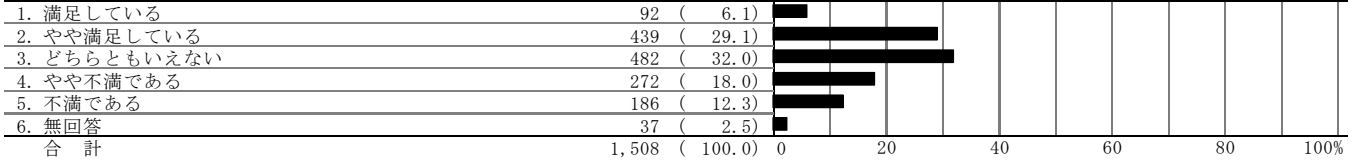


問20 防災のためにご家庭で取り組んでいることについて伺います(複数回答)



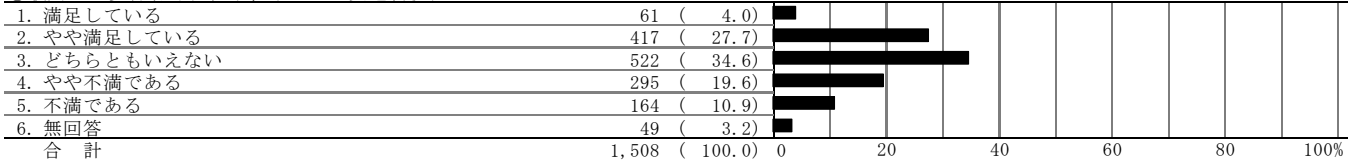
問21 北本駅周辺の交通や施設についての満足度

①市の玄関口でもある北本駅周辺の、魅力あるまちとしての整備状況について



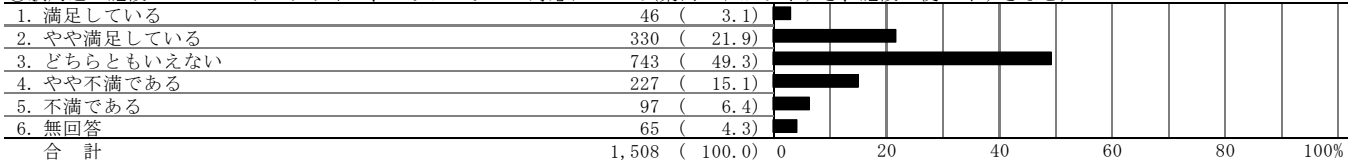
問21 北本駅周辺の交通や施設についての満足度

②駅周辺の歩行者や自転車、車などの交通利便性について



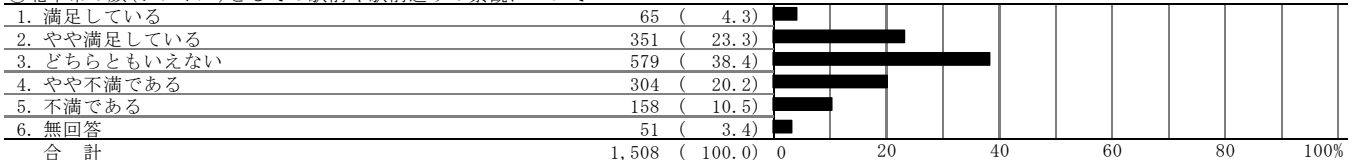
問21 北本駅周辺の交通や施設についての満足度

③駅周辺の施設のユニバーサルデザイン、バリアフリーの対応について(案内のわかりやすさ、施設の使いやすさなど)



問21 北本駅周辺の交通や施設についての満足度

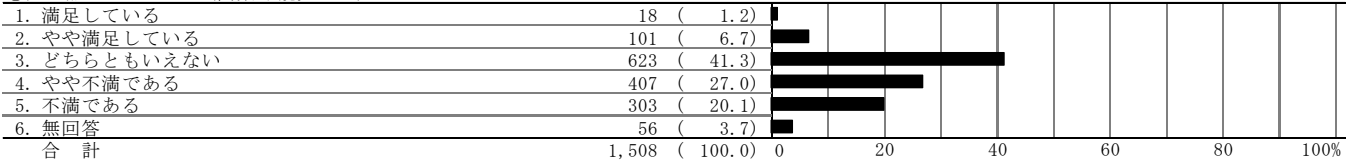
④北本市の顔(シンボル)としての駅前や駅前通りの景観について



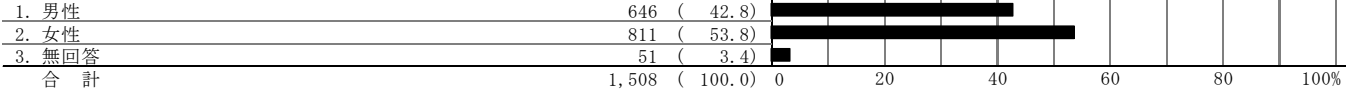
北本市 市民意識調査

問21 北本駅周辺の交通や施設についての満足度

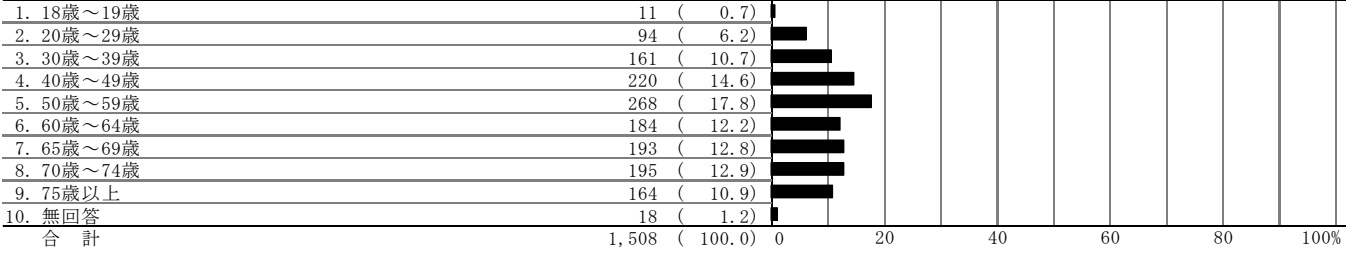
⑤人の賑わいについて(商業や観光など)



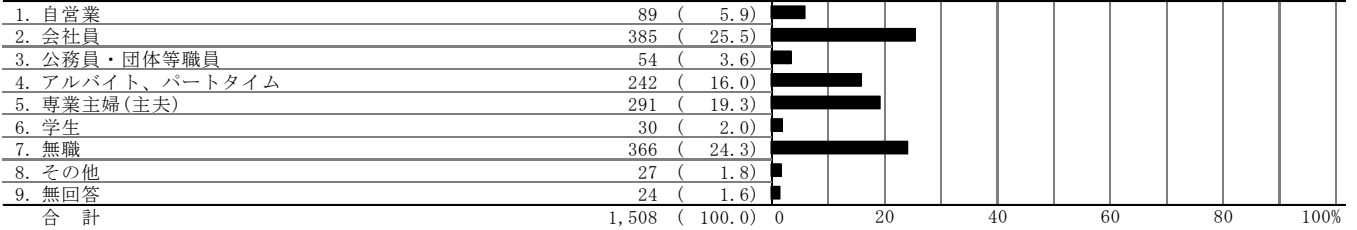
F 1 性別



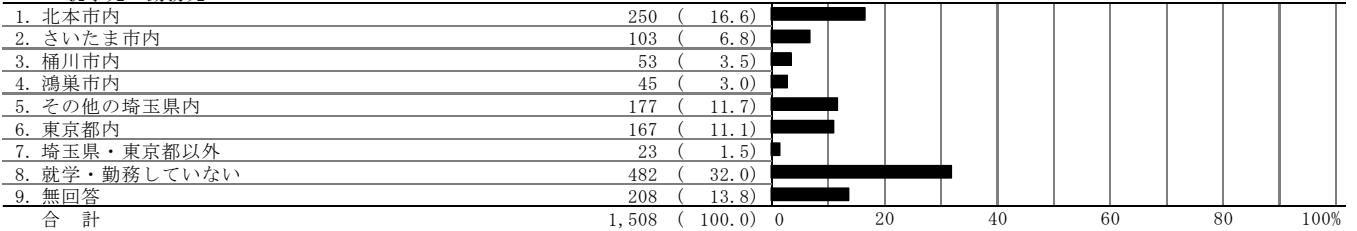
F 2 年齢



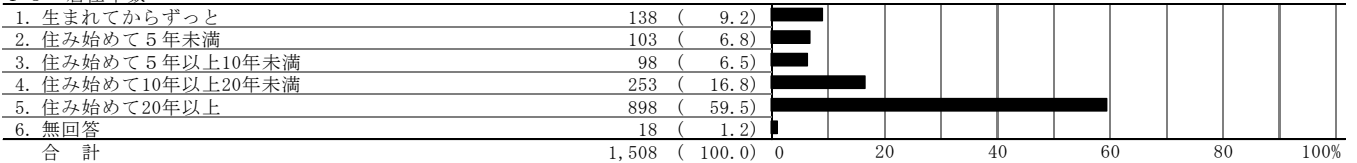
F 3 職業



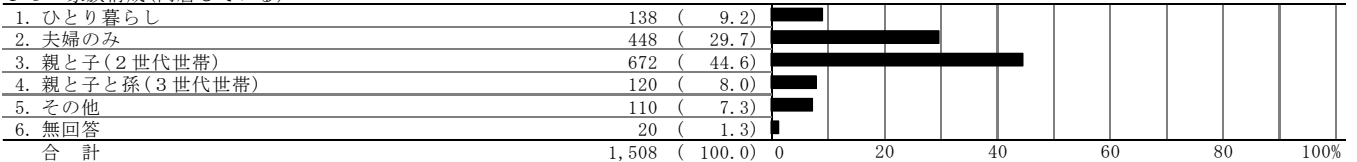
F 4 就学先・勤務先



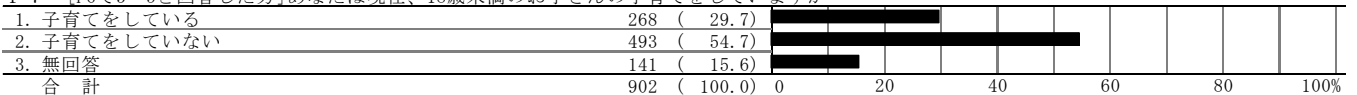
F 5 居住年数



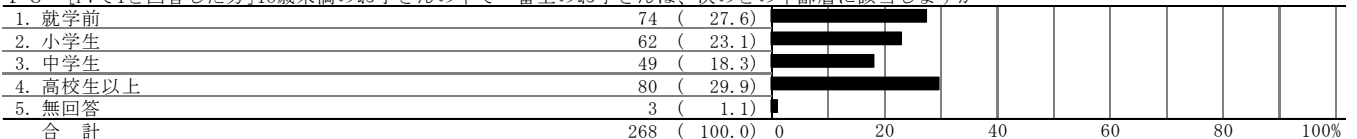
F 6 家族構成(同居している)



F 7 [F6で3～5と回答した方]あなたは現在、18歳未満のお子さんの子育てをしていますか

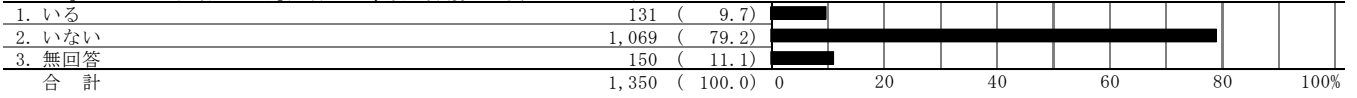


F 8 [F7で1と回答した方]18歳未満のお子さんの中で一番上のおさんは、次のどの年齢層に該当しますか



北本市 市民意識調査

F 9 [F6で2～5と回答した方]同居のご家族に介護の必要な方はいますか



F10 居住地域(コミュニティ)

